

# 全国異常気象概況

平成25年

(2013年)

平成26年3月

気象庁



## 目次

1	平成25年(2013年)の気象災害 .....	1
1-1	気象の特徴 .....	1
1-2	主な気象災害 .....	1
	資料1-2-1 平成25年(2013年)激甚災害指定状況一覧表.....	27
2	平成25年(2013年) 台風の概要.....	29
2-1	平成25年(2013年)に発生した台風 .....	29
	資料2-1-1 台風発生数一覧表 .....	30
	資料2-1-2 日本への台風上陸数一覧表.....	31
	資料2-1-3 日本への台風接近数一覧表.....	32
	資料2-1-4 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表.....	33
	資料2-1-5 平成25年(2013年)に発生した台風の一覧表.....	34
2-2	平成25年(2013年)に日本に影響した主な台風.....	35
	資料2-2-1 平成25年(2013年)に日本に影響した台風の概要表 ....	38
	資料2-2-2 平成25年(2013年)に発生した台風の経路図.....	39
3	平成25年(2013年)の天気概況 .....	43

---

本資料は、人的被害や社会活動に大きな影響のあった主な気象災害の概況や台風などについて、気象庁予報部において取りまとめたものである。



# 1 平成 25 年(2013 年)の気象災害

## 1-1 気象の特徴

東日本、西日本、沖縄・奄美は高温・多照、北日本は多雨(雪)・寡照

春の後半から秋の前半にかけて全国的に高温傾向が続き、東・西日本と沖縄・奄美の年平均気温は高かった。冬から春の前半の低温が明瞭だった北日本では年平均気温は平年並だった。また、東・西日本と沖縄・奄美では、春から秋にかけて高気圧に覆われて晴れる日が多く、東・西日本の年間日照時間はかなり多く、沖縄・奄美は多かった。一方、一年を通じて低気圧や前線の影響を受けやすかった北日本では年間日照時間が少なく、年降水量は多く、特に日本海側でかなり多かった。

北日本、東日本、西日本は寒冬

北日本を中心に冬型の気圧配置となる日が多く、周期的に強い寒気が南下したことから、北・東日本では 2 年連続、西日本では 3 年連続の寒冬となった。北日本日本海側の冬の降雪量は多く、酸ヶ湯(青森県青森市)で積雪の深さが 566cm を観測するなど、記録的な積雪となったところがあった。

全国で暑夏、8 月には熱波

太平洋高気圧の勢力が日本の南海上から西日本にかけて強かったことなどから、全国で暑夏となり、西日本では夏の平均気温平年差が +1.2 と 1946 年の統計開始以来第 1 位の高温となった。特に、8 月上旬後半から中旬にかけては東・西日本を中心に厳しい暑さに見舞われ、8 月 12 日には、江川崎(高知県四万十市)で日最高気温が 41.0 となり歴代全国 1 位となった。

各地で記録的な豪雨

7 月から 10 月にかけては、太平洋高気圧の縁を回る湿った気流と梅雨前線の影響や、台風と秋雨前線の影響を受けて大雨に見舞われたところがあり、特に、島根県、山口県、秋田県、岩手県、京都府、滋賀県、福井県および伊豆大島(東京都)では記録的な豪雨を観測した。

## 1-2 主な気象災害

ここでは、平成 25 年(2013 年)に発生し、人的被害や社会活動に大きな影響があった主な気象災害の概況について、おおむね発生日順に災害番号(括弧内番号)を付けて記述した。また、災害番号に続けて、災害期日: 地域、( )内に災害の種類、< > 内に気圧配置などの気象状況を記した。災害の種類別(大雨、大雪、暴風、突風、高波など)の一覧表を表 1.1 に示す。

被害の具体的な数値は、内閣府、総務省消防庁、国土交通省の資料および地方気象台等が国や都道府県の防災機関等から入手し気象庁観測部情報管理室が取りまとめた資料による。また、地方気象台等が行った竜巻の被害状況等調査報告等も参考にした。

表 1.1 災害の種類別の番号一覧表

災害名	災害番号
大雨(豪雨を含む)	(2)、(4)、(7)、(8)、(11)、(12)、(13)、(14)、(15)、(16)、(17)、(18)、(19)、(20)、(21)、(22)、(23)、(24)、(25)、(26)
大雪	(2)、(3)、(5)
暴風 (暴風雪を含む)	(2)、(3)、(5)、(6)、(7)、(8)、(14)、(18)、(20)、(21)、(22)、(23)、(24)、(25)
突風(竜巻を含む)	(1)、(10)、(16)、(18)、(20)

高波	(2)、(5)、(7)、(8)、(14)、(18)、(20)、(21)、(23)、(24)、(25)
その他	(9)、(27)

(1)1月2日:北海道(竜巻)<低気圧>

前線が黄海から山陰沖を通して三陸沖にのび、その後本州南岸まで南下した。また、日本海中部の低気圧が北海道付近へ進んだ。これらの影響で北海道では雪が降り、北海道新ひだか町静内付近ではF1の竜巻が発生した。このため、北海道では負傷者1名や住家被害などが発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

(2)1月14日:沖縄から東北地方(大雪、大雨、暴風、高波)<低気圧>

低気圧が急速に発達しながら、日本の南海上から関東の東海上へ進んだ。この影響で、全国的に雨や雪が降り、甲信地方で大雪、伊豆諸島で大雨となったところがあった。特に、強い寒気の影響で、関東甲信や東北地方の太平洋側を中心に雪となった。また、沖縄から東北地方にかけての太平洋側の広い範囲で暴風や大しけとなった。

このため、積雪による雪下ろし中の事故や転倒、スリップ事故等により、死者や多数の負傷者が発生したほか、農業被害、鉄道の運休や航空機の欠航などの交通障害が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な最大風速]

1月14日	千葉県銚子市銚子(チヨウシ)	29.2	メートル	北	[16:30]
	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	28.2	メートル	北	[16:33]
	長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	24.4	メートル	北東	[07:27]
	高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	21.0	メートル	東北東	[01:48]

[主な日降雪量]

1月14日	長野県上田市菅平(スガダライ)	52	センチ
	群馬県草津町草津(クサツ)	47	センチ
	山梨県富士河口湖町河口湖(カワグチコ)	43	センチ
	岐阜県高山市高山(タカヤマ)	35	センチ
	栃木県那須町那須(ナス)	34	センチ
	福島県白河市白河(シラカ)	31	センチ
	山形県山形市山形(ヤマガタ)	30	センチ

[主な日降水量]

1月14日	東京都八丈町八丈島(ハチジョウジマ)	102.0	ミリ
-------	--------------------	-------	----

(3)1月24日~1月27日:北陸、北日本(暴風、大雪)<低気圧>

1月24日から26日にかけて、低気圧が前線を伴って北日本を通過し、その後冬型の気圧配置となった。この影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪が降り、大雪となったところがあった。北陸では雷を伴ったところもあった。また、北陸や北日本を中心に広い範囲で暴風や強風となった。この暴風や大雪、落雷により、日本海側を中心に住家の損壊や停電、鉄道の運休や航空機、船舶の欠航等の交通障害等が生じた。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な最大風速]

1月25日	北海道奥尻町米岡(ヨネオカ)	24.0	メートル	西南西	[10:03]
	山形県酒田市飛鳥(ヒシマ)	21.8	メートル	西	[08:04]
	宮城県名取市名取(ナトリ)	21.7	メートル	西	[13:58]
	新潟県佐渡市相川(アイカリ)	21.0	メートル	西	[11:05]
1月25日	山形県酒田市飛鳥(ヒシマ)	27.0	メートル	西北西	[21:31]
	北海道猿払村浜鬼志別(ハマオニシバツ)	23.2	メートル	北北東	[15:09]
	新潟県佐渡市相川(アイカリ)	21.1	メートル	北西	[22:41]

	東京都三宅村三宅島(ミヤケジマ)	20.9	メートル	西北西	[20:42]
	高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	20.1	メートル	西北西	[13:53]
1月27日	山形県酒田市飛島(ヒシマ)	25.9	メートル	西北西	[00:21]
	新潟県新潟市東区松浜(マツハマ)	20.2	メートル	北西	[00:11]

[主な日降雪量]

1月25日	福島県只見町只見(タガミ)	71	センチ		
	新潟県魚沼市小出(コイテ)	69	センチ		
	山形県大蔵村肘折(ヒシオリ)	59	センチ		
	北海道羅臼町羅臼(ラウス)	49	センチ		
	岩手県西和賀町湯田(ユダ)	46	センチ		
	福井県大野市九頭竜(クスリユウ)	42	センチ		
	岐阜県白川村白川(シラカ)	40	センチ		
	秋田県湯沢市湯の岱(ユノタイ)	36	センチ		
1月26日	北海道音威子府村音威子府(オトイネツ)	95	センチ		
	福島県西会津町西会津(ニシアイツ)	48	センチ		
	新潟県津南町津南(ツナン)	46	センチ		
	富山県富山市猪谷(イノタニ)	45	センチ		
	滋賀県長浜市柳ヶ瀬(ヤナガセ)	45	センチ		
	岐阜県白川村白川(シラカ)	41	センチ		
	宮城県大崎市川渡(カワタ)	40	センチ		
	山形県最上町向町(ムカイマチ)	38	センチ		
	群馬県みなかみ町藤原(フジワラ)	37	センチ		
	長野県小谷村小谷(オタ)	37	センチ		
	福井県大野市九頭竜(クスリユウ)	35	センチ		
1月27日	島根県飯南町赤名(アカ)	32	センチ		
	北海道佐呂間町佐呂間(サロマ)	30	センチ		

(4)2月1日～2月2日:九州、近畿、関東(大雨) <前線>

2月1日から2日にかけて、前線が西日本から東日本にかけての太平洋側を通過した。この影響で九州から関東にかけての太平洋側では雨が降り、九州北部地方の一部では大雨となった。

[主な日降水量]

2月1日	長崎県五島市福江(フクエ)	106.0	ミリ		
2月2日	神奈川県箱根町箱根(ハコネ)	64.5	ミリ	和歌山県那智勝浦町色川(イロカ)	61.5

(5)3月1日～3月3日:北日本(大雪、暴風雪、高波) <低気圧>

3月1日から2日にかけて低気圧が急速に発達しながら日本海から北海道に進み、その後、北日本を中心に非常に強い冬型の気圧配置となった。このため、北日本で暴風雪や大雪となり、海上では大しけとなった。この低気圧により、吹雪によるとみられる事故が発生するなど、北海道で死者9名となったほか、秋田県で新幹線の脱線事故が発生するなど、北日本を中心に道路の通行止めや鉄道の運休などの交通障害が発生した。(被害の状況は、平成25年版防災白書による)

[主な最大風速]

3月1日	高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	26.9	メートル	南西	[16:53]
------	-------------------	------	------	----	---------



	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	24.4	メートル	南南西	[21:21]
	山形県酒田市飛島(ヒシマ)	21.2	メートル	西北西	[20:52]
	和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	20.5	メートル	南南東	[10:26]
	北海道奥尻町米岡(ヨネオカ)	20.3	メートル	西南西	[23:57]
3月2日	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	27.4	メートル	西	[14:48]
	青森県八戸市八戸(ハチノハ)	23.5	メートル	西	[11:32]
	山形県酒田市飛島(ヒシマ)	23.5	メートル	西	[04:28]
	宮城県名取市名取(ナトリ)	22.2	メートル	西	[17:45]
	千葉県銚子市銚子(チヨウシ)	21.6	メートル	北西	[18:14]
	東京都神津島村神津島(コウツシマ)	21.0	メートル	西北西	[05:20]
3月3日	北海道根室市根室(ネムロ)	23.8	メートル	北西	[00:52]

[主な日降雪量]

3月1日	北海道中札内村上札内(カミツナイ)	35	センチ
3月2日	北海道音威子府村音威子府(オトイネツ)	55	センチ

#### (6)4月3日:関東(暴風)<低気圧>

低気圧が発達しながら日本の南岸から関東の東海上へ進んだ影響で、九州北部地方から北海道にかけて雨や雪が降った。また、九州の一部で強風、関東の一部で暴風となったところがあった。この影響で、関東では強風による転倒などにより負傷者が出たほか、停電、鉄道の運休や船舶の欠航等の交通障害等が生じた。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な最大風速]

4月3日	千葉県銚子市銚子(チヨウシ)	29.9	メートル	北北西	[13:59]
------	----------------	------	------	-----	---------

#### (7)4月6日~4月8日:全国(大雨、暴風、高波)<低気圧>

4月6日から7日にかけて、発達しながら日本海と本州南岸を北東に進んだ二つの低気圧が、8日には北海道付近で一つにまとまり、千島近海に進んだ。これらの低気圧によって6日から8日にかけて、九州から北海道にかけての広い範囲で非常に強い風が吹き、海上では大しけとなった。また、九州から北海道にかけての太平洋側を中心に猛烈な雨となり、大雨となったところがあった。

この影響により、土砂災害や浸水被害が発生し、三重県で死者1名となったほか、全国で負傷者33名や住家の浸水、一部破損の被害、道路の被災による交通障害等が生じた。(被害の状況は、平成25年4月10日19時00分現在の内閣府の情報による)

[主な日降水量]

4月6日	静岡県伊豆市天城山(アマキサン)	304.0	ミリ	神奈川県海老名市海老名(エビナ)	223.0	ミリ
	宮城県宮崎市青島(アオシマ)	190.0	ミリ	和歌山県新宮市新宮(シングウ)	186.5	ミリ
	高知県四万十町窪川(クハカリ)	171.5	ミリ	徳島県海陽町海陽(カイヨウ)	171.0	ミリ
	三重県熊野市熊野新鹿(クマノアツシカ)	160.5	ミリ	鹿児島県肝付町内之浦(ウチノウラ)	132.0	ミリ
	大分県佐伯市佐伯(サイキ)	119.5	ミリ	東京都世田谷区世田谷(セタガヤ)	113.5	ミリ
4月7日	北海道伊達市大滝(オオタキ)	164.0	ミリ	福島県いわき市平(タイラ)	164.0	ミリ
	石川県加賀市加賀菅谷(カガスカタニ)	113.0	ミリ			

[主な最大風速]

4月6日	徳島県阿南市蒲生田(ガモウタ)	24.8	メートル	東南東	[14:42]
	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	23.8	メートル	南南東	[19:24]

	高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	23.6	メートル	東南東	[13:38]
	福井県敦賀市敦賀(ツルガ)	21.1	メートル	南南東	[16:44]
	愛知県常滑市セントレア(セントレア)	20.5	メートル	東南東	[19:11]
	千葉県銚子市銚子(チョウシ)	20.2	メートル	南東	[22:40]
4月7日	高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	24.1	メートル	西北西	[14:07]
	東京都神津島村神津島(コウヅシマ)	24.0	メートル	西北西	[20:11]
	山形県酒田市飛島(ヒシマ)	22.9	メートル	西南西	[16:30]
	北海道根室市納沙布(ナサップ)	22.6	メートル	東	[12:02]
	和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	22.4	メートル	北西	[09:39]
	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	22.0	メートル	西北西	[06:30]
4月8日	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	32.1	メートル	西	[07:34]
	宮城県名取市名取(ナトリ)	26.0	メートル	西	[14:17]
	新潟県佐渡市両津(リョウツ)	21.9	メートル	西	[12:06]
	山形県酒田市飛島(ヒシマ)	21.7	メートル	西	[00:07]
	青森県八戸市八戸(ハチノハ)	20.7	メートル	西	[13:25]
	東京都神津島村神津島(コウヅシマ)	20.2	メートル	西北西	[06:00]
	愛知県常滑市セントレア(セントレア)	20.1	メートル	北西	[00:07]

(8)6月8日～8月10日:全国(大雨、暴風、高波) <台風第3号、台風第4号、台風第7号、梅雨前線、暖湿気>

6月8日から8月10日にかけて、梅雨前線が九州から本州付近に停滞したことや、高気圧の縁を回る暖かく非常に湿った空気の流入、台風第3号、台風第4号及び7号が日本に接近したこと等により、各地で大雨や暴風となった。

この大雨や暴風により、岩手県、秋田県、山形県、新潟県、兵庫県、島根県、広島県、山口県であわせて死者14名、行方不明者3名となったほか、各地で河川の氾濫や土砂災害による住家被害や農地の浸水が多数発生した。その他、停電や断水が発生し、交通機関にも大きな影響が出た。(被害の状況は、平成25年10月7日18時00分現在の内閣府の情報による)

6月8日から6月17日まで

梅雨前線が6月8日から13日にかけて沖縄・奄美から日本の南海上に、15日から16日にかけて九州から日本の東海上に停滞した。また、6月8日21時にフィリピンの東海上で発生した台風第3号及び台風から変わった温帯低気圧が、12日から13日にかけて伊豆諸島に接近した。これらの影響で、9日8時56分までの1時間に鹿児島県屋久島町尾之間(オアイダ)で72.0ミリの非常に激しい雨が降り、九州南部の多いところで日雨量が300ミリを超えたほか、東海地方の多いところで日雨量が200ミリを、関東、東北地方の多いところで日雨量が100ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

6月8日	新潟県魚沼市小出(コイデ)	96.0	ミリ		
6月9日	鹿児島県屋久島町屋久島(ヤクシマ)	339.0	ミリ	宮崎県串間市串間(クスマ)	102.5
6月10日	宮崎県高鍋町高鍋(タカナハ)	211.5	ミリ		
6月11日	宮崎県都農町都農(ツノ)	111.5	ミリ		
6月12日	静岡県伊豆市天城山(アマキサン)	134.0	ミリ	東京都大島町大島(オオシマ)	129.0
6月13日	静岡県伊豆市天城山(アマキサン)	230.5	ミリ	神奈川県箱根町箱根(ハコネ)	129.5
6月14日	宮崎県高千穂町高千穂(タカチホ)	54.0	ミリ		

6月15日	福島県古殿町古殿(フルドノ)	132.0	ミリ	三重県松阪市粥見(カユミ)	129.0	ミリ
6月16日	静岡県浜松市天竜区越木平(コシキダライ)	65.5	ミリ			
6月17日	北海道奥尻町米岡(ヨネオカ)	38.0	ミリ			

#### 6月18日から6月22日まで

梅雨前線の活動が活発になり、本州付近に停滞した。また、18日9時にフィリピンの東で発生した台風第4号は、20日に宮古島付近を通過して東シナ海を北上し、21日9時には九州の西海上で温帯低気圧に変わり、梅雨前線上を東に進んだ。このため、20日1時24分までの1時間に沖縄県石垣市盛山(メリヤマ)で84.5ミリの猛烈な雨が降り、近畿の多いところで日雨量が300ミリを超えたほか、沖縄、九州北部地方、四国、中国地方、北陸の多いところで日雨量が200ミリを、東海地方、関東甲信の多いところで日雨量が100ミリを超える大雨となった。

また、20日4時43分に沖縄県宮古島市下地(シモジ)で20.4m/sの最大風速を観測するなど、沖縄の一部で暴風となった。

#### [主な日降水量]

6月18日	島根県隠岐の島町西郷岬(サイゴウサキ)	110.0	ミリ			
6月19日	山口県萩市須佐(スサ)	251.5	ミリ	広島県北広島町八幡(ヤクタ)	226.5	ミリ
	島根県浜田市弥栄(ヤサカ)	219.0	ミリ	石川県七尾市七尾(ナナオ)	208.0	ミリ
	長野県王滝村御嶽山(オンタケサン)	189.5	ミリ	富山県黒部市宇奈月(ウナツキ)	189.0	ミリ
	新潟県糸魚川市糸魚川(イトイガリ)	176.0	ミリ	岐阜県郡上市ひるがの(ヒルガノ)	175.0	ミリ
	長崎県対馬市巖原(イヅハラ)	131.5	ミリ	沖縄県石垣市川平(カハラ)	112.5	ミリ
	鳥取県大山町大山(ダイセン)	108.0	ミリ			
6月20日	高知県馬路村魚梁瀬(イサセ)	343.5	ミリ	和歌山県新宮市新宮(シンクウ)	300.0	ミリ
	徳島県海陽町海陽(カイヨウ)	248.0	ミリ	沖縄県石垣市川平(カハラ)	248.0	ミリ
	三重県御浜町御浜(ミハマ)	197.0	ミリ	福岡県添田町英彦山(ヒコサン)	178.5	ミリ
	奈良県十津川村玉置山(タマキヤマ)	159.0	ミリ	大分県中津市中津(ナカツ)	154.0	ミリ
	広島県尾道市生口島(イクチジマ)	139.5	ミリ	佐賀県嬉野市嬉野(ウレシノ)	137.5	ミリ
	香川県小豆島町内海(ウチノミ)	137.0	ミリ	愛媛県今治市大三島(オホシマ)	136.5	ミリ
	東京都神津島村神津島(コウツシマ)	133.5	ミリ	岡山県玉野市玉野(タマノ)	111.5	ミリ
6月21日	宮崎県えびの市えびの(エビノ)	97.0	ミリ			
6月22日	富山県富山市富山(トヤマ)	57.0	ミリ			

#### [主な最大風速]

6月19日	高知県室戸市室戸岬(ムロトサキ)	21.6	メートル	西南西	[15:28]
6月20日	沖縄県宮古島市下地(シモジ)	20.4	メートル	南西	[04:43]

#### 6月23日から7月1日まで

梅雨前線が九州から日本の南海上にかけて停滞し、再び活動が活発になった。このため、28日13時42分までの1時間に鹿児島県十島村中之島(ナカノシマ)で74.5ミリの非常に激しい雨が降り、奄美地方、四国、近畿の多いところで日雨量が200ミリを超えたほか、九州、中国地方、東海地方、関東の多いところで日雨量が100ミリを超える大雨となった。また、四国の一部では暴風となったところもあった。

#### [主な日降水量]

6月23日	鹿児島県屋久島町尾之間(オノアイダ)	107.5	ミリ			
6月24日	宮崎県日南市油津(アブラツ)	142.5	ミリ	鹿児島県鹿屋市吉ヶ別府(ヨシガベツフ)	117.5	ミリ

6月25日	鹿児島県鹿屋市吉ヶ別府(ヨシガハツブ)	186.0	ミリ	宮崎県日南市深瀬(フカセ)	172.5	ミリ
6月26日	和歌山県新宮市新宮(シンクウ)	280.5	ミリ	高知県馬路村魚梁瀬(イサセ)	204.5	ミリ
	徳島県海陽町海陽(カイヨウ)	195.0	ミリ	鹿児島県さつま町紫尾山(シビサン)	186.0	ミリ
	三重県御浜町御浜(ミハマ)	183.5	ミリ	宮崎県えびの市えびの(エビノ)	176.0	ミリ
	奈良県十津川村玉置山(タマキヤマ)	175.0	ミリ	東京都三宅村三宅島(ミヤケジマ)	126.0	ミリ
	福岡県添田町添田(ソエダ)	123.0	ミリ	熊本県五木村五木(イツキ)	121.5	ミリ
	大分県日田市椿ヶ鼻(ツルキガハナ)	120.5	ミリ	静岡県伊豆市天城山(アマキサン)	119.5	ミリ
	山口県周南市和田(ワダ)	119.0	ミリ	千葉県勝浦市勝浦(カツウラ)	104.0	ミリ
	長崎県平戸市平戸(ヒラド)	103.0	ミリ			
6月27日	岐阜県下呂市宮地(ミヤジ)	127.0	ミリ			
6月28日	鹿児島県十島村中之島(ナカノシマ)	269.0	ミリ			
6月29日	鹿児島県さつま町紫尾山(シビサン)	78.5	ミリ			
6月30日	宮崎県延岡市延岡(ノエオカ)	138.5	ミリ			
7月1日	山形県真室川町差首鍋(サスナハ)	30.0	ミリ			

[主な最大風速]

6月26日	高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	23.8	メートル	西南西	[13:34]
-------	------------------	------	------	-----	---------

7月2日から7月9日まで

7月2日から3日にかけて、梅雨前線が朝鮮半島から日本海を通過して東北地方にのび、7日にかけて停滞した。また、8日から9日にかけては、前線の活動は弱まったが、高気圧の周辺から暖かく非常に湿った空気が流れ込み東日本から東北地方を中心に大気の状態が不安定になった。このため、3日14時37分までの1時間に福岡県八女市黒木(クロキ)で79.5ミリの非常に激しい雨が降り、西日本から東北地方の多いところで日雨量が100ミリを超える大雨となった。また、東北日本海側の一部では暴風となったところもあった。

[主な日降水量]

7月2日	秋田県秋田市大正寺(ダイショウジ)	66.5	ミリ			
7月3日	山口県下松市下松(ゲマツ)	109.0	ミリ	熊本県高森町高森(タカモリ)	109.0	ミリ
	福岡県八女市黒木(クロキ)	107.5	ミリ	佐賀県鳥栖市鳥栖(トス)	102.5	ミリ
7月4日	広島県呉市呉(クル)	137.0	ミリ	高知県馬路村魚梁瀬(イサセ)	117.0	ミリ
	愛媛県今治市大三島(オオシマ)	114.5	ミリ	和歌山県古座川町西川(ニシカワ)	112.5	ミリ
	静岡県伊豆市土肥(トイ)	104.0	ミリ			
7月5日	長野県王滝村御嶽山(オンタケサン)	181.5	ミリ	岐阜県下呂市萩原(ハギワラ)	134.5	ミリ
	秋田県男鹿市男鹿(オガ)	125.5	ミリ	静岡県御殿場市御殿場(ゴテンバ)	103.5	ミリ
7月6日	大分県日田市椿ヶ鼻(ツルキガハナ)	169.0	ミリ	佐賀県伊万里市伊万里(イマリ)	157.5	ミリ
	長崎県松浦市松浦(マツウラ)	111.0	ミリ	福岡県糸島市前原(マエバル)	104.0	ミリ
7月7日	山口県萩市萩(ハギ)	101.0	ミリ			
7月8日	山形県金山町金山(カネヤマ)	127.0	ミリ	秋田県由利本荘市笹子(サネコ)	100.5	ミリ
7月9日	秋田県藤里町藤里(フジサト)	64.5	ミリ			

[主な最大風速]

7月5日	山形県酒田市飛島(ヒシマ)	20.9	メートル	西南西	[21:06]
------	---------------	------	------	-----	---------

7月10日から7月14日まで

7月10日から14日にかけて、日本海から東北地方に梅雨前線が停滞し、前線に向かって南から暖かく非常に

湿った空気が流れ込んだ。また、7月8日にマリアナ諸島付近の海上で発生した台風第7号は、12日に八重山諸島に接近し、12日21時には強い勢力で西表島の南約50キロの海上に達した。その後13日には東シナ海を北西に進み、14日9時に華中で熱帯低気圧に変わった。

このため、13日0時34分までの1時間に沖縄県石垣市石垣島(イシガキジマ)で59.0ミリの非常に激しい雨が降り、沖縄、北陸、東海地方、東北地方の多いところで日雨量が100ミリを超える大雨となった。また、13日1時56分に沖縄県与那国町与那国島(ヨナグニジマ)で最大風速44.0m/sを観測するなど、沖縄で暴風となり、海上は猛烈なしけとなった。

[主な日降水量]

7月10日	北海道西興部村西興部(ニシオコッパ)	63.0	ミリ		
7月11日	山形県酒田市上草津(カキサツ)	156.0	ミリ	新潟県村上市三面(ミオモテ)	115.5
7月12日	岩手県雫石町葛根田(カクコダ)	134.5	ミリ	秋田県仙北市鎧畑(ヨロイハタ)	133.0
	山形県酒田市上草津(カキサツ)	131.0	ミリ	沖縄県石垣市石垣島(イシガキジマ)	110.5
7月13日	岐阜県郡上市長滝(ナガタキ)	116.5	ミリ	山形県真室川町差首鍋(サスナハ)	102.5
7月14日	新潟県魚沼市大湯(オオユ)	96.0	ミリ		

[主な最大風速]

7月12日	沖縄県石垣市石垣島(イシガキジマ)	41.1	メートル	南東	[22:14]
7月13日	沖縄県与那国町与那国島(ヨナグニジマ)	44.0	メートル	南	[01:56]

7月15日から7月21日まで

7月15日から21日にかけて、活動の弱まった梅雨前線を低気圧が通過し、暖かく非常に湿った空気が流れ込んだ影響で、広い範囲で大気の状態が不安定となり、局地的に非常に激しい雨が降った。島根県安来市伯太(ハクダ)では、15日11時19分までの1時間に100.5ミリの猛烈な雨が降るなど、中国地方、東北地方の多いところで日雨量が200ミリを超えたほか、近畿、北陸、東海地方の多いところで日雨量100ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

7月15日	鳥取県大山町大山(ダイセン)	222.5	ミリ	岡山県真庭市上長田(カキガタ)	222.0
	島根県飯南町赤名(アカナ)	128.5	ミリ	広島県庄原市庄原(シヨハラ)	112.5
	兵庫県養父市大屋(オオヤ)	108.5	ミリ	岩手県宮古市区界(クサカイ)	105.5
7月16日	岩手県遠野市附馬牛(ツキモウシ)	66.0	ミリ		
7月17日	新潟県佐渡市秋津(アキツ)	89.5	ミリ		
7月18日	山形県西川町大井沢(オオイサリ)	212.0	ミリ	静岡県伊豆市土肥(トイ)	169.5
	新潟県村上市高根(タカネ)	134.0	ミリ	岩手県大槌町小釜(コヅチ)	118.0
	宮城県女川町女川(メナガリ)	109.5	ミリ		
7月19日	岩手県宮古市宮古(ミヤコ)	24.5	ミリ		
7月20日	広島県安芸太田町加計(カケ)	36.5	ミリ		
7月21日	徳島県上勝町福原旭(フクラアサヒ)	20.0	ミリ		

7月22日から7月27日まで

7月22日から27日にかけて、日本海から東北地方にのびる梅雨前線と、西から流れ込む暖かく非常に湿った空気や上空の寒気の影響で、広い範囲で大気の状態が不安定となり、西日本から東北地方にかけて局地的に非常に激しい雨が降った。栃木県鹿沼市鹿沼(カヌマ)では、27日16時57分までの1時間に99.0ミリの猛烈な雨が降るなど、九州や北陸、関東、東北地方、北海道で日雨量100ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

7月22日	山形県高島町高島(タカハタ)	157.5	ミリ		
7月23日	福島県檜枝岐村檜枝岐(ヒノエマタ)	73.0	ミリ		
7月24日	新潟県佐渡市相川(アイカワ)	100.5	ミリ		
7月25日	北海道登別市登別(ノホリハツ)	78.0	ミリ		
7月26日	岩手県住田町住田(スミタ)	191.0	ミリ	熊本県南阿蘇村阿蘇山(アソサン)	176.5
	宮崎県高千穂町高千穂(タカチホ)	167.0	ミリ	宮城県栗原市築館(ツキダテ)	158.5
7月27日	北海道登別市カルルス(カルルス)	179.0	ミリ	栃木県鹿沼市鹿沼(カヌマ)	126.5
	福島県二本松市二本松(ニホンマツ)	120.5	ミリ	岩手県奥州市衣川(コロモガワ)	108.0
	新潟県阿賀町室谷(ムロヤ)	104.5	ミリ		

7月28日

7月28日は、中国地方を中心に暖かく湿った空気が流れ込み、雨雲が次々と発達したため、島根県と山口県では、午前中を中心に記録的な大雨となった。28日の日降水量は、島根県と山口県のそれぞれ多いところで350ミリを超え、7月の月降水量平年値以上となった。この大雨により、島根県、山口県において死者2名、行方不明者2名となったほか、島根県、山口県では各地で河川の氾濫や土砂災害による住家や農地の浸水、道路の被害が多数発生した。その他、停電、断水が発生し、交通機関にも大きな影響が出た。(被害の状況は、平成25年8月3日20時00分現在の内閣府の情報による)

[主な日降水量]

7月28日	島根県津和野町津和野(ツワノ)	381.0	ミリ	山口県萩市須佐(スサ)	351.0
	広島県北広島町八幡(ヤウタ)	109.0	ミリ	北海道登別市カルルス(カルルス)	107.5

7月29日から8月8日まで

7月29日から8月8日にかけて、日本付近は日本海から東北地方にのびる梅雨前線や、高気圧の縁を回る下層の暖かく非常に湿った空気の影響により大気の状態が不安定となった。このため、4日13時02分までの1時間に熊本県玉名市岱明(タイメイ)で91.5ミリの猛烈な雨が降り、九州や北陸の多いところで日雨量が200ミリを越えたほか、西日本から東日本を中心に大雨となった。

[主な日降水量]

7月29日	石川県白山市白山吉野(ハクサンヨシノ)	235.5	ミリ	福井県勝山市勝山(カツヤマ)	175.0
	岐阜県揖斐川町揖斐川(ヒガワ)	166.5	ミリ	滋賀県長浜市柳ヶ瀬(ヤナガセ)	160.0
	長野県松本市上高地(カミコウチ)	139.5	ミリ	富山県南砺市五箇山(ゴカヤマ)	127.0
	北海道白老町森野(モリノ)	116.0	ミリ		
7月30日	新潟県魚沼市守門(スモン)	165.5	ミリ	島根県江津市桜江(サクラエ)	149.0
7月31日	秋田県由利本荘市本荘(ホンジヨウ)	94.0	ミリ		
8月1日	鳥取県鳥取市湖山(コヤマ)	170.0	ミリ	新潟県長岡市栃尾(トチオ)	151.0
	島根県飯南町赤名(アカナ)	141.0	ミリ	兵庫県新温泉町温泉(オンセン)	126.0
	京都府京丹後市間人(タイザ)	114.5	ミリ		
8月2日	徳島県美馬市穴吹(アナブキ)	112.0	ミリ	静岡県伊豆市土肥(トイ)	109.0
8月3日	東京都八丈町八重見ヶ原(ヤエミガハラ)	26.0	ミリ		
8月4日	熊本県宇城市三角(ミサミ)	250.0	ミリ	佐賀県伊万里市伊万里(イマリ)	167.5
	鹿児島県霧島市牧之原(マキハラ)	161.0	ミリ	長崎県松浦市松浦(マツウラ)	128.0
	福岡県大牟田市大牟田(オオムタ)	118.5	ミリ		

8月5日	鹿児島県霧島市牧之原(マキノハラ)	167.5	ミリ	福島県石川町石川(イシカワ)	122.5	ミリ
	岡山県津山市津山(ツヤマ)	102.5	ミリ			
8月6日	愛知県大府市大府(オオフ)	160.0	ミリ	岐阜県下呂市宮地(ミヤジ)	137.0	ミリ
	長崎県松浦市松浦(マツウラ)	111.0	ミリ	福岡県糸島市前原(マエハラ)	104.0	ミリ
8月7日	北海道猿払村浜鬼志別(ハマオニシベツ)	56.0	ミリ			
8月8日	北海道足寄町足寄(アソヨ)	96.5	ミリ			

#### 8月9日から8月10日まで

8月9日、北日本では、日本海から湿った空気が流れ込み大気の状態が非常に不安定になり、秋田県や岩手県を中心に記録的な大雨となった。

8月9日0時から10日24時までに観測された最大1時間降水量が、秋田県鹿角市鹿角(カヅノ)では108.5ミリ、岩手県雫石町雫石(シズクイシ)では78.0ミリとなった。これらを含め、統計期間が10年以上の観測地点のうち、最大1時間降水量で計10地点、最大3時間降水量で計12地点、最大24時間降水量で計5地点が観測史上1位の値を更新した。また、解析雨量によると、秋田県大館市で1時間に120ミリ以上の猛烈な雨を解析し、秋田県大館市と北秋田市では3時間に約300ミリの雨を解析した。

この大雨により秋田県で死者6名、岩手県で死者2名となった。また、土砂災害による住家や道路の被害、住家の浸水被害が多数発生したほか、停電や断水が発生し、交通機関にも大きな影響が出た。(被害の状況は、平成25年8月15日17時00分現在の内閣府の情報による)

[主な日降水量]

8月9日	秋田県鹿角市鹿角(カヅノ)	293.0	ミリ	岩手県雫石町雫石(シズクイシ)	264.0	ミリ
	北海道八雲町熊石(クマイシ)	146.5	ミリ	青森県むつ市脇野沢(ワキノサワ)	104.5	ミリ

#### (9)6月～9月:全国(高温)<高気圧>

6月から9月にかけて、太平洋高気圧の勢力が日本の南海上から西日本にかけて強く、また、北日本まで暖かい空気が流れ込んだため、全国的に高温となった。特に西日本では夏(6月から8月)の平均気温の平年差が+1.2と1946年の統計開始以来の最も高い記録を更新した。また、8月12日には、高知県四万十市江川崎(エカサキ)で日最高気温が歴代全国1位となる41.0を記録するなど、アメダスも含めた125地点で日最高気温の高い記録を更新した。

高温による熱中症により、全国で58,729名が救急搬送され、初診時における死亡は88名となった。(被害の状況は総務省消防庁による)

#### (10)8月11日:群馬県(突風)<大気不安定>

関東では日中の昇温により大気の状態が非常に不安定となり、所々で雷雨となった。群馬県高崎市乗附町から前橋市粕川町では、F1のダウンバーストまたはガストフロントが発生した。この突風により、群馬県で負傷者3名や住家の一部損壊などの被害が発生した。(被害の状況は群馬県による)

#### (11)8月12日:関東(大雨)<大気不安定>

関東では日中の昇温により大気の状態が非常に不安定となり、所々で雷を伴い激しい雨が降った。この雷雨の影響により、関東では、住家の浸水被害が出たほか、停電や断水などの被害が生じた。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な日降水量]

8月12日	東京都練馬区練馬(ネリマ)	49.0	ミリ
-------	---------------	------	----

(12)8月15日:甲信(大雨)<大気不安定>

本州付近は高気圧に覆われたが、関東甲信では大気の状態が不安定となり、20時29分までの1時間に長野県諏訪市諏訪(スワ)で74.5ミリの非常に激しい雨が降るなど、雷を伴い大雨となったところもあった。この影響で、長野県で住家の浸水被害が出たほか、停電、道路の通行止めや鉄道の運休等の交通障害等が生じた。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な日降水量]

8月15日 長野県諏訪市諏訪(スワ) 106.5 ミリ

(13)8月16日~8月19日:北日本(大雨)<低気圧>

8月16日から19日にかけて、中国東北区からオホーツク海に進んだ低気圧からのびる前線が北日本に接近し、その後停滞した。この影響で北日本を中心に雨が降り、北海道の一部では大雨となった。

この大雨により、土砂崩れや住家の浸水が発生したほか、停電や鉄道の運休等の交通障害が生じた。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な日降水量]

8月16日 北海道幌加内町幌加内(ホカナイ) 72.0 ミリ

8月17日 北海道中川町中川(ナカガリ) 67.0 ミリ

8月18日 北海道森町森(モリ) 174.0 ミリ

8月19日 青森県深浦町深浦(フカウラ) 88.0 ミリ

(14)8月20日~8月22日:沖縄(大雨、暴風、高波)<台風第12号>

8月18日9時に沖縄の南の海上で発生した台風第12号は、はじめほとんど停滞した後、20日には発達しながらゆっくりとした速さで北寄りに進み、進路を西寄りに変えながら、20日21時には宮古島の南東の海上に達した。台風はその後、21日には宮古島にかなり接近し、東シナ海を西寄りに進んだ。このため、沖縄では大雨や暴風となった。また、海上では大しけとなり、沿岸では高潮となった。

この台風の影響により、沖縄では道路の通行止めや船舶、航空機の欠航等の交通障害が生じた。(被害の状況は沖縄県による)

[主な日降水量]

8月20日 沖縄県竹富町西表島(イリオモテジマ) 66.0 ミリ

8月21日 沖縄県宮古島市城辺(グスクハ) 119.5 ミリ

8月22日 沖縄県宮古島市下地(シモジ) 54.0 ミリ

[主な最大風速]

8月20日 沖縄県うるま市宮城島(ミヤギジマ) 18.1メートル 東 [23:30]

8月21日 沖縄県宮古島市下地(シモジ) 23.0メートル 南 [07:49]

8月22日 沖縄県与那国町与那国島(ヨナグニジマ) 19.2メートル 南 [05:16]

(15)8月21日:東日本(大雨)<前線>

東北地方から三陸沖に進んだ前線の影響で、北陸や関東を中心に雨が降り、所々で非常に激しい雨が降り、雷を伴い、大雨となったところもあった。この影響で、東日本を中心に住家浸水や土砂災害、停電、道路の通行止めや鉄道の運休等の交通障害等が生じた。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な日降水量]

8月20日 茨城県常陸太田市徳田(トクダ) 127.5 ミリ



(16)8月23日～8月26日：西日本から北日本(大雨、突風)＜前線＞

8月23日から26日にかけては、西日本から東日本にのびる前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった。このため、東日本の日本海側と西日本を中心に大雨となった。特に8月24日には島根県において、平成25年7月28日に匹敵する記録的な大雨となった。また、23日には福井県小浜市や兵庫県篠山市でそれぞれF1の竜巻が発生したほか、岐阜県美濃加茂市ではF1のダウンバーストが発生した。

これらの影響で、土砂災害や浸水害などが発生し、北海道と島根県であわせて死者2名となったほか、全国で浸水家屋2,000棟以上の住家被害が生じた。その他、停電や断水、交通機関の運休など大きな影響が出た。(被害の状況は、平成25年10月7日18時00分現在の内閣府の情報による)

[主な日降水量]

8月23日	石川県かほく市かほく(カホク)	219.5	ミリ	富山県高岡市伏木(フシキ)	207.5	ミリ
	岐阜県白川村白川(シラカワ)	139.5	ミリ	福井県坂井市三国(ミクニ)	127.0	ミリ
	長野県白馬村白馬(ハクバ)	125.0	ミリ	北海道松前町松前(マツマエ)	117.5	ミリ
	福岡県朝倉市朝倉(アサクラ)	107.5	ミリ	長崎県対馬市厳原(イツハラ)	107.0	ミリ
	新潟県糸魚川市平岩(ヒライワ)	106.5	ミリ			
8月24日	島根県江津市桜江(サクラエ)	386.0	ミリ	佐賀県唐津市唐津(カラツ)	175.0	ミリ
	山口県山口市篠生(シノブ)	144.0	ミリ	長崎県対馬市厳原(イツハラ)	129.5	ミリ
	広島県三次市三次(ミヨシ)	117.0	ミリ	福井県南越前町今庄(イマシヨウ)	111.0	ミリ
	福岡県糸島市前原(マエバル)	102.5	ミリ			
8月25日	熊本県阿蘇市阿蘇乙姫(アソオヒメ)	254.0	ミリ	兵庫県西宮市西宮(ニシノミヤ)	161.5	ミリ
	長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	159.0	ミリ	福岡県大牟田市大牟田(オオムタ)	150.0	ミリ
	大阪府豊中市豊中(トヨナカ)	148.0	ミリ	島根県益田市高津(タカツ)	142.0	ミリ
	大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ)	138.0	ミリ	佐賀県佐賀市北山(ホクサン)	132.5	ミリ
	山口県萩市須佐(スサ)	114.5	ミリ	京都府京田辺市京田辺(キョウタナヘ)	105.0	ミリ
8月26日	鹿児島県肝付町肝付前田(キモツキマエダ)	131.5	ミリ			

(17)8月27日～8月28日：北海道(大雨)＜寒気、気圧の谷＞

8月27日と28日は、上空に寒気を伴う気圧の谷の影響で、北日本を中心に雨となり、特に27日は17時43分までの1時間に北海道苫小牧市苫小牧(トマコマイ)で90.0ミリの猛烈な雨を観測するなど、北海道で大雨となったところがあった。このため、北海道では住家の浸水や土砂災害が発生したほか、停電や鉄道の運休などの交通障害が生じた。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な日降水量]

8月27日	北海道苫小牧市苫小牧(トマコマイ)	154.5	ミリ
-------	-------------------	-------	----

(18)8月29日～9月5日：全国(大雨、暴風、突風、高波)＜前線、台風第15号、台風第17号＞

8月29日から9月5日にかけて、前線が本州付近にのび、停滞した。また、8月26日に発生した台風第15号は、8月29日から30日にかけて東シナ海を北に進み、31日に九州の西海上で温帯低気圧となった後、前線上を東に進んだ。さらに9月2日に発生した台風第17号は、東シナ海を北東に進み、4日3時頃に鹿児島県指宿市付近に上陸した後、9時に足摺岬付近で温帯低気圧となった。

これら2つの台風と前線の影響により、西日本から北日本にかけての広い範囲で大雨となった。また、台風第15号及び台風第17号の影響で、南西諸島から四国にかけて暴風となり、海上は大しけとなった。また、前線や

台風から変わった低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、31日には石川県加賀市でF0の突風が、2日には埼玉県さいたま市から千葉県及び茨城県にかけてF2の竜巻が、4日には栃木県鹿沼市と塩谷町においてそれぞれF1の竜巻が発生した。

これらの影響で、土砂災害や突風被害等が発生し、岐阜県と兵庫県をあわせて死者2名となり、九州から北海道の広い範囲で損壊家屋1,500棟以上、浸水家屋3,000棟以上の住家被害が生じた。また、停電や断水、交通障害等が発生した。(被害の状況は、平成25年10月7日18時00分現在の内閣府の情報による)

[主な日降水量]

8月30日	長崎県松浦市松浦(マツラ)	324.0	ミリ	福岡県太宰府市太宰府(ダザイフ)	262.0	ミリ
	佐賀県唐津市唐津(カラス)	204.0	ミリ	熊本県上天草市松島(マツシマ)	139.5	ミリ
	石川県輪島市輪島(ワジマ)	135.0	ミリ	山口県下松市下松(クダマツ)	122.0	ミリ
	富山県黒部市宇奈月(ウナツキ)	114.5	ミリ			
8月31日	鹿児島県薩摩川内市八重山(ヤイヤマ)	177.5	ミリ	熊本県湯前町湯前横谷(ノノエヨコタニ)	141.0	ミリ
	宮崎県えびの市えびの(エビノ)	134.5	ミリ	長崎県雲仙市雲仙岳(ウツセンダケ)	132.5	ミリ
	福岡県福岡市早良区早良脇山(サワラワキヤマ)	132.0	ミリ	秋田県八峰町八森(ハチモリ)	128.0	ミリ
	青森県弘前市岳(タケ)	123.0	ミリ	山口県萩市萩(ハギ)	117.0	ミリ
	大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ)	109.5	ミリ	佐賀県伊万里市伊万里(イマリ)	101.0	ミリ
9月1日	鹿児島県日置市東市来(ヒガシイチキ)	217.0	ミリ	宮崎県えびの市加久藤(カクフ)	195.0	ミリ
	熊本県人吉市人吉(ヒトヨシ)	187.0	ミリ	徳島県三好市京上(キョウジョウ)	114.0	ミリ
	長崎県島原市島原(シマハラ)	108.0	ミリ			
9月2日	兵庫県丹波市柏原(カイハラ)	190.0	ミリ	鹿児島県南さつま市加世田(カセダ)	135.0	ミリ
	京都府福知山市三和(ミワ)	130.0	ミリ	石川県輪島市輪島(ワジマ)	126.0	ミリ
	宮崎県えびの市えびの(エビノ)	108.5	ミリ	熊本県八代市八代(ヤツシロ)	107.0	ミリ
	沖縄県粟国村粟国(アゲニ)	102.0	ミリ			
9月3日	高知県土佐清水市清水(シミス)	218.0	ミリ	鹿児島県薩摩川内市中甕(ナカコシキ)	189.5	ミリ
	大分県大分市佐賀関(サガノセキ)	122.5	ミリ	徳島県徳島市徳島(トクシマ)	113.0	ミリ
	石川県輪島市輪島(ワジマ)	111.0	ミリ	山口県周防大島町安下庄(アゲノジョウ)	111.0	ミリ
	長崎県五島市福江(フクエ)	109.5	ミリ			
9月4日	高知県仁淀川町池川(イケガリ)	344.5	ミリ	愛媛県四国中央市富郷(トミサト)	268.0	ミリ
	徳島県上勝町福原旭(フクラアサヒ)	229.0	ミリ	香川県東かがわ市引田(ヒケタ)	170.5	ミリ
	宮崎県えびの市加久藤(カクフ)	166.5	ミリ	奈良県上北山村上北山(カキタヤマ)	164.0	ミリ
	岐阜県大垣市大垣(オオガキ)	163.0	ミリ	三重県大台町宮川(ミヤガリ)	157.5	ミリ
	鳥取県若桜町若桜(ワカサ)	147.0	ミリ	兵庫県姫路市家島(イエシマ)	146.5	ミリ
	静岡県静岡市葵区梅ヶ島(ウメガシマ)	141.5	ミリ	岡山県赤磐市赤磐(アカイワ)	137.0	ミリ
	和歌山県田辺市本宮(ホングウ)	125.0	ミリ	愛知県一宮市一宮(イチノミヤ)	124.5	ミリ
	広島県神石高原町油木(ユキ)	114.5	ミリ	島根県安来市伯太(ハクタイ)	111.0	ミリ
	鹿児島県伊佐市大口(オオクチ)	103.5	ミリ	山口県周防大島町安下庄(アゲノジョウ)	101.0	ミリ
	山梨県南部町南部(ナンブ)	100.5	ミリ			
9月5日	神奈川県海老名市海老名(エビナ)	200.0	ミリ	静岡県富士宮市白糸(シライト)	123.0	ミリ

[主な最大風速]

8月29日	沖縄県与那国町与那国島(ヨナグニジマ)	23.5	メートル	南	[05:42]
8月31日	和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	20.7	メートル	南	[04:55]
9月2日	沖縄県久米島町北原(キタハラ)	20.4	メートル	南	[15:34]

9月3日	長崎県雲仙市雲仙岳(ウツェンダケ)	23.7	メートル	北東	[23:59]
9月4日	長崎県雲仙市雲仙岳(ウツェンダケ)	24.2	メートル	北東	[00:06]
9月5日	北海道稚内市宗谷岬(ソウヤミサキ)	20.2	メートル	西	[18:30]

(19)9月8日:東日本(大雨)<前線>

東シナ海から三陸沖にのびていた前線が本州南岸に南下し、この前線上の三陸沖に低気圧が発生して東へ進んだ。これらの影響で、西日本から北日本にかけて雨が降り、特に東海地方では非常に激しい雨が降った。このため、静岡県で土砂崩れや落雷等により、停電、道路の通行止めや鉄道の運休等の交通障害等が生じた。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な日降水量]

9月8日	岐阜県下呂市萩原(ハギワラ)	84.5	ミリ	静岡県掛川市掛川(カガリ)	75.0	ミリ
------	----------------	------	----	---------------	------	----

(20)9月15日~9月17日:西日本から北日本(大雨、暴風、竜巻、高波)<台風第18号>

9月13日9時に小笠原諸島近海で発生した台風第18号は、発達しながら日本の南海上を北上し、潮岬の南海上を通過して、16日8時前に暴風域を伴って愛知県豊橋市付近に上陸した。その後、台風は速度を速めながら東海地方、関東甲信及び東北地方を北東に進み、16日21時に北海道の南東の海上で温帯低気圧となった。

台風の接近・通過に伴い、日本海から北日本にのびる前線の影響や、台風周辺から流れ込む湿った空気の影響、台風に伴う雨雲の影響で、四国から北海道にかけての広い範囲で大雨となった。また、台風や台風から変わった温帯低気圧の影響で、九州から北海道にかけての各地で暴風となった。このほか、15日には和歌山県串本町ではF1、三重県志摩市ではF0の竜巻が、16日には、埼玉県や群馬県でそれぞれF1の竜巻が発生した。

9月15日から16日までの総雨量は、近畿や東海地方を中心に400ミリを超えたほか、多いところでは、9月の月降水量平年値の2倍を超えたところがあった。また、近畿から北海道にかけての広い範囲で最大風速20m/sを超える暴風が吹き、海上では波の高さが9mを超える猛烈なしけとなり、沿岸では高潮となった。

台風第18号により記録的な大雨となった滋賀県、京都府及び福井県に対し、運用開始後初めて大雨特別警報を発表して最大級の警戒を呼びかけるなど、各地の気象台は、大雨や暴風等に対し、警報・注意報や気象情報で警戒を呼びかけた。

この大雨と暴風、竜巻等により、土砂災害、浸水害、河川の氾濫等が発生し、岩手県、福島県、福井県、三重県、滋賀県、兵庫県であわせて死者6名、行方不明者1名となり、四国から北海道の広い範囲で損壊家屋1,500棟以上、浸水家屋10,000棟以上の住家被害が生じた。また、停電、電話の不通、鉄道の運休、航空機・フェリーの欠航等の交通障害が発生した(被害の状況は、平成25年10月11日18時00分現在の内閣府の情報及び平成25年10月7日10時00分現在の国土交通省の情報による)。

[主な日降水量]

9月15日	奈良県上山村上山(カキヤマ)	396.0	ミリ	和歌山県田辺市本宮(ホングウ)	377.5	ミリ
	徳島県阿南市蒲生田(ガモクダ)	366.0	ミリ	三重県大台町宮川(ミヤガリ)	321.5	ミリ
	香川県東かがわ市引田(ヒケタ)	308.5	ミリ	兵庫県南あわじ市南淡(ナツタン)	234.5	ミリ
	滋賀県高島市朽木平良(クツキヘラ)	212.5	ミリ	東京都八王子市八王子(ハチオウジ)	180.0	ミリ
	神奈川県海老名市海老名(エビナ)	178.0	ミリ	京都府綾部市睦寄(ムツヨリ)	178.0	ミリ
	大阪府能勢町能勢(ノセ)	173.0	ミリ	茨城県大子町大子(ダイコ)	167.0	ミリ
	福井県おおい町大飯(オオイ)	167.0	ミリ	高知県馬路村魚梁瀬(イサセ)	167.0	ミリ
	福島県古殿町古殿(フルドノ)	155.5	ミリ	栃木県那須烏山市那須烏山(ナスカラスヤマ)	155.5	ミリ

	静岡県伊豆市天城山(アマキサン)	145.5	ミリ	岡山県瀬戸内市虫明(ムシアゲ)	125.0	ミリ
	宮城県亘理町亘理(ワケ)	122.5	ミリ	岐阜県大垣市上石津(カイツツ)	122.0	ミリ
	愛媛県四国中央市富郷(トミト)	120.0	ミリ	埼玉県飯能市飯能(ハンノウ)	117.5	ミリ
	山梨県上野原市上野原(ウエノハラ)	102.0	ミリ			
9月16日	静岡県静岡市葵区井川(イカワ)	371.0	ミリ	滋賀県高島市朽木平良(クツキハラ)	282.0	ミリ
	愛知県豊田市阿蔵(アゾウ)	280.5	ミリ	奈良県天川村天川(テンカワ)	280.5	ミリ
	栃木県日光市土呂部(ドロブ)	276.5	ミリ	岐阜県大垣市上石津(カイツツ)	270.5	ミリ
	長野県阿智村浪合(ナマイ)	263.5	ミリ	三重県大台町宮川(ミヤガワ)	254.0	ミリ
	福井県小浜市小浜(オハマ)	253.5	ミリ	山梨県山中湖村山中(ヤマナカ)	250.5	ミリ
	和歌山県高野町高野山(コウヤサン)	244.5	ミリ	群馬県高崎市榛名山(ハルナサン)	225.0	ミリ
	富山県南砺市五箇山(ゴカヤマ)	202.0	ミリ	北海道厚岸町太田(オオタ)	200.5	ミリ
	新潟県糸魚川市能生(ノウ)	192.0	ミリ	京都府京都市右京区京北(ケイホク)	185.0	ミリ
	石川県金沢市医王山(イオウゼン)	178.0	ミリ	秋田県男鹿市男鹿真山(オガシンザン)	177.0	ミリ
	埼玉県秩父市三峰(ミツミネ)	176.0	ミリ	岩手県八幡平市岩手松尾(イワテマツオ)	169.5	ミリ
	神奈川県山北町丹沢湖(タンザウコ)	165.5	ミリ	青森県弘前市弘前(ヒロサキ)	162.0	ミリ
	福島県天栄村湯本(ユモト)	152.0	ミリ	大阪府能勢町能勢(ノセ)	148.0	ミリ
	東京都檜原村小沢(オザワ)	127.5	ミリ	兵庫県篠山市後川(シツカワ)	119.5	ミリ
	宮城県栗原市駒ノ湯(コマノユ)	106.0	ミリ			

[主な最大風速]

9月16日	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	28.0	メートル	南	[07:06]
	愛知県常滑市セントレア(セントレア)	26.3	メートル	北北西	[07:51]
	兵庫県神戸市中央区神戸(コウベ)	26.1	メートル	北北西	[05:15]
	北海道釧路市釧路(クシリ)	25.9	メートル	北北東	[19:38]
	新潟県佐渡市弾崎(ハンジキサキ)	23.8	メートル	北北西	[11:05]
	静岡県御前崎市御前崎(オマエザキ)	23.0	メートル	南	[08:35]
	和歌山県串本町潮岬(シオノミサキ)	22.3	メートル	西	[05:49]
	岡山県奈義町奈義(ナギ)	21.3	メートル	北北東	[04:06]
	鳥取県鳥取市湖山(コヤマ)	21.3	メートル	北	[04:31]
	千葉県銚子市銚子(チヨウシ)	21.1	メートル	南	[11:03]
	山形県庄内町狩川(カカリ)	21.0	メートル	北西	[13:06]
	宮城県仙台市宮城野区仙台(センダイ)	20.5	メートル	南南東	[12:21]
	大阪府田尻町関空島(カンクウジマ)	20.0	メートル	北	[03:31]
9月17日	北海道稚内市宗谷岬(ソウヤミサキ)	21.8	メートル	西北西	[12:26]

(21)9月23日～9月26日：関東(大雨、暴風、高波)＜台風第20号＞

9月21日15時にマリアナ諸島近海で発生した台風第20号は発達しながら北西へ進み、24日には小笠原諸島に接近した。その後、北東へ進路を変え、26日に伊豆諸島に接近した後、日本の東の海上へ進んだ。この影響により、小笠原諸島では大雨や強風、関東の一部では暴風となったところがあった。また、海上では大しけとなった。

[主な日降水量]

9月23日	東京都小笠原村母島(ハハジマ)	193.5	ミリ
9月25日	東京都大島町大島(オオシマ)	54.0	ミリ

[主な最大風速]

9月23日	東京都三宅村三宅島(ミヤケジマ)	18.9	メートル	北東	[10:50]
9月24日	東京都三宅村三宅島(ミヤケジマ)	18.6	メートル	北北東	[04:21]
9月25日	東京都小笠原村父島(チチジマ)	15.3	メートル	南南東	[06:11]
9月26日	千葉県銚子市銚子(チヨウシ)	21.0	メートル	北北東	[14:10]

(22)10月1日～10月2日：関東(大雨、暴風)＜台風第22号＞

9月30日9時に小笠原諸島の東の海上で発生した台風第22号は、発達しながら北に進み、10月1日には伊豆諸島の東の海上を通過して、北東へ進路を変え、日本の東の海上へ進んだ。この影響で、関東から東北地方にかけての太平洋側では雨が降り、一部では強風となった。

[主な日降水量]

10月1日	千葉県成田市成田(ナリタ)	51.0	ミリ
10月2日	千葉県君津市坂畑(サカハタ)	66.5	ミリ

[主な最大風速]

10月2日	千葉県銚子市銚子(チヨウシ)	19.0	メートル	北北西	[15:30]
-------	----------------	------	------	-----	---------

(23)10月4日～10月9日：沖縄・奄美から東日本(大雨、暴風、高波)＜台風第23号、台風第24号＞

10月1日3時にフィリピンの東で発生した台風第23号は発達しながら北上し、3日15時には暴風域を伴い、4日21時には強い台風となってゆっくりと沖縄の南海上を北西に進んだ。その後、台風は強い勢力で暴風域を伴い、5日夜に先島諸島付近を通過し、7日9時に中国大陸に上陸した後、7日15時に熱帯低気圧に変わった。

また、10月4日15時にマリアナ諸島付近で発生した台風第24号は、発達しながら北西に進み、7日3時には非常に強い台風となって、7日午後に沖縄・奄美を通過した。台風は、その後進路を北東に変え、8日21時頃に長崎県対馬付近を通過したあと日本海に入り、9日9時に能登沖で温帯低気圧に変わり、北東に進んで北日本を通過した。

この2つの台風により、沖縄から北陸にかけて非常に強い風が吹き、海上は大しけとなった。特に沖縄から九州北部地方にかけての海上を中心に猛烈な風が吹き、猛烈なしけとなった。

これら2つの台風の影響で、土砂災害等が発生し、沖縄から北陸にかけて負傷者11名となり、鹿児島県を中心に900棟以上の住家被害が生じた。また、停電、電話の不通、鉄道の運休等の交通障害が発生した。(被害の状況は、平成25年10月10日19時00分現在の内閣府の情報による)

[主な日降水量]

10月4日	沖縄県南大東村旧東(キウトウ)	78.5	ミリ			
10月5日	高知県土佐清水市清水(シミズ)	305.5	ミリ	宮崎県日南市油津(アブラツ)	154.0	ミリ
	沖縄県久米島町久米島(クメジマ)	148.0	ミリ	愛媛県西条市成就社(シヨウシュウシャ)	120.0	ミリ
	鹿児島県肝付町肝付前田(キモツキマエダ)	103.0	ミリ			
10月6日	沖縄県多良間村仲筋(ナカスジ)	121.5	ミリ			
10月7日	鹿児島県和泊町沖永良部(オキノエラブ)	156.0	ミリ	沖縄県国頭村奥(オク)	125.0	ミリ
	高知県四万十町窪川(クボカ)	101.0	ミリ			
10月8日	宮崎県諸塚村諸塚(モロツカ)	96.5	ミリ			
10月9日	高知県香美市繁藤(シゲトリ)	81.5	ミリ			

[主な最大風速]

10月4日	沖縄県うるま市宮城島(ミヤキジマ)	19.4	メートル	北東	[23:52]
-------	-------------------	------	------	----	---------

10月5日	沖縄県宮古島市下地(シモジ)	34.0	メートル	北	[18:14]
10月6日	沖縄県宮古島市下地(シモジ)	28.0	メートル	南	[05:19]
10月7日	鹿児島県与論町与論島(ヨロシマ)	37.6	メートル	北北東	[15:58]
	沖縄県国頭村奥(オク)	26.5	メートル	西北西	[16:17]
10月8日	長崎県対馬市鱈浦(ウニウラ)	27.2	メートル	東	[19:54]
	愛媛県伊方町瀬戸(セト)	22.5	メートル	南南東	[22:53]
10月9日	島根県隠岐の島町西郷岬(サイゴウミサキ)	29.8	メートル	南南西	[05:49]
	愛媛県伊方町瀬戸(セト)	23.3	メートル	南	[00:57]
	和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	22.3	メートル	南	[08:13]
	石川県金沢市金沢(カナザリ)	22.0	メートル	南西	[12:33]
	福井県坂井市三国(ミクニ)	20.8	メートル	南南東	[10:02]

(24)10月14日～10月16日:東日本から北日本(大雨、暴風、高波) <台風第26号>

10月10日21時にマリアナ諸島付近で発生した台風第26号は、発達しながら日本の南海上を北上し、大型で強い勢力のまま、16日明け方に暴風域を伴って関東地方沿岸に接近した。その後、台風は関東の東海上を北上し、16日15時に三陸沖で温帯低気圧に変わった。

この台風及び台風から変わった温帯低気圧により、15日と16日を中心に、西日本から北日本の広い範囲で大雨、暴風となった。

特に東京都大島町では、台風がもたらす湿った空気の影響で、16日未明から1時間100ミリを超える猛烈な雨が数時間降り続き、24時間の降水量が800ミリを超える大雨となった。10月14日から16日までの総降水量は、東京都大島町大島で824.0ミリ、静岡県伊豆市天城山で399.0ミリとなるなど、関東や東海地方では300ミリを超えたほか、統計期間が10年以上の観測地点のうち、最大1時間降水量で2地点、最大3時間降水量で9地点、最大24時間降水量で14地点が統計開始以来の観測史上1位を更新した。風については、宮城県女川町江ノ島で33.6m/s、千葉県銚子市銚子で33.5m/sの最大風速を観測するなど、各地で暴風を観測し、海上では猛烈なしけとなった。

この大雨と暴風により、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県で死者39名、行方不明者4名となり、中国地方から北海道の広い範囲で住家損壊、土砂災害、浸水害、河川の氾濫等が発生した。特に、東京都大島町では大規模な土砂災害が発生し、死者35名、行方不明4名となった。また、停電、電話の不通、断水、鉄道の運休、航空機・フェリーの欠航等の交通障害が発生した(被害の状況は、平成25年11月25日17時00分現在の内閣府の情報による)。

[主な日降水量]

10月15日	東京都大島町大島(オオシマ)	298.5	ミリ	静岡県伊豆市天城山(アマギサン)	227.5	ミリ
	千葉県鋸南町鋸南(キョナン)	151.0	ミリ	和歌山県那智勝浦町色川(イロカワ)	148.0	ミリ
	三重県尾鷲市尾鷲(オウセ)	144.5	ミリ	愛知県田原市伊良湖(イラコ)	139.0	ミリ
	茨城県鹿嶋市鹿嶋(カシマ)	102.5	ミリ			
10月16日	東京都大島町大島(オオシマ)	525.5	ミリ	茨城県鹿嶋市鹿嶋(カシマ)	260.0	ミリ
	千葉県千葉市中央区千葉(チバ)	238.0	ミリ	新潟県糸魚川市平岩(ヒライワ)	183.5	ミリ
	静岡県伊豆市天城山(アマギサン)	171.0	ミリ	富山県南砺市五箇山(ゴカヤマ)	167.5	ミリ
	岩手県岩泉町小本(オホト)	158.0	ミリ	神奈川県三浦市三浦(ミウラ)	154.0	ミリ
	埼玉県越谷市越谷(コシガヤ)	149.0	ミリ	栃木県足利市足利(アシカガ)	148.0	ミリ
	宮城県女川町女川(オナガリ)	147.0	ミリ	群馬県館林市館林(タテバヤシ)	144.0	ミリ
	鳥取県鳥取市佐治(サジ)	134.0	ミリ	青森県弘前市岳(タケ)	128.5	ミリ

長野県小谷村小谷(オクリ)	128.5	ミリ	岡山県真庭市上長田(かながた)	126.0	ミリ
福島県富岡町富岡(トモカ)	119.5	ミリ	石川県金沢市医王山(イオウゼン)	105.5	ミリ
山梨県上野原市上野原(ウエノハラ)	103.5	ミリ			

[主な最大風速]

10月14日	沖縄県南大東村旧東(キウトウ)	20.0	メートル	北	[23:44]
10月15日	沖縄県南大東村旧東(キウトウ)	22.6	メートル	北	[00:58]
	鳥取県鳥取市湖山(コヤマ)	20.4	メートル	北北東	[23:45]
	山口県美祿市秋吉台(アキヨシダイ)	20.1	メートル	北	[23:05]
10月16日	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	34.9	メートル	北北東	[12:36]
	宮城県女川町江ノ島(エノシマ)	33.6	メートル	北北東	[09:49]
	千葉県銚子市銚子(チヨウシ)	33.5	メートル	北北西	[08:25]
	東京都八丈町八丈島(ハチジョウジマ)	25.0	メートル	南南西	[04:11]
	岡山県奈義町奈義(ナギ)	23.8	メートル	北	[02:35]
	鳥取県鳥取市湖山(コヤマ)	23.5	メートル	北	[01:54]
	静岡県熱海市網代(アジロ)	22.8	メートル	北北東	[03:21]
	愛知県常滑市セントレア(セントレア)	22.7	メートル	北北西	[01:54]
	新潟県佐渡市弾崎(ハジキサキ)	22.4	メートル	北	[08:47]
	京都府舞鶴市舞鶴(マイヅル)	21.4	メートル	北	[05:11]
	栃木県宇都宮市宇都宮(ウツミヤ)	21.3	メートル	北北東	[05:48]
	福島県白河市白河(シラカハ)	21.2	メートル	北西	[10:20]
	岩手県大船渡市大船渡(オホフナト)	20.6	メートル	北	[09:58]
	神奈川県三浦市三浦(ミウラ)	20.2	メートル	北	[06:42]
	長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	20.1	メートル	北	[00:14]

(25)10月23日～10月26日：沖縄・奄美から東日本(大雨、暴風、高波)＜台風第27号＞

10月16日15時にマリアナ諸島付近で発生した台風第27号は、発達しながら日本の南海上を北上し、24日から25日にかけて大東島付近を通過した後、進路を東北東へ変え、速度を速めながら26日にかけて本州の南岸を進み、26日午前中に伊豆諸島を通過した。その後、台風は26日15時に日本の東で温帯低気圧となった。この台風と本州の南岸に停滞する前線により、南西諸島と西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に広い範囲で大雨、暴風となり、海上は猛烈なしけとなった。

この大雨と暴風により、千葉県で1名が負傷したほか、西日本から東日本にかけて住家損壊や土砂災害等が発生した。また、停電、電話の不通、道路の被災による交通障害等が発生した。(被害の状況は、平成25年11月7日15時00分現在の内閣府の情報による)

[主な日降水量]

10月23日	宮城県宮崎市青島(アオシマ)	161.5	ミリ	沖縄県南大東村南大東(ミナミダイウ)	125.5	ミリ
	高知県土佐清水市清水(シミズ)	119.0	ミリ	大分県佐伯市佐伯(サイキ)	102.5	ミリ
10月24日	宮城県諸塚村諸塚(モツカ)	372.5	ミリ	大分県佐伯市佐伯(サイキ)	359.5	ミリ
	高知県仁淀川町鳥形山(トリガタヤマ)	348.0	ミリ	徳島県海陽町海陽(カイヨウ)	337.5	ミリ
	熊本県湯前町湯前横谷(ユノマエヨコタニ)	211.5	ミリ	愛媛県西条市成就社(シヨウジユシヤ)	182.5	ミリ
	鹿児島県肝付町肝付前田(キモツキマエダ)	167.5	ミリ	山口県岩国市羅漢山(ラカンザン)	162.5	ミリ
	広島県安芸太田町内黒山(ウチグロヤマ)	160.0	ミリ	島根県安来市伯太(ハクダ)	133.0	ミリ
	沖縄県北大東村北大東(キタダイウ)	122.5	ミリ	岡山県真庭市上長田(かながた)	110.0	ミリ

	鳥取県江府町江尾(エビ)	106.5	ミリ	福岡県太宰府市太宰府(タザイフ)	103.0	ミリ
10月25日	北海道白老町森野(モリノ)	255.0	ミリ	高知県仁淀川町鳥形山(トリガタヤマ)	254.5	ミリ
	三重県尾鷲市尾鷲(オウセ)	237.0	ミリ	愛媛県西条市成就社(シヨウジュシヤ)	199.0	ミリ
	静岡県磐田市磐田(イワタ)	158.0	ミリ	徳島県上勝町福原旭(ウケハラアサヒ)	149.0	ミリ
	香川県東かがわ市引田(ヒケタ)	148.0	ミリ	兵庫県洲本市洲本(スエト)	142.5	ミリ
	山梨県南部町南部(ナンブ)	136.5	ミリ	福井県おおい町大飯(オオイ)	135.0	ミリ
	京都府舞鶴市舞鶴(マイヅル)	134.5	ミリ	滋賀県高島市朽木平良(クツキハラ)	109.5	ミリ
	岐阜県白川村御母衣(ミホロ)	104.5	ミリ	和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	104.5	ミリ
	石川県加賀市加賀菅谷(カガスカタニ)	100.0	ミリ			
10月26日	東京都大島町大島(オオシマ)	121.0	ミリ	静岡県牧之原市静岡空港(シズノカクウコウ)	108.0	ミリ

[主な最大風速]

10月23日	沖縄県南大東村南大東(ミナミダイウ)	23.3	メートル	東	[24:00]
10月24日	沖縄県南大東村南大東(ミナミダイウ)	28.4	メートル	南南東	[20:58]
	鹿児島県和泊町沖永良部(オキノエラブ)	24.1	メートル	北東	[19:54]
10月25日	鹿児島県奄美市笠利(カサリ)	26.0	メートル	北東	[06:20]
	沖縄県北大東村北大東(キタダイウ)	23.4	メートル	南	[00:35]
10月26日	千葉県銚子市銚子(チヨシ)	20.5	メートル	北北東	[08:25]
	東京都八丈町八重見ヶ原(ヤエミガハラ)	20.4	メートル	北東	[09:59]

(2.6)11月17日～11月22日:北陸、東北地方(大雨) <低気圧、冬型>

11月17日から19日にかけて、沿海州に低気圧がほとんど停滞した。その後低気圧は消滅し20日から22日にかけては冬型の気圧配置となった。このため、本州日本海側を中心に断続的に雷を伴い雨や雪が降った。この影響で、秋田県では工事現場で発生した土砂崩れにより死者5名となったほか、本州日本海側で停電、道路の通行止めや鉄道の運休、航空機や船舶の欠航等の交通障害が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な日降水量]

11月18日	石川県金沢市金沢(カザリ)	92.0	ミリ	秋田県にかほ市にかほ(ニホ)	68.5	ミリ
	山形県鶴岡市鼠ヶ関(ネズガキ)	64.5	ミリ	新潟県新潟市中央区新潟(ニガタ)	61.5	ミリ
11月19日	山形県鶴岡市荒沢(アラツ)	81.0	ミリ	石川県七尾市七尾(ナナオ)	77.5	ミリ
	新潟県村上市高根(タカネ)	74.5	ミリ	秋田県秋田市仁別(ニベツ)	71.5	ミリ
11月20日	新潟県三条市三条(サンゾウ)	103.5	ミリ	石川県金沢市金沢(カザリ)	99.5	ミリ
	富山県富山市富山(トヤマ)	78.5	ミリ	山形県鶴岡市鼠ヶ関(ネズガキ)	61.0	ミリ
	福井県福井市福井(フカイ)	52.5	ミリ			
11月21日	新潟県長岡市長岡(ナガノカ)	98.5	ミリ	福島県只見町只見(タジミ)	57.5	ミリ
11月22日	新潟県柏崎市柏崎(カザキ)	94.5	ミリ	山形県小国町小国(コクニ)	60.5	ミリ

(2.7)11月23日:富山県(なだれ) <高気圧>

11月20日から22日にかけて、強い寒気や冬型の気圧配置の影響で雨や雪が降り、北陸の山沿いでは積雪が増えた。23日は冬型が次第に緩み、本州付近は高気圧に覆われ、富山県は概ね晴れか曇りであった。23日10時55分ごろ、立山町芦峯寺の真砂岳(標高2,860メートル)西側斜面において、雪崩が発生し、巻き込まれた7名が死亡した。(被害の状況は富山県警による)



平成25年に発生した主な竜巻等の突風

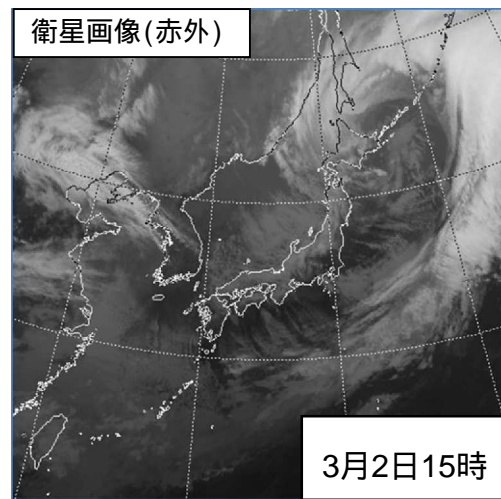
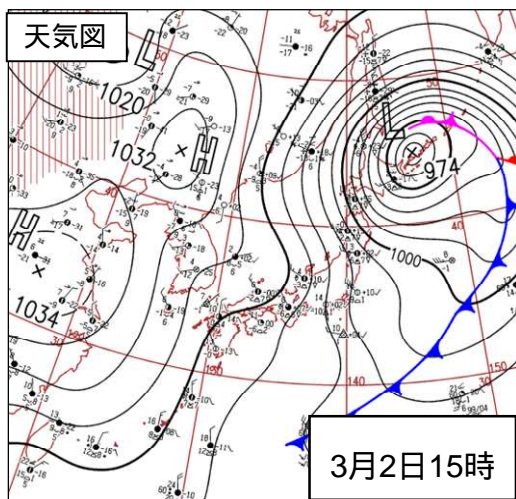
発生日時	現象区別	発生場所	主な被害状況	藤田 スケール	気象状況
1月2日 18時50分頃	竜巻	北海道 日高郡新 ひだか町	負傷者1名	F1	低気圧
8月11日 18時から18時 30分頃	ダウンバースト またはガストフ ロント	群馬県 高崎市・前橋市	負傷者3名	F1	雷雨(熱雷)
8月23日 16時20分頃	竜巻	福井県 小浜市	負傷者1名	F1	暖気の移流
8月23日 18時30分頃	竜巻	兵庫県 篠山市	負傷者2名	F1	暖気の移流、 雷雨(熱雷を除く)
8月23日 19時頃	ダウンバースト	岐阜県 美濃加茂 市	負傷者1名、住家半壊1棟	F0	停滞前線、 暖気の移流
8月31日 17時頃	その他(不明を 含む)	石川県 加賀市	負傷者3名	F0	寒冷前線
9月2日 14時00分頃	竜巻	埼玉県 さいたま市	負傷者64名、住家全壊14 棟、住家半壊27棟	F2	停滞前線、 暖気の移流
9月4日 12時20分頃	竜巻	栃木県 鹿沼市	負傷者2名、住家半壊2棟	F1	停滞前線、 暖気の移流
9月4日 12時50分頃	竜巻	栃木県 塩谷郡塩 谷町	負傷者1名	F1	停滞前線、 暖気の移流
9月15日 14時30分頃	竜巻	和歌山県 東牟婁 郡串本町	負傷者2名	F1	台風、 暖気の移流
9月15日 18時05分頃	竜巻	和歌山県 東牟婁 郡串本町	負傷者1名	F1	台風、 暖気の移流
9月15日 21時10分頃	竜巻	三重県 志摩市	住家半壊1棟	F0	台風、 暖気の移流
9月16日 01時30分頃	竜巻	埼玉県 比企郡滑 川町	負傷者6名、住家全壊10 棟、住家半壊12棟	F1	台風、 暖気の移流
9月16日 02時頃	竜巻	埼玉県 熊谷市	*「主な被害状況」は同日02 時頃に埼玉県熊谷市で発 生した事例との合算値	F1	台風、 暖気の移流
9月16日 02時20分頃	竜巻	群馬県 みどり市	負傷者2名	F1	台風、 暖気の移流

被害(死者、負傷者、住家全壊、住家半壊)が発生したもの

詳しくは、気象庁ホームページに「竜巻等の突風データベース」を掲載していますのでご参照ください。  
(<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/tornado/index.html>)

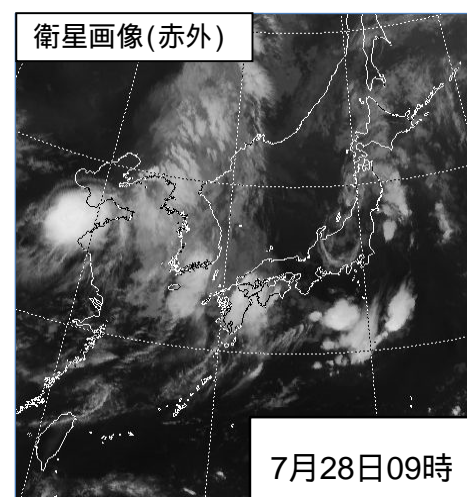
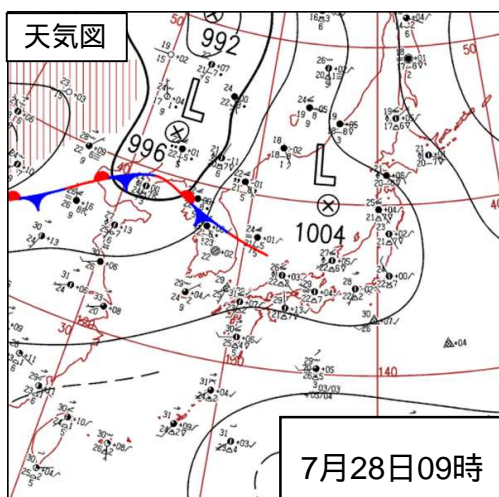
## 災害番号 ( 5 )

### 天気図等



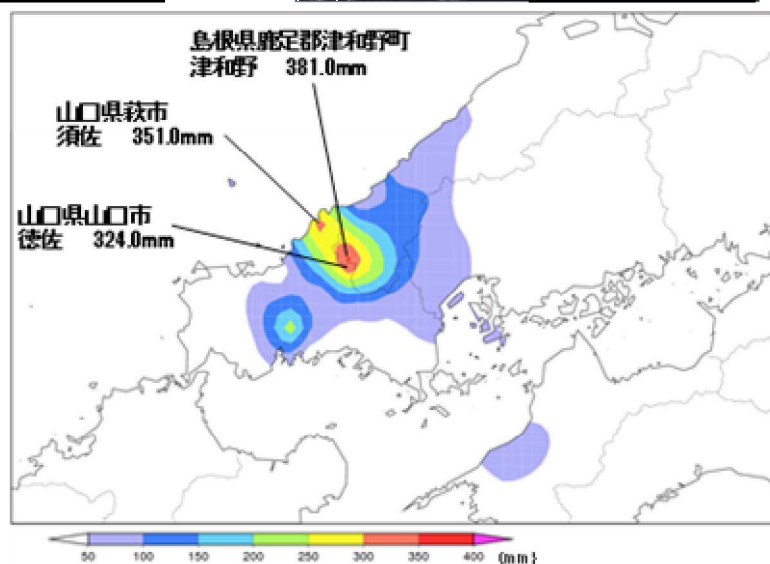
## 災害番号 ( 8 ) [ 7 月 2 8 日 ]

### 天気図等



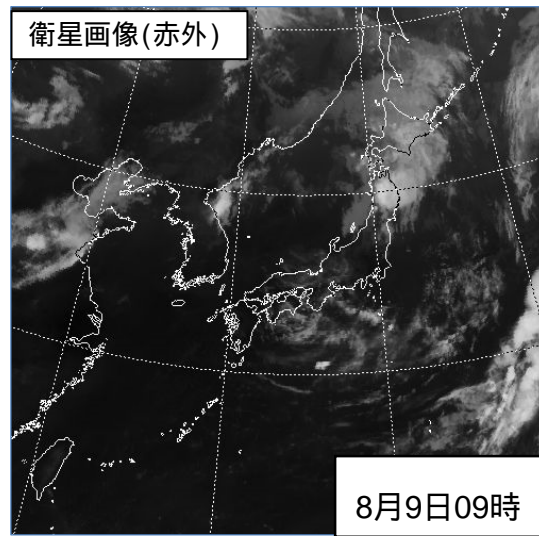
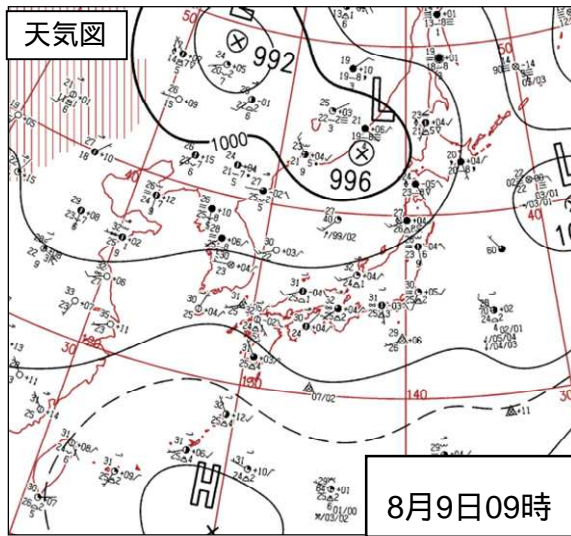
### 総降水量分布図

[ 期間 : 7 月 2 8 日 ]

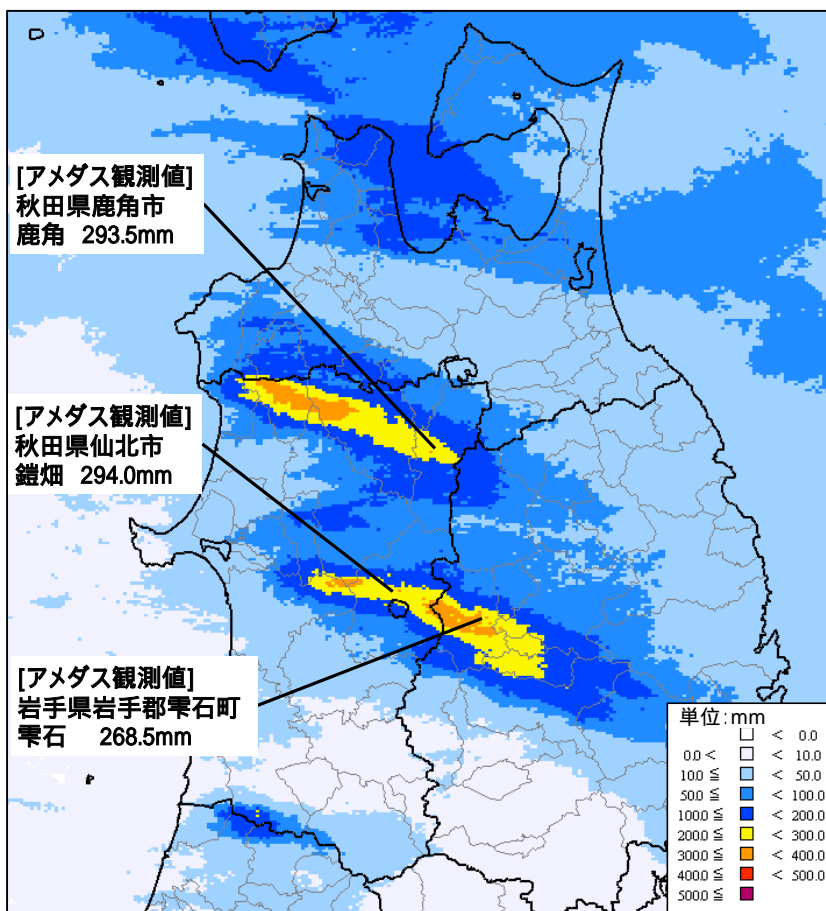


# 災害番号(8)[8月9日~10日]

## 天気図等



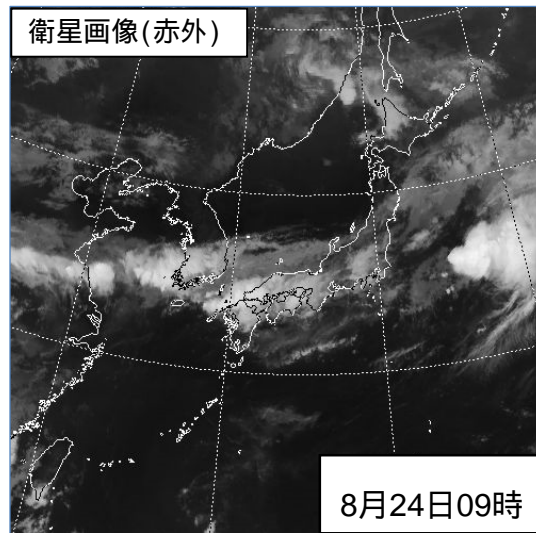
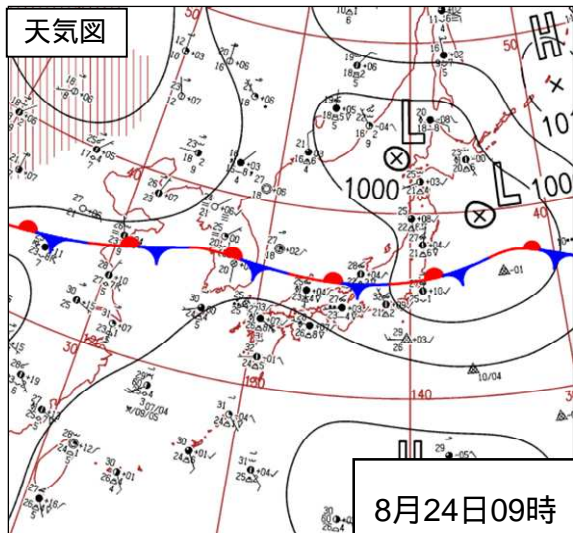
## 総降水量分布図(解析雨量による)[期間:8月9日~8月10日]



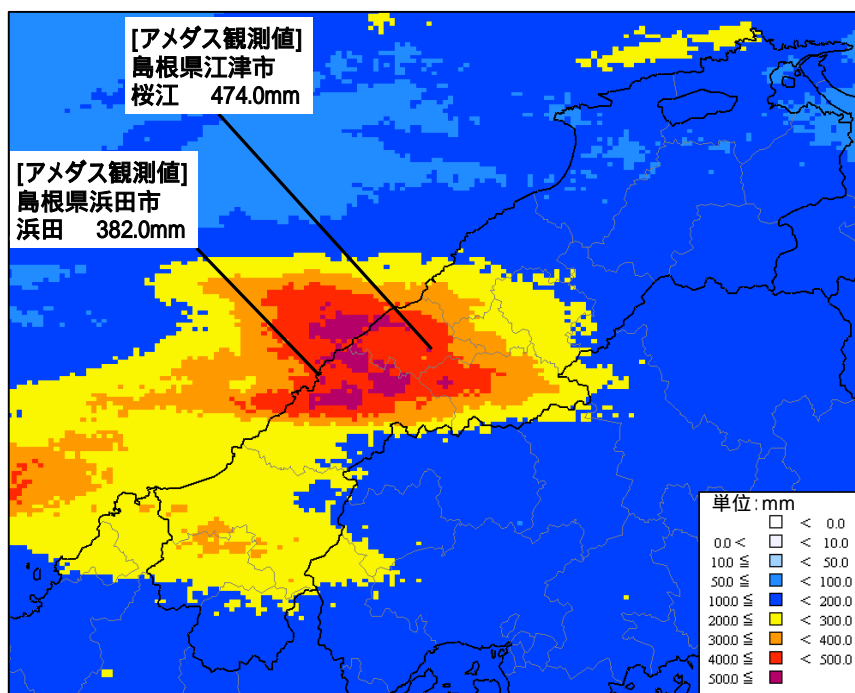
解析雨量とは、気象レーダーと、アメダス等の雨量計を組み合わせ、雨量分布を1km四方の細かさで解析したもの。

# 災害番号 ( 1 6 )

## 天気図等



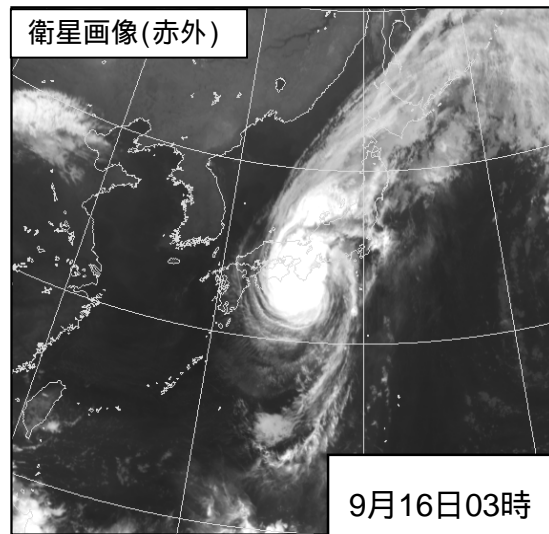
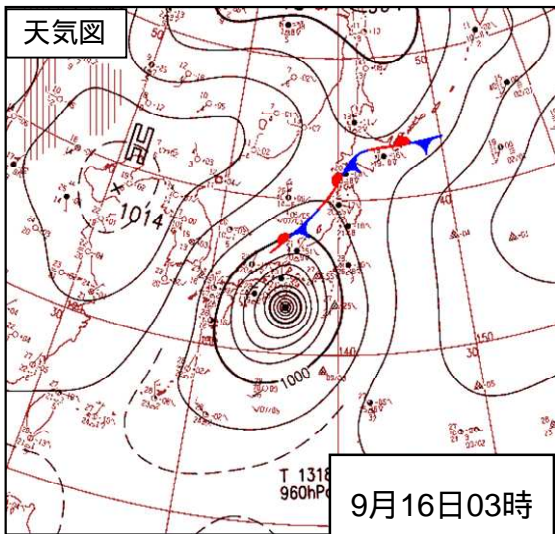
## 総降水量分布図 ( 解析雨量による ) [ 期間 : 8月23日 ~ 8月25日 ]



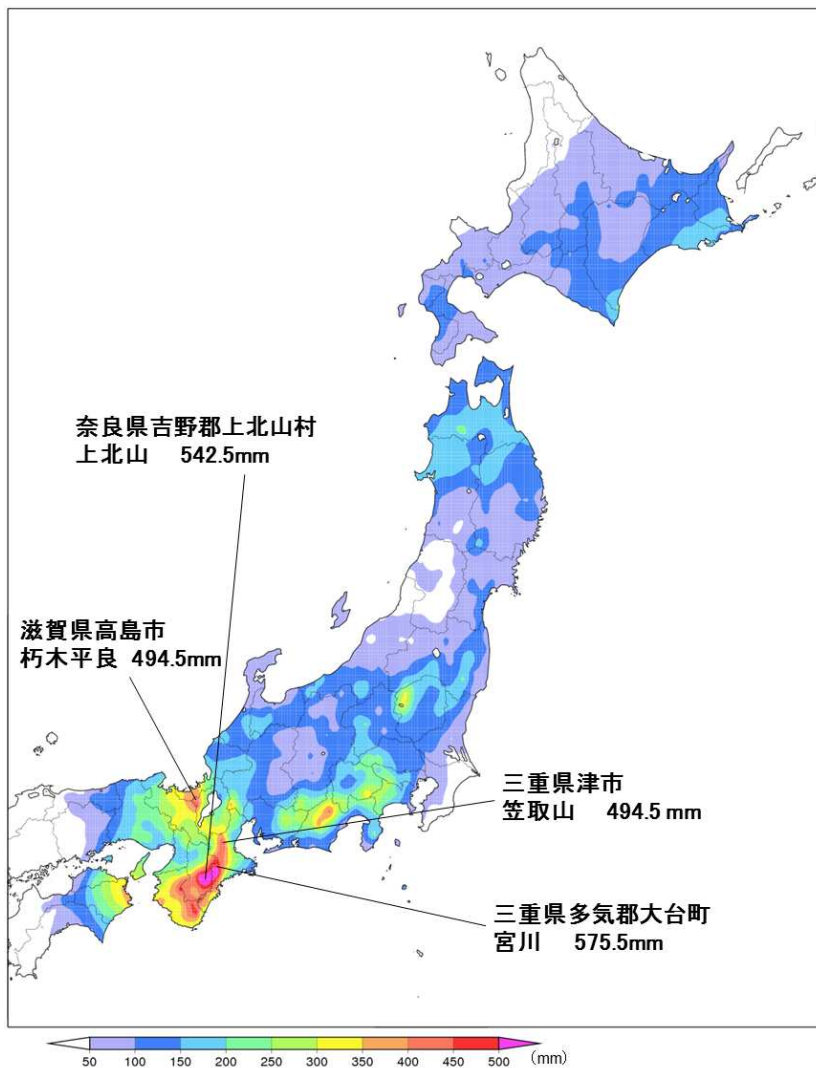
解析雨量とは、気象レーダーと、アメダス等の雨量計を組み合わせ、雨量分布を 1km 四方の細かさで解析したもの。

# 災害番号(20)

## 天気図等

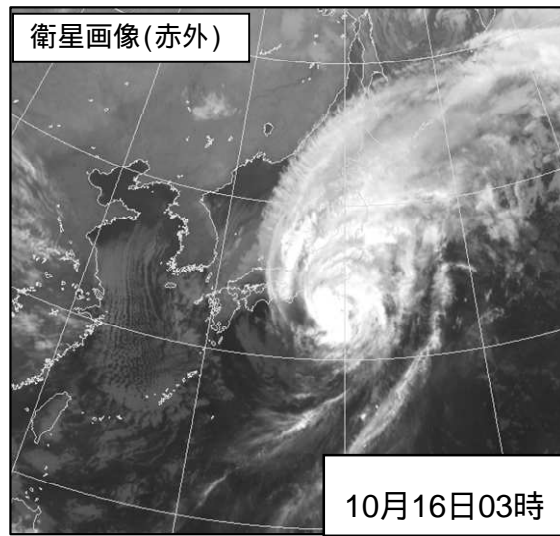
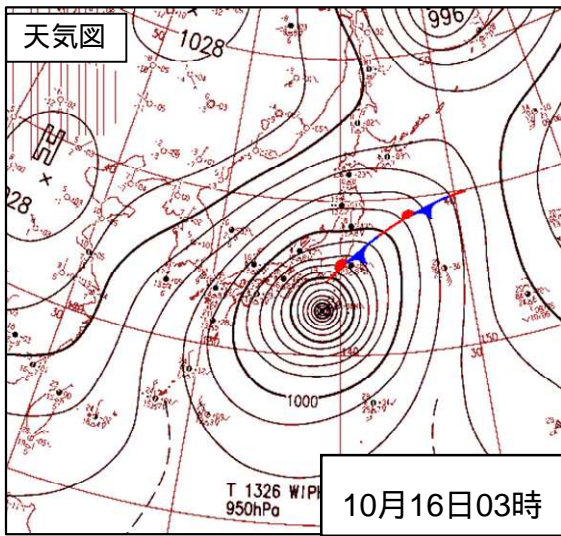


## 総降水量分布図 [期間：9月15日～9月16日]

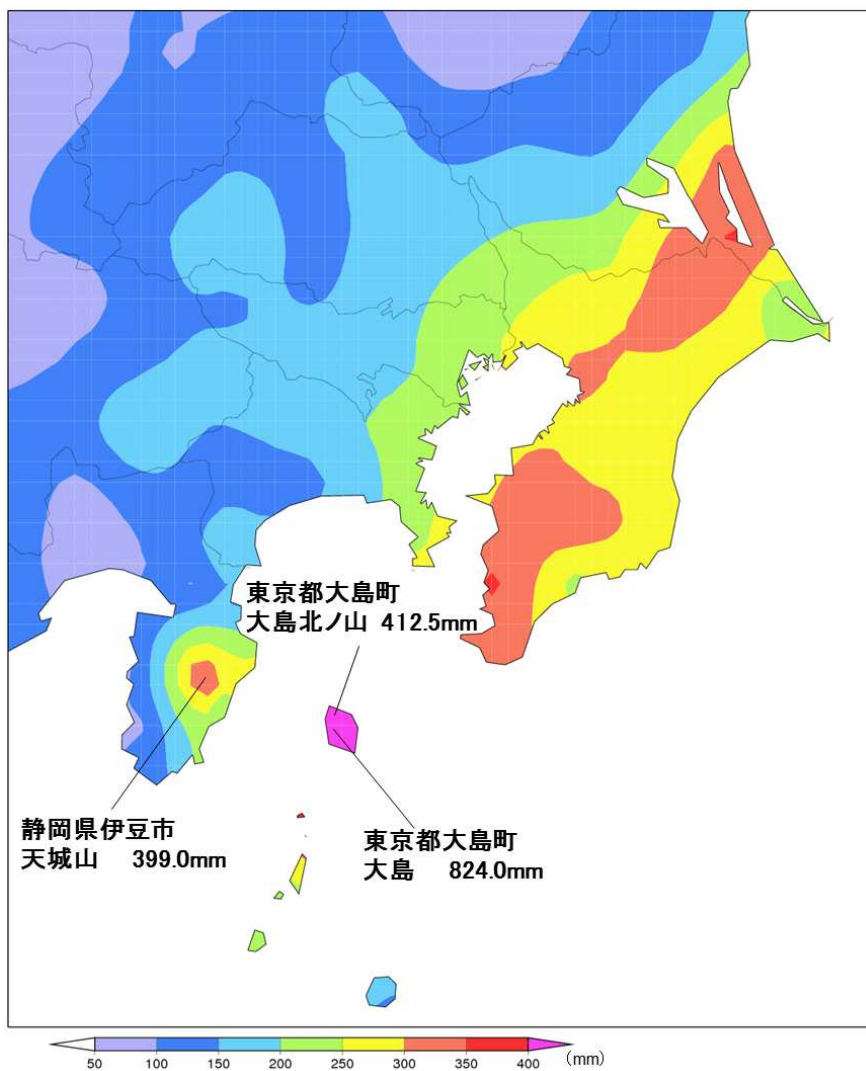


# 災害番号(24)

## 天気図等



## 総降水量分布図 [期間: 10月14日~10月16日]



資料 1-2-1 平成 25 年（2013 年）激甚災害指定状況一覧表（地すべり、地震、火山を除く）

激甚災害(本激：地域を特定せず、災害そのものを指定)

< 内閣府作成資料等から引用 >

期間	災害原因	気象要因
6/8～8/9	豪雨、暴風雨	梅雨前線、暖湿気、台風第 4 号
9/15～9/17	暴風雨、豪雨	台風第 18 号

局地激甚災害(局激：市町村単位で災害を指定)

期間	災害原因	気象要因	対象地区	
			都道府県	市町村
2/2	豪雨	前線	和歌山県	白浜町
5/5～5/6	融雪	低気圧	北海道	夕張市
6/8～8/9	豪雨、 暴風雨	梅雨前線、暖湿気、 台風第 4 号	岩手県	雫石町、紫波町、岩泉町
			山形県	西川町、大江町
			静岡県	西伊豆町
			奈良県	野迫川村
			島根県	美郷町、津和野町
			山口県	山口市（旧阿東町）、萩市
			熊本県	水上村
8/17～8/19	豪雨	前線	北海道	乙部町
8/23～8/25	豪雨	前線	石川県	かほく市、津幡町
			島根県	浜田市、江津市、邑南町、津和野町、川本町
			長崎県	平戸市
8/30～9/5	豪雨、暴 風雨	前線、台風第17号	石川県	輪島市
			岡山県	高梁市、新庄村
			高知県	仁淀川町、檜原町、三原村
			福岡県	宇美町
			長崎県	平戸市
			鹿児島県	西之表市
9/15～9/17	暴風雨、 豪雨	台風第18号	青森県	鯨ヶ沢町
			岩手県	二戸市、一戸町
			長野県	阿智村
			奈良県	黒滝村
			和歌山県	高野町
10/15～10/16	暴風雨	台風第26号	岩手県	山田町
			東京都	大島町

本激は農地等、局激は公共土木施設等

(注)激甚災害および局地激甚災害は「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づき指定された政令により公布される。

## (参考) 激甚災害について

< 内閣府HP、激甚災害制度の手引き(災害対策制度研究会/編著)から引用 >

### 1 激甚災害制度の概要

激甚災害制度は、「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づき、国民経済に著しい影響を及ぼす災害に対して、「地方財政の負担の緩和」、「被災者に対する特別の助成」を行うことが特に必要であると認められる場合に、その災害を激甚災害として政令で指定し、あわせてその災害に対して適用すべき特例措置を指定するものです。

その結果、一般の災害復旧事業補助・災害復旧貸付等の支援措置に加えて、激甚災害法に基づき、公共土木施設、公立学校、公営住宅、農地等の災害復旧事業等の財政援助等の様々な特例措置が適用されることとなります。

激甚災害法により、激甚災害を指定する政令の制定にあたっては、あらかじめ中央防災会議の意見を聴くこととされており、中央防災会議では、その指定基準として、現在、激甚災害指定基準(本激)と局地激甚災害指定基準(局激)の2つを決定しています。

### 2 局地激甚災害について

激甚災害指定基準(本激)では、全国を単位として積み上げられた被害額を基準としているため、激甚災害制度の創設(昭和37年)当初は、ある特定地域に激甚な被害を及ぼした災害であっても、全国レベルで見ればさほどの被害とはならず、指定基準を越えられない(激甚災害として指定されない)という状況が生じていました。

そこで、市町村単位の被害額を基準とする局地激甚災害指定基準を昭和43年に創設し、限られた地域内で多大な被害を被った地域に対して各種の特例措置が適用されることとしました。

### 3 本激と局激の違い

激甚災害指定基準による指定、いわゆる「本激」が地域を特定せず、災害そのものを指定するのに対し、局地激甚災害指定基準による指定、いわゆる「局激」は市町村単位で災害を指定します。

ただし、激甚災害に指定されても、被害を受けた地方公共団体等のすべてが特例措置を受けられるわけではなく、被害の大きさが一定規模以上の地方公共団体等に限って特例措置が適用されます。



## 2 平成 25 年(2013 年)台風の概要

### 2-1 平成 25 年(2013 年)に発生した台風

台風の発生数は平年より多い 31 個(平年値 25.6 個)で年間発生数が 1994 年以來 19 年ぶりに 30 個を超えた。日本への接近数も平年より多い 14 個(平年値 11.4 個)であった(表 2.1)。9~10 月に台風の接近が多く、10 月の接近数は 1951 年以降で最も多い 6 個(平年値 1.5 個)であった。

表 2.1 平成 25 年(2013 年)の台風発生数、日本への上陸数<sup>\*1</sup>、日本への接近数<sup>\*2</sup>と平年値及び平成 24 年(2012 年)との比較

項目		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
平年値	発生数		0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
	上陸数						0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7
	接近数					0.2	0.6	0.8	2.1	3.4	2.9	1.5	0.6	0.1	11.4
平成 24 年 (2012 年)	発生数				1		1	4	4	5	3	5	1	1	25
	上陸数							1			1				2
	接近数						1	3	3	6	3	4			17
平成 25 年 (2013 年)	発生数		1	1				4	3	6	7	7	2		31
	上陸数										2				2
	接近数							2	1	2	4	6			14

(注)・平年値は、昭和 56 年(1981 年)~平成 22 年(2010 年)の 30 年平均。

・日本への接近は 2 か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

上陸<sup>\*1</sup> 台風の中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を「上陸」という。小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は「通過」とする。

接近<sup>\*2</sup> 台風の中心が、日本から概ね 300km 以内に入った場合を「接近」という。

資料2-1-1 台風発生数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	1	1	2	1	1	3	3	2	4	1	2	21 (-)
52 27	0	0	0	0	0	3	3	5	3	6	3	4	27 (0)
53 28	0	1	0	0	1	2	1	6	3	5	3	1	23 (-)
54 29	0	0	1	0	1	0	1	5	5	4	3	1	21 (-)
55 30	1	1	1	1	0	2	7	6	4	3	1	1	28 (0)
56 31	0	0	1	2	0	1	2	5	6	1	4	1	23 (-)
57 32	2	0	0	1	1	1	1	4	5	4	3	0	22 (-)
58 33	1	0	0	1	1	4	7	5	5	3	2	2	31 (+)
59 34	0	1	1	1	0	0	2	5	5	4	2	2	23 (-)
60 35	0	0	0	1	1	3	3	10	3	4	1	1	27 (0)
1961 36	1	0	1	0	2	3	4	6	6	4	1	1	29 (+)
62 37	0	1	0	1	2	0	5	8	4	5	3	1	30 (+)
63 38	0	0	0	1	0	4	4	3	5	4	0	3	24 (0)
64 39	0	0	0	0	2	2	7	5	6	5	6	1	34 (+)
65 40	2	1	1	1	2	3	5	5	8	2	2	0	32 (+)
66 41	0	0	0	1	2	1	4	10	9	4	3	1	35 (+)
67 42	0	1	2	1	1	1	7	9	9	4	3	1	39 (+)
68 43	0	0	0	1	1	1	3	8	3	5	5	0	27 (0)
69 44	1	0	1	1	0	0	3	4	3	3	2	1	19 (-)
70 45	0	1	0	0	0	2	3	6	5	5	4	0	26 (0)
1971 46	1	0	1	3	4	2	8	5	6	4	2	0	36 (+)
72 47	1	0	0	0	1	3	6	5	5	5	3	2	31 (+)
73 48	0	0	0	0	0	0	7	5	2	4	3	0	21 (-)
74 49	1	0	1	1	1	4	4	5	5	4	4	2	32 (+)
75 50	1	0	0	0	0	0	2	4	5	5	3	1	21 (-)
76 51	1	1	0	2	2	2	4	4	5	1	1	2	25 (0)
77 52	0	0	1	0	0	1	3	3	5	5	1	2	21 (-)
78 53	1	0	0	1	0	3	4	8	5	4	4	0	30 (+)
79 54	1	0	1	1	2	0	4	2	6	3	2	2	24 (0)
80 55	0	0	0	1	4	1	4	2	6	4	1	1	24 (0)
1981 56	0	0	1	2	0	3	4	8	4	2	3	2	29 (+)
82 57	0	0	3	0	1	3	3	5	5	3	1	1	25 (0)
83 58	0	0	0	0	0	1	3	5	2	5	5	2	23 (-)
84 59	0	0	0	0	0	2	5	5	4	7	3	1	27 (0)
85 60	2	0	0	0	1	3	1	8	5	4	1	2	27 (0)
86 61	0	1	0	1	2	2	3	5	3	5	4	3	29 (+)
87 62	1	0	0	1	0	2	4	4	6	2	2	1	23 (-)
88 63	1	0	0	0	1	3	2	8	8	5	2	1	31 (+)
89 H. 1	1	0	0	1	2	2	7	5	6	4	3	1	32 (+)
90 2	1	0	0	1	1	3	4	6	4	4	4	1	29 (+)
1991 3	0	0	2	1	1	1	4	5	6	3	6	0	29 (+)
92 4	1	1	0	0	0	2	4	8	5	7	3	0	31 (+)
93 5	0	0	1	0	0	1	4	7	5	5	2	3	28 (0)
94 6	0	0	0	1	1	2	7	9	8	6	0	2	36 (+)
95 7	0	0	0	1	0	1	2	6	5	6	1	1	23 (-)
96 8	0	1	0	1	2	0	5	6	6	2	2	1	26 (0)
97 9	0	0	0	2	3	3	4	6	4	3	2	1	28 (0)
98 10	0	0	0	0	0	0	1	3	5	2	3	2	16 (-)
99 11	0	0	0	2	0	1	4	6	6	2	1	0	22 (-)
2000 12	0	0	0	0	2	0	5	6	5	2	2	1	23 (-)
01 13	0	0	0	0	1	2	5	6	5	3	1	3	26 (0)
02 14	1	1	0	0	1	3	5	6	4	2	2	1	26 (0)
03 15	1	0	0	1	2	2	2	5	3	3	2	0	21 (-)
04 16	0	0	0	1	2	5	2	8	3	3	3	2	29 (+)
05 17	1	0	1	1	1	0	5	5	5	2	2	0	23 (-)
06 18	0	0	0	0	1	1	3	7	3	4	2	2	23 (-)
07 19	0	0	0	1	1	0	3	4	5	6	4	0	24 (0)
08 20	0	0	0	1	4	1	2	4	4	2	3	1	22 (-)
09 21	0	0	0	0	2	2	2	5	7	3	1	0	22 (-)
2010 22	0	0	1	0	0	0	2	5	4	2	0	0	14 (-)
11 23	0	0	0	0	2	3	4	3	7	1	0	1	21 (-)
12 24	0	0	1	0	1	4	4	5	3	5	1	1	25 (0)
13 25	1	1	0	0	0	4	3	6	7	7	2	0	31 (+)
平年値 1981-2010	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

台風の発生月：熱帯低気圧が台風(風速およそ17m/s以上)となった月とする。  
 合計の(-)は24個未満、(0)は24個以上29個未満、(+)は29個以上を示す。

資料2-1-2 日本への台風上陸数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
52 27	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
53 28	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
54 29	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	5
55 30	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	4
56 31	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
57 32	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
58 33	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
59 34	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
60 35	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4
1961 36	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
62 37	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	5
63 38	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
64 39	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
65 40	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	5
66 41	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	5
67 42	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
68 43	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
69 44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
70 45	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
1971 46	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
72 47	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
73 48	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
74 49	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
75 50	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
76 51	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
77 52	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
78 53	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
79 54	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
80 55	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
1981 56	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
82 57	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4
83 58	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
84 59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85 60	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
86 61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
87 62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
88 63	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
89 H. 1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	5
90 2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	6
1991 3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
92 4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
93 5	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	6
94 6	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
95 7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
96 8	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
97 9	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	4
98 10	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4
99 11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
2000 12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2001 13	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
02 14	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
03 15	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
04 16	0	0	0	0	0	2	1	3	2	2	0	0	10
05 17	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
06 18	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
07 19	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
08 20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
09 21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
11 23	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
12 24	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
13 25	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
平年値 1981-2010	-	-	-	-	0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0	-	2.7

台風の日本への上陸：台風の中心が北海道・本州・四国・九州の海岸線に達した場合をいう。  
小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は通過とする。

資料2-1-3 日本への台風接近数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	0	0	8
52 27	0	0	0	0	0	1	2	3	2	2	3	0	12
53 28	0	0	0	0	0	1	2	4	1	3	0	0	10
54 29	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	1	0	10
55 30	0	0	0	1	0	0	7	3	1	4	0	1	16
56 31	0	0	0	1	0	0	1	3	6	0	0	0	10
57 32	0	0	0	0	0	1	0	3	3	2	2	0	10
58 33	0	0	0	0	0	4	5	2	3	0	1	0	15
59 34	0	0	0	1	0	0	1	3	3	3	2	0	13
60 35	0	0	0	0	0	3	2	11	1	2	0	1	19
1961 36	0	0	0	0	1	2	2	4	4	3	0	0	15
62 37	0	0	0	0	1	0	4	6	2	1	1	0	14
63 38	0	0	0	0	0	3	2	2	2	3	0	0	12
64 39	0	0	0	0	0	0	3	3	1	1	0	0	8
65 40	0	0	0	0	1	3	1	4	4	1	1	0	15
66 41	0	0	0	0	2	2	1	7	8	1	0	0	19
67 42	0	0	0	1	0	0	3	4	3	2	1	0	13
68 43	0	0	0	0	0	1	2	2	4	1	0	0	10
69 44	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	2	0	8
70 45	0	0	0	0	0	0	2	4	3	0	0	0	9
1971 46	0	0	0	1	1	0	2	3	5	1	1	0	13
72 47	0	0	0	0	0	0	3	3	2	3	0	0	11
73 48	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4
74 49	0	0	0	0	0	1	3	4	3	0	0	0	10
75 50	0	0	0	0	0	0	1	4	1	2	2	0	9
76 51	0	0	0	1	2	2	5	2	1	0	2	0	13
77 52	0	0	0	0	0	0	1	4	2	0	0	0	6
78 53	0	0	0	0	0	2	3	6	3	1	1	0	14
79 54	0	0	0	0	1	0	0	2	2	3	0	0	7
80 55	0	0	0	0	1	0	0	2	3	2	1	0	9
1981 56	0	0	0	0	0	2	3	3	2	2	1	0	11
82 57	0	0	0	0	1	2	3	4	3	1	0	0	13
83 58	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1	0	7
84 59	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	1	9
85 60	0	0	0	0	1	1	2	7	2	2	0	0	12
86 61	0	0	0	0	1	1	2	3	3	1	1	0	12
87 62	0	0	0	0	0	1	5	2	1	2	0	0	10
88 63	0	0	0	0	0	2	1	4	4	2	0	0	13
89 H. 1	0	0	0	0	0	1	3	4	3	1	0	0	11
90 2	0	0	0	0	1	1	1	5	3	1	1	1	14
1991 3	0	0	0	0	1	0	1	4	5	2	1	0	14
92 4	0	0	0	0	0	1	1	5	3	2	3	0	14
93 5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	2	0	0	9
94 6	0	0	0	0	1	0	4	6	3	2	2	0	15
95 7	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
96 8	0	0	0	0	2	0	3	2	3	1	1	0	10
97 9	0	0	0	1	1	3	1	3	3	2	1	0	15
98 10	0	0	0	0	0	0	0	2	5	1	0	0	8
99 11	0	0	0	1	0	0	3	4	3	0	1	0	11
2000 12	0	0	0	0	2	0	4	4	3	1	1	0	15
01 13	0	0	0	0	1	0	2	2	4	2	0	0	11
02 14	0	0	0	0	0	1	6	2	3	1	1	0	13
03 15	0	0	0	1	1	2	0	2	3	1	1	1	12
04 16	0	0	0	1	1	3	3	6	3	3	0	1	19
05 17	0	0	0	1	0	1	2	3	4	2	0	0	12
06 18	0	0	0	0	0	0	3	4	2	1	0	0	10
07 19	0	0	0	0	1	0	1	4	3	3	0	0	12
08 20	0	0	0	0	3	1	2	1	2	1	0	0	9
09 21	0	0	0	0	1	0	0	3	3	2	0	0	8
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0	7
11 23	0	0	0	0	2	1	1	2	4	0	0	0	9
12 24	0	0	0	0	1	3	3	6	3	4	0	0	17
13 25	0	0	0	0	0	2	1	2	4	6	0	0	14
平年値 1981-2010	-	-	-	0.2	0.6	0.8	2.1	3.4	2.9	1.5	0.6	0.1	11.4

台風の接近: 台風が日本から概ね300km以内に入った場合をいう。

接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-4 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	4
52 27	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	1	0	7
53 28	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
54 29	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	6
55 30	0	0	0	0	0	0	5	1	1	4	0	0	10
56 31	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	5
57 32	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	5
58 33	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	5
59 34	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	6
60 35	0	0	0	0	0	1	0	5	1	0	0	0	7
1961 36	0	0	0	0	0	1	2	3	1	1	0	0	7
62 37	0	0	0	0	0	0	1	6	1	0	0	0	8
63 38	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	6
64 39	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
65 40	0	0	0	0	1	1	0	2	4	0	1	0	9
66 41	0	0	0	0	1	2	0	2	4	1	0	0	9
67 42	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
68 43	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	5
69 44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
70 45	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5
1971 46	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	6
72 47	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	6
73 48	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
74 49	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	4
75 50	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	4
76 51	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	4
77 52	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
78 53	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	0	0	7
79 54	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	5
80 55	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
1981 56	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	6
82 57	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	0	0	6
83 58	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
84 59	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
85 60	0	0	0	0	0	1	1	4	2	1	0	0	6
86 61	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
87 62	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	5
88 63	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0	6
89 H. 1	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	0	7
90 2	0	0	0	0	0	0	1	3	2	1	1	0	8
1991 3	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	0	0	9
92 4	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	0	0	5
93 5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	0	0	8
94 6	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	6
95 7	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
96 8	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
97 9	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0	6
98 10	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	6
99 11	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
2000 12	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	5
01 13	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	4
02 14	0	0	0	0	0	1	4	2	0	1	0	0	8
03 15	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	6
04 16	0	0	0	0	1	2	1	4	2	3	0	0	12
05 17	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
06 18	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
07 19	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	5
08 20	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
09 21	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	4
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
11 23	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	5
12 24	0	0	0	0	0	1	0	3	2	1	0	0	6
13 25	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3	0	0	6
平年値 1981-2010	-	-	-	0.0	0.1	0.4	1.0	1.7	1.7	0.7	0.0	-	5.5

台風の北海道・本州・四国・九州への接近：台風が中心が北海道・本州・四国・九州から概ね300km以内に入った場合をいう。

接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-5 平成25年(2013年)に発生した台風の一覧表

台風番号	台風名	熱帯低気圧の発生		台風の発生		台風期間中の最低(大)値			熱帯低気圧または温帯低気圧となった日時と位置			消滅前の最後に確認された日時と位置、又は域外に出た最初の日時								
		東経		北緯		東経		北緯		東経		北緯		東経						
		月日時	緯度	月日時	経度	月日時	緯度	月日時	緯度	月日時	緯度	月日時	緯度	月日時	緯度					
1	SONAMU	1 1 09	4.1	141.7	1 3 21	8.6	119.6	1 6 09	990	25	1 6 03	NW:280	SE:170	1 8 09	5.6	108.5	TD	1 10 09	3.3	112.0
2	SHANSHAN	2 18 15	5.0	131.0	2 22 03	5.9	110.3	2 22 15	1002	18	2 22 15	NW:440	SE:220	2 22 21	5.0	109.7	TD	2 23 09	4.2	109.3
3	YAGI	6 7 03	12.9	128.5	6 8 21	17.8	130.1	6 11 15	990	23	6 10 15	SE:390	NW:280	6 12 15	31.1	137.9	L	6 16 15	31.3	142.8
4	LEEP	6 16 15	12.0	128.2	6 18 09	16.6	126.6	6 20 15	994	20	6 19 15	E:600	W:330	6 21 09	32.0	127.0	L	6 24 03	46.0	177.9
5	BEBINCA	6 20 03	14.8	116.9	6 21 03	17.6	116.8	6 22 21	990	20	6 23 03	E:280	W:220	6 24 15	21.6	106.6	TD	6 24 15	21.6	106.6
6	RUMBIA	6 27 09	9.1	132.5	6 28 21	10.3	128.0	7 1 21	985	25	7 1 21	E:330	W:280	7 2 21	24.0	108.4	TD	7 2 21	24.0	108.4
7	SOULIK	7 7 09	19.0	151.0	7 8 09	18.9	145.4	7 10 21	925	50	7 13 09	E:650	W:440	7 14 09	28.0	116.2	TD	7 14 21	30.7	115.7
8	CIMARON	7 15 15	14.0	126.9	7 17 09	18.7	122.1	7 18 15	1000	20	7 18 21	E:190	W:150	7 19 03	23.5	117.9	TD	7 19 03	23.5	117.9
9	JEBI	7 29 03	13.1	123.3	7 31 09	14.7	116.3	8 3 09	985	25	8 2 03	SE:460	NW:280	8 3 21	22.0	104.5	TD	8 3 21	22.0	104.5
10	MANGKHUT	8 5 09	10.7	117.7	8 6 21	15.8	110.8	8 7 15	992	20	8 7 21	220		8 8 09	20.0	104.2	TD	8 8 09	20.0	104.2
11	UTOR	8 8 21	12.1	136.6	8 10 03	13.5	131.7	8 11 21	925	55	8 14 03	370		8 15 21	24.2	111.2	TD	8 18 15	23.1	109.1
12	TRAMI	8 16 21	22.5	123.4	8 18 09	20.3	127.0	8 22 03	965	30	8 22 21	E:600	W:330	8 23 03	27.7	114.7	TD	8 24 15	24.3	107.3
13	PEWA	域外		8 18 21	12.4	179.7	8 19 21	990	30	8 25 03	NE:280	SW:110	8 25 09	28.5	166.9	TD	8 27 03	35.2	165.8	
14	UNALA	域外		8 19 15	17.5	180.0	8 19 15	1000	18	8 19 15	70		8 19 21	17.5	179.2	TD	8 19 21	17.5	179.2	
15	KONG-REY	8 25 09	11.3	129.0	8 26 15	16.0	125.3	8 29 03	980	30	8 28 18	SE:370	NW:280	8 30 09	28.7	123.5	TD	8 30 15	29.9	124.5
16	YUTU	8 29 09	29.2	169.1	9 1 09	32.5	176.2	9 1 21	1002	18	9 1 21	SE:390	NW:220	9 2 03	33.7	176.9	TD	9 5 15	31.0	172.0
17	TORAJI	8 31 09	25.6	121.5	9 2 03	26.3	124.8	9 4 03	985	25	9 4 06	220		9 4 09	32.9	132.8	L	9 5 15	33.9	137.7
18	IMAN-YI	9 12 03	19.7	148.1	9 13 09	22.0	142.1	9 16 06	960	35	9 16 18	S:650	N:520	9 16 21	42.0	145.0	L	9 20 21	58.9	168.6
19	USAGI	9 16 09	17.3	132.0	9 17 03	17.0	132.1	9 20 21	910	55	9 21 03	560		9 23 15	24.3	111.2	TD	9 24 09	25.1	108.5
20	PABUK	9 19 15	14.0	148.5	9 21 15	19.8	145.2	9 26 09	965	30	9 24 03	NE:560	SW:370	9 27 09	39.9	152.7	L	9 29 09	域外	
21	WUTIP	9 26 03	14.8	118.4	9 27 15	16.8	116.3	9 30 09	965	35	9 29 03	N:390	S:220	10 1 09	18.0	101.5	TD	10 1 09	18.0	101.5
22	SEPAT	9 29 15	26.4	151.5	9 30 09	26.4	146.8	10 2 21	992	20	10 2 21	E:330	W:220	10 3 03	40.0	146.0	L	10 4 03	53.4	161.0
23	FITOW	9 29 15	10.3	135.0	10 1 03	13.8	132.2	10 6 06	960	40	10 6 06	N:500	S:330	10 7 15	26.9	117.9	TD	10 7 15	26.9	117.9
24	DANAS	10 1 09	18.1	151.5	10 4 15	16.9	146.0	10 8 00	935	45	10 7 12	NE:440	SW:280	10 9 09	38.0	135.0	L	10 9 15	37.9	135.8
25	NARI	10 8 21	14.0	131.6	10 9 21	14.5	128.9	10 14 15	965	40	10 14 09	390		10 16 03	15.4	105.1	TD	10 16 21	16.5	102.4
26	WIPHA	10 9 09	14.0	149.0	10 10 21	13.8	143.7	10 14 03	930	45	10 16 12	E:850	W:650	10 16 15	41.0	146.0	L	10 18 21	域外	
27	FRANCISCO	10 15 21	13.8	148.9	10 16 15	12.1	144.4	10 20 09	920	55	10 25 00	NE:440	SW:390	10 26 15	33.0	144.2	L	10 26 21	36.5	149.4
28	LEKIMA	10 19 09	9.3	162.4	10 21 03	10.9	161.0	10 24 15	905	60	10 25 03	E:440	W:330	10 26 21	39.0	155.0	L	10 29 03	域外	
29	KROSA	10 28 03	12.9	142.3	10 30 03	16.1	131.1	11 2 15	970	40	11 2 21	N:280	S:220	11 4 15	17.7	111.2	TD	11 5 03	15.6	109.0
30	HAIYAN	11 3 15	5.8	157.2	11 4 09	6.1	152.2	11 8 03	895	65	11 9 03	NE:500	SW:330	11 11 15	22.4	107.7	TD	11 11 15	22.4	107.7
31	PODUL	11 11 21	5.5	129.9	11 14 21	11.9	111.7	11 15 03	1002	18	11 15 03	NW:220	SE:170	11 15 09	11.5	108.4	TD	11 15 15	11.1	107.1

表中の日はすべて日本時(JST)。  
「台風期間中の最低(大)値」の起時は、最低(大)となった最後の時刻である。  
(但し、風速はノットで解析し、5m/s単位に換算しているため必ずしもこれに当てはまらない事がある。)  
強風域とは、台風の周辺で平均風速がおおむね15m/s以上の領域。  
種類欄の「TD」は熱帯低気圧、「L」は温帯低気圧を表す。  
域外とは、日付変更線(東経180°)より東側、東経100°より西側、又は北緯60°より北側の領域。

## 2-2 平成 25 年(2013 年)に日本に影響した主な台風

日本に影響\*した主な台風について以下に概要を示す。

\* 台風の中心が日本から概ね500km に入った場合を本稿では「日本に影響した台風」とした。

### (1) 台風第3号 (1303 YAGI)

6月7日03時にフィリピンの東海上で発生した熱帯低気圧は、北東に進んだ後、北へ進路を変えた。その後、北北東に進路を変え、8日21時に同海上で台風第3号となった。台風第3号は北北東に進み、10日21時に本州の南で勢力が最大となった。台風第3号は、速度を落としながら同海上を北へ進み、その後東へ進路を変えた後、12日15時に温帯低気圧へと変わった。その後、東へゆっくりと進み、16日21時に八丈島の南東で消滅した。

### (2) 台風第4号 (1304 LEEPI)

6月16日15時にフィリピンの東海上で発生した熱帯低気圧は北へ進み、18日09時に同海上で台風第4号となり、19日03時に勢力が最大となった。台風第4号は21日09時に東シナ海で温帯低気圧に変わり、東に進路を変えた。その後、22日には徐々に北東に進路を変え、24日09時にアリューシャン列島の南で消滅した。

### (3) 台風第7号 (1307 SOULIK)

7月7日09時にマリアナ諸島の北東の海上で発生した熱帯低気圧は、西に進んだ後、8日09時に同諸島近海で台風第7号となった。台風第7号は、その後西北西に進路を変え、急速に発達し、10日09時に沖ノ鳥島の北の海上で勢力が最大となった。台風第7号は、進路と勢力を保ちながら、13日未明に台湾北部へ上陸し、その後台湾海峡を横断して、同日、華南へ上陸した。台風第7号はその後北へ進路を変え、14日09時に熱帯低気圧に変わり、15日03時に消滅した。

### (4) 台風第12号 (1312 TRAMI)

8月16日21時に台湾の東の海上で発生した熱帯低気圧は、南東に進んだ後、18日09時に沖縄の南の海上で台風第12号となった。台風第12号は19日に北に進路を変え、その後、20日に北西方向に再び進路を変え、21日06時に宮古島付近で勢力が最大となった。台風第12号は東シナ海を西に進んだ後、22日朝に華南に上陸した。その後、西北西に進んだ後、23日03時に華中で熱帯低気圧となり、南西に進路を変え、24日21時に華南で消滅した。

### (5) 台風第15号 (1315 KONG-REY)

8月25日09時にフィリピンの東の海上で発生した熱帯低気圧は、北北西に進んだ後、26日15時にルソン島の東の海上で台風第15号となった。台風第15号は北に進路を変え、28日21時に台湾の東の海上で勢力が最大となった。台風第15号は東シナ海に進んだ後、29日には北東に進路を変え、30日09時に熱帯低気圧に変わり、同日21時に消滅した。

(6) 台風第17号 ( 1317 TORAJI )

8月31日09時に台湾の北の海上で発生した熱帯低気圧は、南東に進んだ後、北東に進路を変え、9月2日03時に先島諸島の北の海上で台風第17号となった。台風第17号はその後北東へ進み、3日09時に奄美群島の西の海上で勢力が最大となった。台風第17号は4日03時頃に鹿児島県指宿市付近に上陸した後、09時に四国の南西部で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は、その後東北東へ進み、5日21時に紀伊半島の東の海上で消滅した。

(7) 台風第18号 ( 1318 MAN-YI )

9月12日03時にマリアナ諸島の東の海上で発生した熱帯低気圧は、北西に進んだ後、13日09時に父島の南の海上で台風第18号となった。台風第18号は進路を徐々に北北東に変え、15日21時に四国の南の海上で勢力が最大となった。台風第18号は16日08時前に愛知県豊橋市付近に上陸した後、北東に進み、同日21時に北海道の南東の海上で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧はその後千島列島沿いを北東へ進み、カムチャッカ半島を通過し、21日03時にベーリング海で消滅した。

(8) 台風第19号 ( 1319 USAGI )

9月16日09時に沖ノ鳥島の南西の海上で発生した熱帯低気圧は、ゆっくりと東へ進み、同海域で進路を西に変えた後、17日03時に台風第19号となった。台風第19号はゆっくりと西へ進んだ後、フィリピンの東の海上で急速に発達し、20日03時に勢力が最大となった。台風第19号は西北西に進み続け、21日にルソン海峡を通過して南シナ海に入った後、22日に華南に上陸した。その後も西北西に進み、23日15時に熱帯低気圧となり、24日15時に消滅した。

(9) 台風第20号 ( 1320 PABUK )

9月19日15時にマリアナ諸島の東の海上で発生した熱帯低気圧は北へ進み、20日に同諸島の北東の海上で北西に進路を変え、21日15時に同諸島近海で台風第20号となった。台風第20号は北西へ進み続け、24日21時に小笠原諸島の西の海上で勢力が最大となった後、25日には北東へ進路を変えた。台風第20号は加速しながら北東へ進み、27日09時に日本の東の海上で温帯低気圧に変わり、29日09時前にアリューシャン列島付近で東経180度を越えた。

(10) 台風第22号 ( 1322 SEPAT )

9月29日15時に小笠原諸島の東の海上で発生した熱帯低気圧は、30日09時に同海域で台風第22号となり、進路を北へ変えた。台風第22号は、10月2日15時に日本の東の海上で勢力が最大となり、その後北東へ進路を変え、3日03時に同海域で温帯低気圧に変わった。その後、温帯低気圧は北東へ加速しながら、千島列島沿いを進み、4日09時にカムチャッカ半島の東の海上で消滅した。

(11) 台風第23号 ( 1323 FITOW )

9月29日15時にパラオ諸島の北の海上で発生した熱帯低気圧は、北北西に進み、10月1日03時に



フィリピンの東の海上で台風第23号となった。台風第23号は徐々に発達を続け、4日に西北西に進路を変えた。台風第23号は西北西に進みながら、5日03時に沖縄の南の海上で勢力が最大となり、同日中に宮古島近海を通過して東シナ海に入った。その後、7日未明に華南へ上陸し、西に進路を変えて勢力を弱め、同日15時に熱帯低気圧に変わり、同日21時に消滅した。

(12) 台風第24号 (1324 DANAS)

10月1日09時にマリアナ諸島の東の海上で発生した熱帯低気圧は、ゆっくりと南西に進み、3日夜から4日朝にかけてマリアナ諸島の南東の海上で北西に進路を変え、4日15時にマリアナ諸島近海で台風第24号となった。台風第24号は北西へ進み続け、7日09時に南大東島の南西の海上で勢力が最大となり、同日中に東シナ海に入った。その後、台風第24号は同海域で徐々に北東に進路を変え、8日21時頃に長崎県対馬を通過して、9日09時に日本海で温帯低気圧に変わり、同日21時に同海域で消滅した。

(13) 台風第26号 (1326 WIPHA)

10月9日09時にマリアナ諸島の東の海上で発生した熱帯低気圧は西へ進み、10日21時にマリアナ諸島の西の海上で台風第26号となり、進路を北西へ変えた。台風第26号は、北西へ進みながら13日21時に沖ノ島近海で勢力が最大となった後、徐々に進路を北東に変えた。台風第26号は、その後伊豆諸島付近を通過して、16日15時に日本の東の海上で温帯低気圧に変わった。その後、温帯低気圧は東北東へ進路を保ちながら、18日21時前にベーリング海で東経180度を越えた。

(14) 台風第27号 (1327 FRANCISCO)

10月15日21時にマリアナ諸島の東の海上で発生した熱帯低気圧は南西に進み、16日15時に同諸島の南の海上で台風第27号となった。台風第27号は、進路を北西へ変えた後急速に発達し、19日03時に同諸島の西の海上で勢力が最大となった後も北西に進んだ。台風第27号は、24日に沖縄本島の東の海上で徐々に勢力を弱めながら進路を北東に変えて、加速しながら進み、26日15時に伊豆諸島の東の海上で温帯低気圧に変わり、27日03時に消滅した。

(15) 台風第28号 (1328 LEKIMA)

10月19日09時にマーシャル諸島の西の海上で発生した熱帯低気圧は北西に進み、21日03時に同海域で台風第28号となった。台風第28号は急速に発達し、23日09時にマリアナ諸島の東の海上で勢力が最大となり、25日朝に小笠原諸島の南東の海上で進路を北に変え、加速しながら北東へ進んだ。その後、26日21時に日本のはるか東の海上で温帯低気圧に変わって東に進み、29日03時前にアリューシャン列島の南の海上で東経180度を越えた。

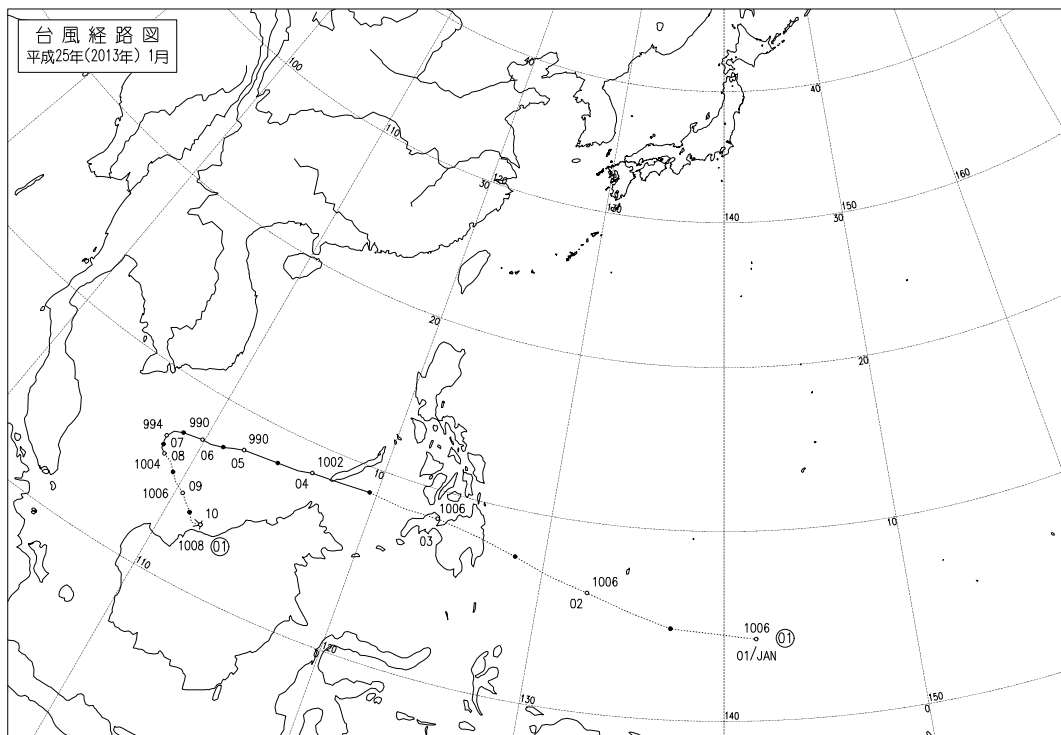
資料2-2-1 平成25年(2013年)に日本に影響した台風の概要表(熱帯低気圧、温帯低気圧の期間は除く)

台風番号	日本への影響 (台風の中心が日本から概ね500km以内に入った場合)		日本への接近 (台風の中心が日本から概ね300km以内に入った場合)		地域	上陸、通過
	始	終	始	終		
3	6/10	6/12	6/12	6/12	伊豆諸島・小笠原諸島	上陸または通過せず。
4	6/19	6/21	6/19	6/21	沖縄、九州北部	上陸または通過せず。
7	7/10	7/13	7/12	7/13	沖縄	上陸または通過せず。
12	8/20	8/22	8/20	8/21	沖縄	上陸または通過せず。
15	8/27	8/30	8/28	8/30	沖縄	上陸または通過せず。
17	9/2	9/4	9/2	9/4	沖縄・奄美、九州南部、九州北部、四国、中国地方	9月4日03時頃、鹿児島県指宿市付近に上陸した。
18	9/13	9/16	9/15	9/16	全国	9月16日08時前、愛知県豊橋市付近に上陸した。
19	9/20	9/21			沖縄	上陸または通過せず。
20	9/22	9/26	9/23	9/26	東海地方、関東甲信、伊豆諸島・小笠原諸島	上陸または通過せず。
22	9/30	10/3	9/30	10/3	近畿、東海地方、関東甲信、伊豆諸島・小笠原諸島、北陸、北日本	上陸または通過せず。
23	10/4	10/7	10/5	10/6	沖縄・奄美	上陸または通過せず。
24	10/6	10/9	10/7	10/9	沖縄・奄美、西日本、東海地方、関東甲信、北陸、東北地方	10月8日21時頃、長崎県対馬付近を通過した。
26	10/14	10/16	10/15	10/16	沖縄・奄美、九州南部、四国、中国地方、近畿、東海地方、関東甲信、伊豆諸島・小笠原諸島、北陸、北日本	上陸または通過せず。
27	10/22	10/26	10/23	10/26	沖縄・奄美、九州南部、九州北部、四国、近畿、東海地方、関東甲信、伊豆諸島・小笠原諸島	上陸または通過せず。
28	10/25	10/25	10/25	10/25	伊豆諸島・小笠原諸島	上陸または通過せず。

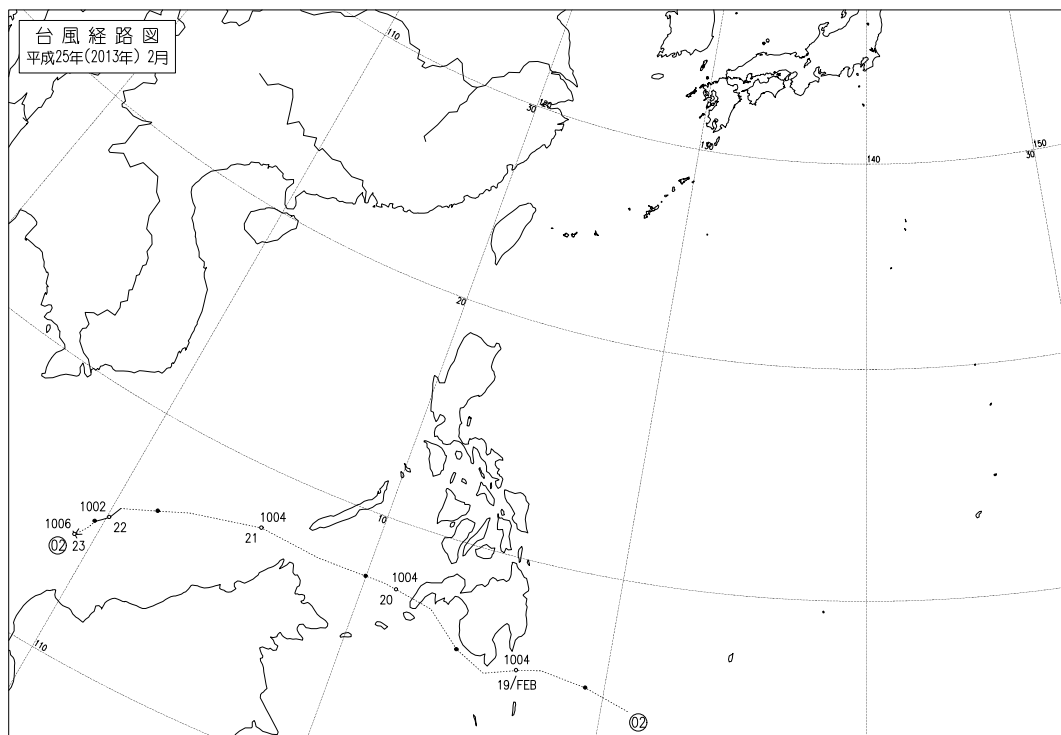
台風の中心が日本から概ね300km以内に入った場合を「日本に接近した台風」とした。

台風の中心が日本から概ね500km以内に入った場合を「日本に影響した台風」とした。

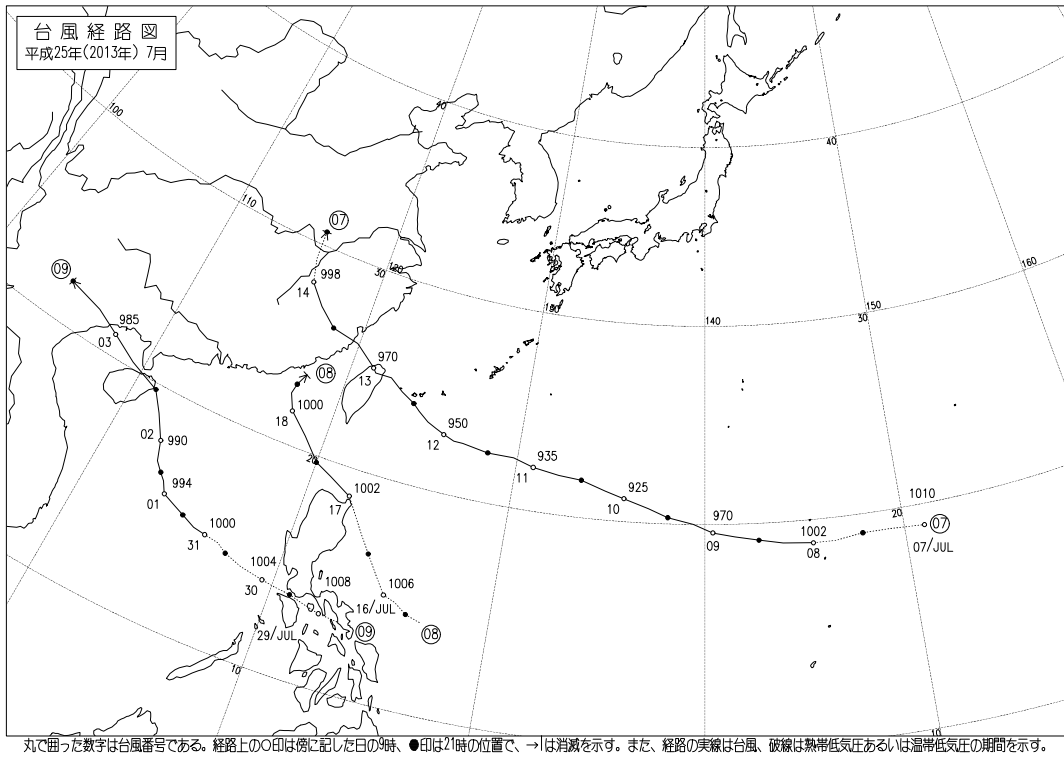
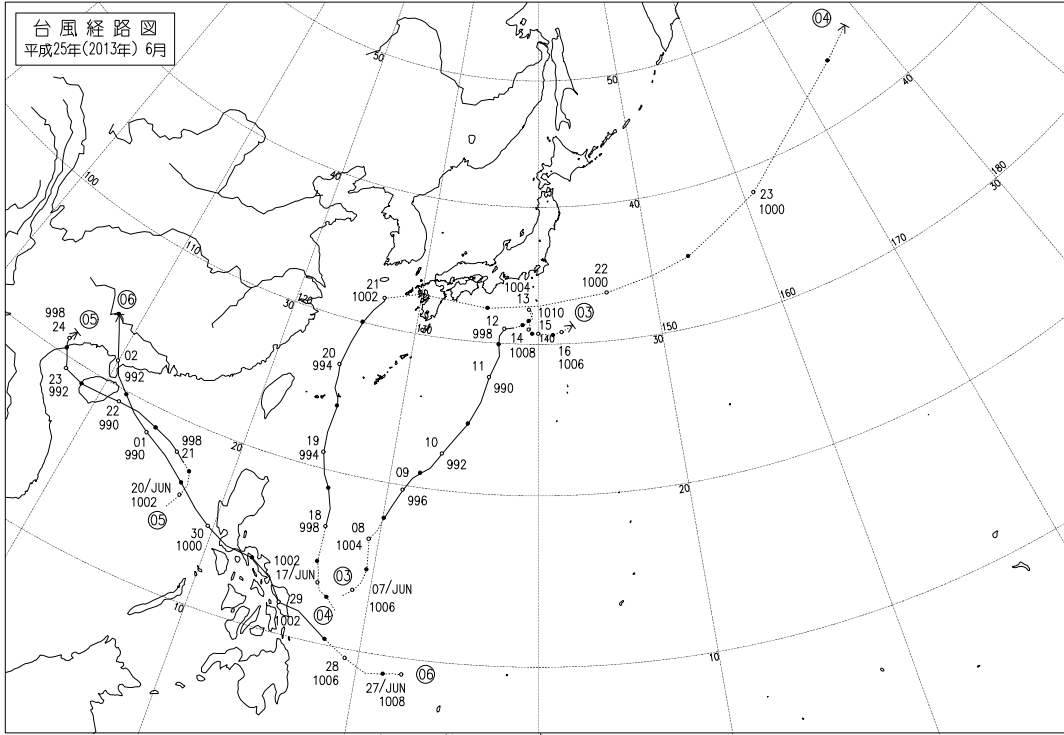
資料 2-2-2 平成 25 年(2013 年)に発生した台風の経路図

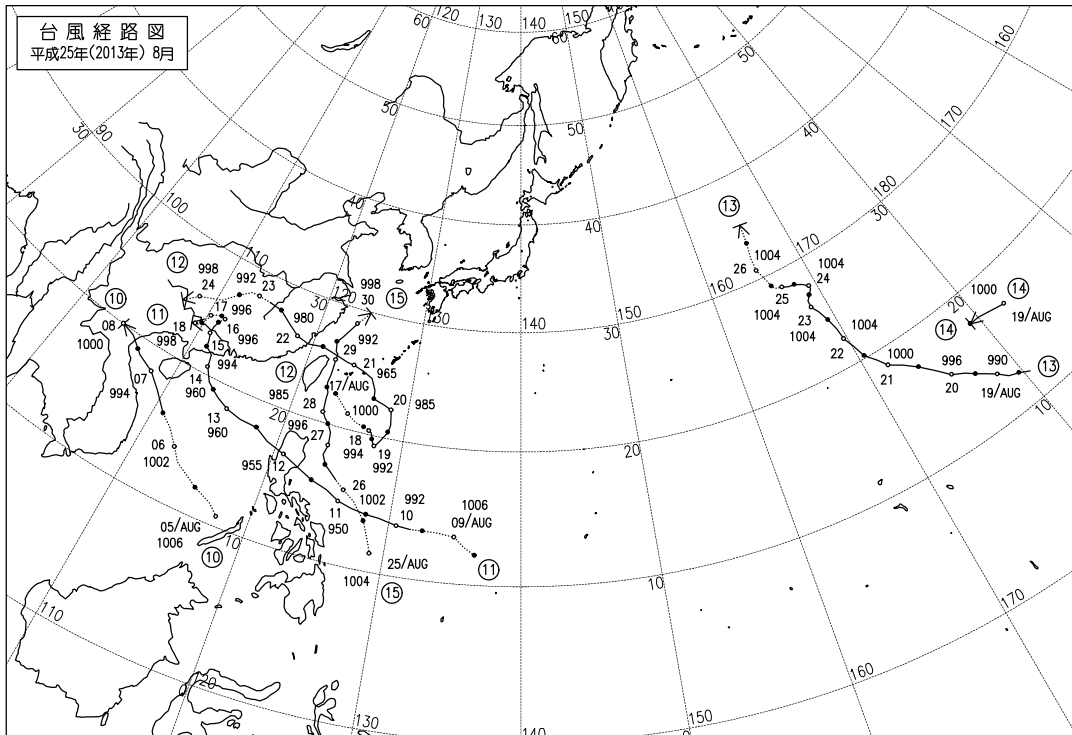


丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。

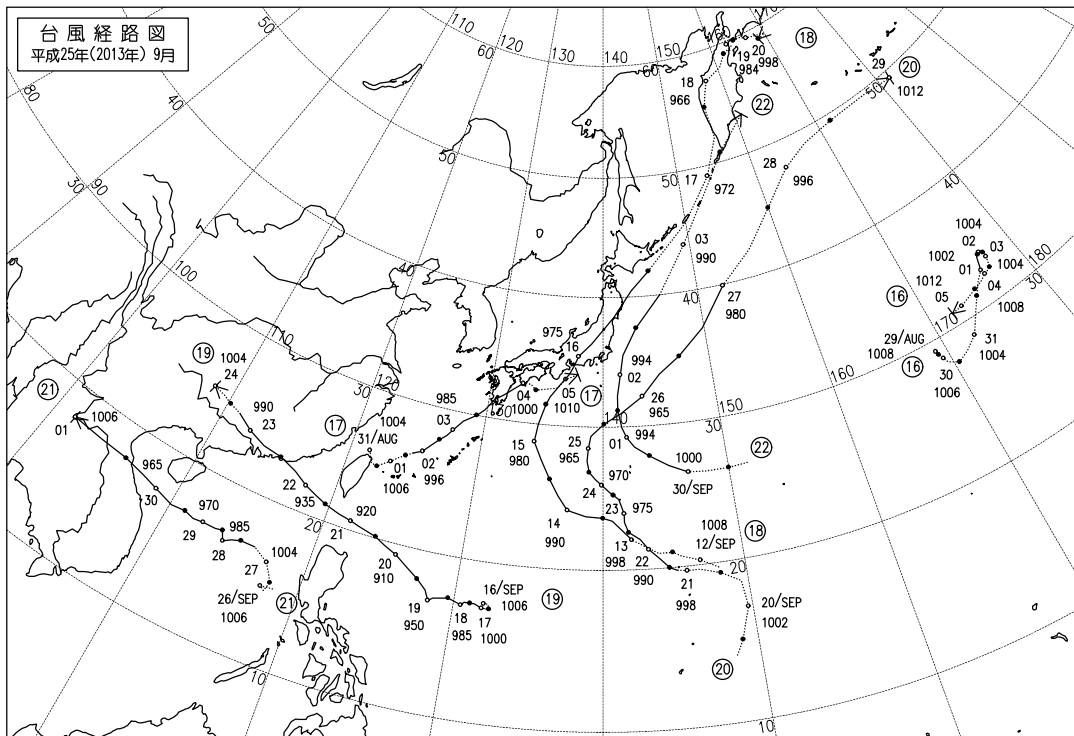


丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。

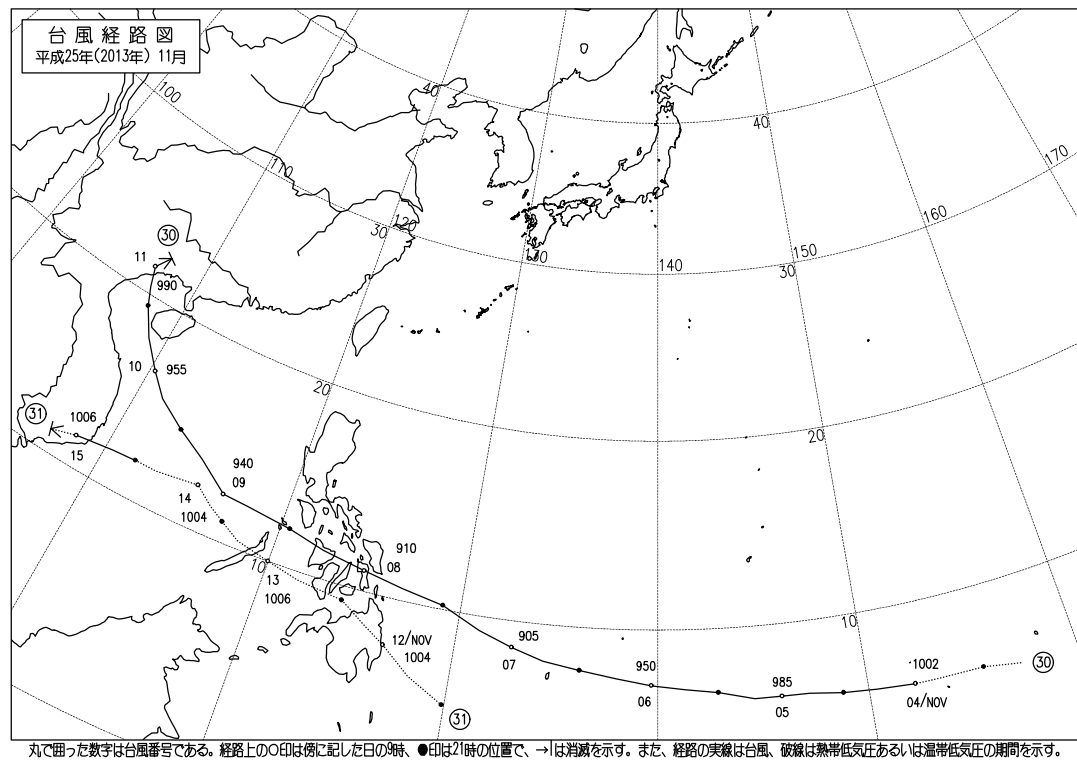
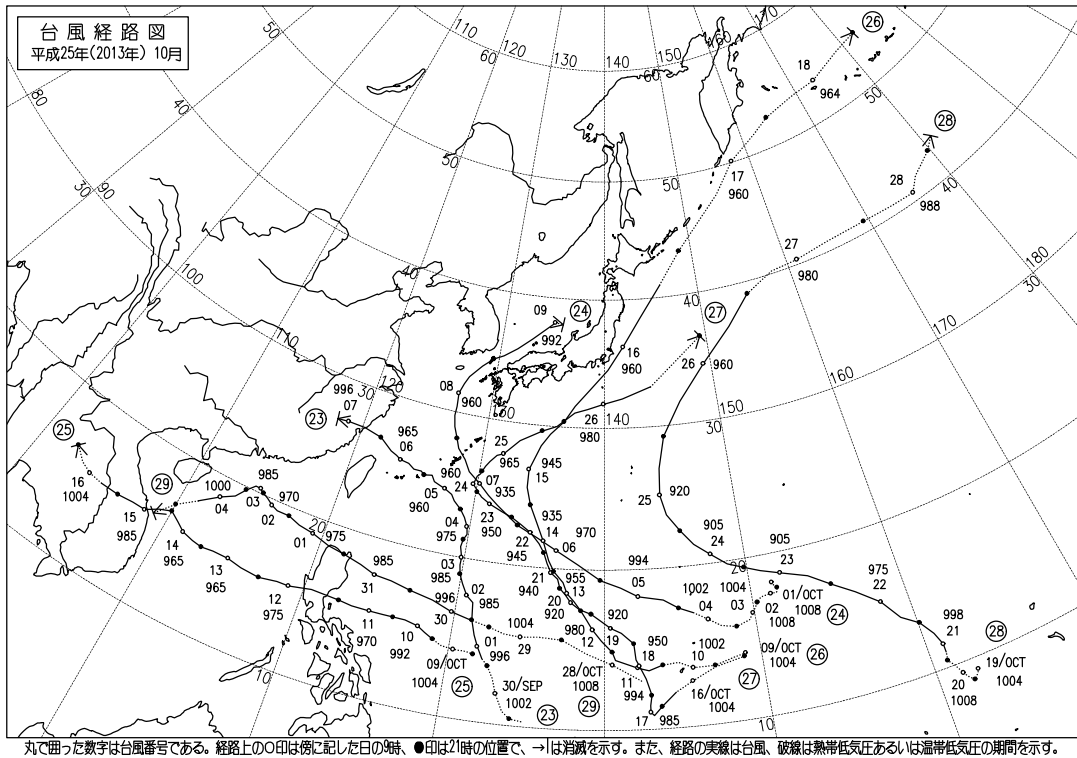




丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は例に記した日の0時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は例に記した日の0時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



### 3 平成25年(2013年)の天気概況

#### 1月

##### 冬型の気圧配置や前線の通過により、北陸から北海道で大雪や暴風(1日~4日)

1日は、北日本を中心に冬型の気圧配置(以下冬型と略す。)となった。また、ボツ海の低気圧が東へ進み、日本海中部に達した。九州北部から北海道にかけての日本海側で雪や雨が降った。北海道の一部では暴風や強風、北陸では雷を伴ったところがあった。2日は、前線が黄海から山陰沖を通り三陸沖にのび、その後本州南岸まで南下した。秋田沖の低気圧が北海道の東海上へ進んだ後消滅し、日本海中部の低気圧が北海道付近へ進んだ。九州北部から北海道にかけて雪や雨が降り、北陸から北海道では強風となり、北陸の一部で暴風となった。また、雷を伴ったところがあった。3日は、網走沖の低気圧が千島近海へ進んだあと、日本は冬型となった。中国地方から北海道にかけての日本海側を中心に雪や雨となり、北陸から北海道にかけての一部で大雪となり、北海道では暴風や強風となったところがあった。北陸では雷を伴ったところがあった。4日は、冬型が続き、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪や雨となり、雷を伴ったところがあった。北海道の一部では大雪となった。

##### 北海道では低気圧の影響で暴風、その後冬型となる(5日~7日)

5日は、沖縄・奄美は気圧の谷の影響で雨が降ったが、西日本から東日本は、高気圧に覆われて概ね晴れた。また、低気圧が沿海州からサハリン付近に進み、北日本の一部では雪が降った。6日は、サハリン付近の低気圧がオホーツク海に進み、伴う前線が北日本を通過した。北陸から北海道にかけての一部で雪が降り、北海道では暴風や強風となったところがあった。沖縄・奄美では気圧の谷の影響で雨が降った。7日は、北日本では冬型となり、北陸から北海道にかけての日本海側で雪の降ったところがあった。その他の地方は概ね晴れた。

##### 日本の南海上を低気圧が通過、その後冬型(8日~12日)

8日は、南シナ海から沖縄本島付近に前線がのび、この前線上に低気圧が発生し、沖縄本島付近から日本の南海上へ進んだ。沖縄から九州南部地方では雨が降った。また、気圧の谷の影響で、北陸から北海道にかけての日本海側で雪や雨が降った。9日は、日本の南海上と関東の南海上の低気圧が、東北東へ進み、日本は冬型となった。沖縄・奄美では雨が降り、北陸から北海道にかけての日本海側で雪が降った。10日は、冬型が続き山陰から北海道にかけて雪が降った。11日は、はじめ冬型が続いたが、冬型は次第に緩んだ。北陸から北海道にかけての日本海側で雪が降った。12日は、高気圧に覆われて、西日本から東日本にかけて概ね晴れたが、中国東北区から北海道付近に進んできた低気圧の影響で、北日本の日本海側で雪や雨が降り、雷を伴ったところがあった。

##### 発達した低気圧が通過し、各地で大雨や大雪、暴風(13日~16日)

13日は、釧路沖の低気圧が千島の東海上へ進み、北日本で雪が降った。また、東シナ海で発生した低気圧が九州の南海上へ進み、沖縄・奄美から中国地方にかけて雨が降り、沖縄・奄美の一部で大雨や強風となった。14日は、低気圧が発達しながら、日本の南海上から関東の東海上へ進んだ。全国的に雨や雪が降り、沖縄・奄美と伊豆諸島で大雨、甲信地方で大雪となったところがあった。また、暴風や強風となったところがあった。15日は、冬型となったが、西日本から次第に緩み始めた。山陰から北海道にかけての日本海側では雪のところが多かった。16日は、日本海西部の低気圧が南東に進み、山陰から北海道にかけての日本海側で雪や雨のところがあつた。

##### 冬型が続き、日本海側で大雪(17日~23日)

17日は、関東の東海上と日本の南海上の低気圧がそれぞれ東へ進み、西日本から次第に冬型になった。沖縄・奄美では雨が降り、強風となったところがあった。西日本から北日本にかけての日本海側では雪が降り、大雪となったところがあった。また、北陸の一部では雷を伴った。18日から19日

は、冬型となり九州北部から北海道にかけての日本海側で雪が降り、大雪となったところがあった。20日は、北日本を中心に冬型が続き、山陰から北海道にかけて雨や雪が降った。21日は、華南から四国の南海上に前線がのび、この前線上の九州の西海上に低気圧が発生した。九州南部地方から近畿にかけて雨が降った。22日は、低気圧が四国の南海上から関東の東海上へ進んだため、北海道を除き全国的に雨や雪が降った。23日は、気圧の谷の影響で沖縄・奄美から北陸にかけての一部で雨や雪が降った。

#### **日本海を低気圧が進み、北陸で暴風（24日～27日）**

24日は、低気圧が日本海西部から日本海北部に進み、九州南部地方から北海道にかけて、雨や雪の降ったところがあった。中国地方の一部および北陸の一部では雷を伴った。25日は、日本海北部の低気圧がほとんど停滞し、伴う前線が西日本から北日本にかけて通過した。山陰から北海道にかけて雪や雨が降り、強風となったところがあった。北陸では暴風や雷を伴ったところがあった。26日は、北海道付近の低気圧の影響で、山陰から北海道にかけて雪や雨が降り、暴風や強風となったところがあった。また、北陸の一部では雷を伴った。27日は、低気圧が三陸沖から東へ進み、日本付近は冬型となった。そのあと、日本海西部に低気圧が発生し、山陰沖に進んだ。沖縄・奄美を除く全国的に雪や雨が降り、九州と東北地方および北海道では強風となったところがあった。

#### **冬型となり、九州で強風（28日～31日）**

28日は、関東の南海上から日本の東海上に低気圧が進み、日本付近は冬型となった。西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪や雨が降り、北陸では雷を伴ったところがあった。また、九州の一部では強風となった。29日から30日にかけては、北日本を中心に冬型となり、北日本の日本海側で雪が降った。また、低気圧が東シナ海で発生したあと沖縄本島付近へ進み、沖縄・奄美で雨が降った。31日は、高気圧に覆われて、概ね晴れた。

### **2月**

#### **前線の影響により九州で大雨、北日本で強風（1日～2日）**

1日は、華中から西日本に前線がのび、日本海中部の低気圧に伴う前線が北日本に達した。九州から東海地方にかけて雨が降り、九州北部の一部では大雨となった。2日は、九州から関東にかけての太平洋側では、前線の影響で雨が降り、関東の一部では強風となった。また、日本海北部からオホーツク海に進んだ低気圧に伴う前線が通過したため、北陸から北海道にかけての日本海側でも、雨や雪が降り、北日本では強風となったところがあった。

#### **冬型の気圧配置で、北日本で暴風（3日～5日）**

3日は、北日本では冬型の気圧配置(以下冬型と略す。)となり、雪が降り、一部で強風や暴風となった。その他の地方は太平洋側を中心に晴れた。4日は、山陰沖と、関東の東海上および日本海北部の低気圧の影響で、全国的に雨や雪が降り、一部で強風となった。5日は、東日本から北日本では、冬型となり、北日本の日本海側を中心に雪が降った。一部で強風となり、関東では暴風となったところがあった。西日本は、東シナ海から日本の南海上にのびる前線上に低気圧が発生し、九州付近まで進んだため、雨が降った。

#### **千島近海の低気圧により北日本で暴風、その後冬型となり日本海側で大雪（6日～11日）**

6日は、低気圧が四国の南海上から関東の東海上に進んだ。沖縄・奄美から東北地方にかけて雨や雪が降った。7日は、日本海中部の低気圧が東へ進み、また、釧路沖に低気圧が発生した。中国地方から近畿にかけての日本海側、および北陸から北海道にかけて雪が降り、一部で強風となった。また、気圧の谷の影響で、沖縄・奄美では雨が降った。8日は、全国的に冬型となり、九州から北陸にかけての日本海側、および北日本で雪が降った。北日本の一部では強風や暴風となった。また、気圧の谷の影響で、沖縄・奄美では雨が降った。9日は、千島近海の低気圧が東へ進み、北日本を



中心に冬型となった。このため、北陸から北海道にかけての日本海側を中心に雪が降った。北海道の一部では強風となった。また、気圧の谷の影響で、沖縄・奄美では雨が降った。10日から11日は、10日に日本海北部で発生した低気圧がほとんど停滞した。中国地方から北海道にかけての日本海側を中心に、雪や雨が降り、北陸から東北地方にかけての一部で大雪となった。

#### **日本の南海上を低気圧が通過、その後冬型（12日～17日）**

12日は、華南から九州の南海上へのびる前線上に低気圧が発生し、四国の南海上に達した。沖縄・奄美から東海地方にかけて雨が降り、北日本の日本海側では雪が降った。13日は、日本の南海上と日本海中部の低気圧が東北東へ進み、三陸沖で一つとなった。近畿から北海道にかけて、雪や雨が降り、一部で強風となった。14日は、サハリンの西海上の低気圧の影響で、北日本の日本海側を中心に雪が降った。また、華南から日本の南海上へ前線がのびたため、九州では雨が降った。15日は、前線上の九州の南海上で低気圧が発生し、この低気圧は関東の東海上に進んだ。全国的に雨や雪が降り、北陸の一部では強風となった。16日は、冬型となり、中国地方から北海道にかけての日本海側で雪が降り、東北地方の一部で大雪となった。17日は、北日本では冬型が続き、日本海側を中心に雪が降った。また、華中から九州に前線がのび、西日本では雨の降ったところがあった。

#### **日本の南海上を低気圧が通過し西日本で大雨、その後冬型（18日～21日）**

18日は、華中から西日本にのびる前線上の九州西方海上で低気圧が発生し、関東の東海上へ進んだ。また、別の低気圧が日本海北部を東へ進んだ。全国的に雨や雪が降り、西日本では大雨となったところがあった。19日は、日本の南海上に前線が停滞し、沖縄・奄美から関東にかけて雨が降った。また、低気圧が津軽海峡から釧路沖へ進み、北日本で雪が降り、北海道では強風となったところがあった。20日は、釧路沖の低気圧が東へ進み、次第に冬型となった。中国地方から北海道にかけての日本海側を中心に雪や雨が降り、北陸の一部で大雪となり、北海道では強風となったところがあった。21日は、冬型が続き、中国地方から北海道にかけての日本海側を中心に雪や雨が降った。

#### **低気圧が北日本を次々通過し、東日本から北日本にかけて暴風（22日～25日）**

22日は、日本海中部に低気圧が発生し、秋田沖に進んだ。中国地方から北海道にかけての日本海側を中心に雪や雨が降り、北陸の一部では雷を伴った。また、北陸の一部では暴風となった。23日は、三陸沖の低気圧が東へ進んだ。また、日本海北部で低気圧が発生した。中国地方から北海道にかけての日本海側を中心に雪や雨が降った。24日は、低気圧が秋田沖から日本の東海上へ進んだ。中国地方から北陸にかけて、および北日本で雪や雨が降り、東北地方の一部で大雪となった。北陸では雷を伴ったところがあった。また、東日本や北日本では強風や暴風となったところがあった。25日は、東日本から北日本にかけて、冬型となり、日本海側を中心に雪や雨が降った。

#### **低気圧の影響で、太平洋側を中心に雨（26日～28日）**

26日は、前線が華中から日本の南海上へのび、西日本では雨が降った。27日は、前線上の九州の南海上で低気圧が発生し、東へ進んだ。また、関東の東海上でも低気圧が発生し、北東へ進んだ。沖縄・奄美から関東にかけて雨が降った。28日は、三陸沖の低気圧が北東へ進み、高気圧に覆われた。日本海北部の低気圧が網走沖へ進んだ。北海道を除き、概ね晴れた。北海道では雪が降った。

### **3月**

#### **発達した低気圧の影響で、北日本で暴風（1日～3日）**

1日は、日本海北部の低気圧が東へ進み、伴う前線が北日本の一部を通過した。全国的に雨や雪が降り、北日本の一部で強風となった。2日は、低気圧が発達しながら釧路沖から千島近海に進み、日本海北部に別の低気圧が発生した。これらの影響により中国地方から東北地方の日本海側や北海道では雪が降り、北日本では強風や暴風となったほか、北海道で大雪となったところがあった。3

日は、千島近海の低気圧が北東に進み、東日本から北日本を中心に冬型の気圧配置(以下冬型と略す。)となった。このため近畿から東北にかけての日本海側や北海道の一部で雪が降り、北海道で強風や暴風となったところがあった。

#### **低気圧が北日本を次々と通過、東日本以西は高気圧に覆われる(4日~7日)**

4日は、上空に寒気を伴った低気圧が日本海中部にほとんど停滞した。中国地方から北海道にかけての一部では、雨や雪が降った。5日は、はじめ秋田沖に低気圧が停滞し、その後次第に高気圧に覆われた。近畿地方から北海道の日本海側で雨や雪が降り、その他の地方は概ね晴れた。6日は、日本海北部の低気圧が東に進み、東北地方の日本海側と北海道で雨や雪が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。7日は、低気圧がシベリアからサハリンの西海上に進み、北海道を中心に強風となった。また東北地方から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降った。

#### **低気圧が日本海を短い周期で通過(8日~14日)**

8日は、低気圧に伴う寒冷前線が北海道を通過し、日本海中部の低気圧が北海道付近へ進んだ。北陸から北海道にかけて雨や雪が降り、北海道の一部で強風となった。9日は、千島近海の低気圧が北東に進み、伴う前線が東日本を通過した。このため東北地方の一部や北海道では雨や雪が降り、一部で強風となった。10日は、低気圧が発達しながら日本海中部から千島近海に進み、伴う前線が西日本から北日本を通過した。このため西日本から北日本にかけては雨や雪が降ったところが多く、東日本から北日本では強風や暴風となったところがあった。11日は、千島近海の低気圧が北に進み、北日本を中心に一時的に冬型となった。このため北陸の一部や北日本の日本海側では雪が降り、東日本から北日本では強風や暴風となったところがあった。東日本の一部や西日本では移動性高気圧に覆われて、概ね晴れた。12日は、低気圧が沿海州からサハリンの西海上に進んだ影響で、北海道の日本海側で雨や雪が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。13日は、低気圧がオホーツク海を北に進み、また華中から日本海西部にのびる前線上に発生した低気圧が日本海西部から太平洋に進んだため、全国的に雨や雪が降った。14日は、千島近海の低気圧が北東に進み、伴う寒冷前線が本州南岸に達した。東日本から北日本を中心に一時的に冬型になり、西日本から東日本にかけての太平洋側や北陸から北海道の日本海側にかけて雨や雪が降った。

#### **高気圧に覆われる(15日~16日)**

15日は、沿海州の低気圧が東に進んだ影響で、北海道の日本海側を中心に雪となった。それ以外の地方は高気圧に覆われ、概ね晴れた。16日は、低気圧が釧路沖に発生し、東日本から北日本にかけて気圧の谷が通過した。このため北陸から北海道にかけて雨や雪が降り、その他の地方では概ね晴れた。

#### **低気圧が日本海を短い周期で通過(17日~22日)**

17日は、華中からのびる前線が九州の南部に達した影響で、西日本の一部で雨が降った。18日は、低気圧が日本海を北東に進み、華南からのびる前線が本州南岸に達した。このため全国的に雨となり、南西諸島や四国、東海地方では大雨や雷雨となったところがあった。19日は、寒冷前線が本州南岸に達し、東日本から北日本を中心に一時的に冬型になった。このため北海道の日本海側、および東海地方から東北地方にかけて雨や雪が降った。また北海道では一部で強風となった。20日は、低気圧が日本海西部から三陸沖に進み、華中から本州南岸にのびる前線上に発生した低気圧が東に進んだ。全国的に雨や雪が降った。21日は、低気圧が発達しながら千島近海を北東に進んだ。東日本と北日本を中心として冬型になり、中国地方から東北地方にかけての日本海側、および北海道地方で雨や雪が降った。また東日本から北日本にかけて強風や暴風となった。22日は、低気圧がサハリンの西海上を東に進み、伴う前線が北日本を通過した。九州から四国にかけて雨が、北日本の日本海側で雨や雪が降った。

### 低気圧が日本の南岸を短い周期で通過（23日～31日）

23日は、低気圧がオホーツク海を北に進み、北日本で冬型となった。また、華中からのびる前線が九州の南海上に達した。これらの影響により中国地方から北海道にかけての日本海側で雨や雪が、南西諸島で雨が降った。24日は、華中から本州南岸にのびる前線上に低気圧が発生し、日本海中部の低気圧が東へ進んだ。南西諸島から九州の南部にかけて雨が降った。25日は、本州南岸の低気圧が北東へ進んだ。寒気の流入や湿った気流により、中国地方から北海道にかけての日本海側や関東で雨や雪が降った。26日は、日本のはるか東の低気圧が北に進み、次第に全国的に高気圧に覆われた。北陸から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降った。27日は、低気圧が東シナ海から九州の南海上に進み、南西諸島や西日本で雨が降った。また、関東でも雨となった。28日は、低気圧が日本の南海上を東に進み、別の低気圧がサハリンの西海上にほとんど停滞した。北日本の一部や四国から東海地方にかけて雨が降った。29日は、低気圧がオホーツク海を北東に進み、前線が九州の南海上から本州の南海上に停滞した。これらの影響により東日本から北日本にかけての一部で雨や雪が降り、南西諸島では雨が降った。30日は、はじめ北海道を中心に冬型が続き、その後次第に全国的に高気圧に覆われた。関東や北陸の一部、および北海道の日本海側で雨や雪が降った。31日は、低気圧が本州南岸から関東の東海上に進み、前線が沖縄の南海上から日本の東海上にかけて停滞した。南西諸島の一部で大雨となり、北海道の一部、および近畿から東北南部にかけて雨や雪が降った。

## 4月

### 低気圧が発達しながら本州南岸を通過し、東海地方から関東にかけて大雨、関東で暴風（1日～3日）

1日は、本州付近は高気圧に覆われ、概ね晴れた。北海道の一部や南西諸島で雨が降り、南西諸島の一部で雷を伴った。2日は、気圧の谷と日本の南岸を北東へ進む低気圧の影響で、北日本の一部、および南西諸島から東日本にかけて雨が降り、東海地方や関東で大雨となったところがあった。また、沖縄・奄美の一部で雷を伴った。3日は、低気圧が発達しながら関東の東海上を東へ進んだため、南西諸島の一部で雨が降り、九州の北部から北海道にかけて雨や雪が降った。また、九州の一部で強風、関東の一部で暴風となったところがあった。

### 高気圧に覆われる（4日～5日）

4日は、気圧の谷の影響を受け、北陸の一部や北海道の一部で雨や雪が降った。また湿った空気の影響により南西諸島で雨が降ったところがあった。その他の地方では、高気圧に覆われ概ね晴れた。5日は、華南から日本の南にのびた前線の影響で、南西諸島から九州の南部にかけて雨が降り、沖縄・奄美で雷を伴ったところがあった。その他の地方では、高気圧に覆われ概ね晴れた。

### 低気圧が発達しながら本州を通過し、全国各地で大雨や暴風（6日～9日）

6日は、東シナ海の低気圧が近畿付近へ進んだ影響で、全国的に雨が降り、九州から関東にかけての太平洋側で大雨となった。また、沖縄・奄美や近畿を中心に一部で雷を伴い、南西諸島から東北地方にかけての一部で強風や暴風となった。7日は、東北南部付近の低気圧が発達しながら北東へ進んだ影響で、全国的に雨や雪が降り、北陸や北日本では大雨となったところがあった。また、東日本や北日本の一部で雷を伴った。全国的に強風となり、九州の一部や東日本から北日本にかけての一部で暴風となった。8日は、北海道付近の発達した低気圧が北東へ進んだ影響で、東日本から北日本にかけての一部で強風となり、東北地方では暴風となったところがあった。また、東日本の日本海側や北海道を中心に雨や雪が降った。9日は、低気圧が日本海を北東へ進んだ影響で、東日本から北日本にかけての一部で強風となった。また、東日本から北日本にかけての日本海側を中心に雨や雪が降り、北日本の一部で雷を伴った。

### 上空の寒気や気圧の谷の影響を受ける（10日～12日）

10日は、上空に寒気を伴った気圧の谷の影響を受け、南西諸島、および西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雨や雪が降った。11日は、引き続き、上空に寒気を伴った気圧の谷の影響を受け、全国的に雨や雪が降った。また、北陸を中心として雷を伴ったところがあった。12日は、気圧の谷の影響で、北陸から北日本を中心に雨や雪が降った。また南西諸島で雨が降った。西日本から東日本にかけての太平洋側では、高気圧に覆われ概ね晴れた。

### 低気圧や伴う前線が日本列島を通過（13日～17日）

13日は、沿海州から日本海北部へ前線がのび、北陸から北日本にかけての日本海側で雨や雪が降ったところがあった。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。14日は、沿海州の低気圧が北東へ進み、伴う前線が日本海を南下した。この影響により、東日本から北日本にかけての日本海側、および西日本で雨や雪が降った。また、南西諸島で雨が降った。沖縄・奄美から北陸にかけて一部で雷を伴い、中国地方や北日本で強風となったところがあった。15日は、寒冷前線が本州付近を通過し、北陸や北日本を中心に雨や雪が降った。16日は、華北の低気圧が東へ進んだ影響で、北海道の一部や東北地方で雨や雪が降り、東北地方の一部で雷を伴った。また、高気圧の縁辺から流れ込む湿った空気の影響で南西諸島でも雨が降った。17日は、津軽海峡付近の低気圧が北東へ進み、また東シナ海に発生した低気圧が東へ進んだ。このため、南西諸島から四国にかけて、および東北地方で雨が降り、北海道で雨や雪が降った。九州地方を中心として雷を伴ったところがあった。

### 上空の寒気や気圧の谷の影響を受ける（18日～22日）

18日は、寒気を伴った気圧の谷が日本付近を通過し、北日本を中心として雨や雪が降った。また南西諸島でも雨が降った。19日は、上空に寒気を伴った低気圧が千島近海を北東に進んだ影響で、北陸や北日本を中心として雨や雪が降ったほか、関東の一部で強風となった。また、南西諸島でも雨が降った。20日は、上空の寒気の影響で北日本では雨や雪が降ったところがあった。また気圧の谷の影響を受け、南西諸島から東日本にかけて雨が降った。21日は、寒気を伴う気圧の谷の影響を受け、九州の北部から北海道にかけて雨や雪が降った。22日は、低気圧がオホーツク海を北へ進み、北日本を中心として雨や雪が降ったところがあった。それ以外の地方では、高気圧に覆われ概ね晴れた。

### 前線や低気圧の影響で、四国から東海地方にかけて大雨（23日～27日）

23日は、東日本を中心にはじめ高気圧に覆われたが、次第に高気圧が東へ移動して、低気圧が黄海を北東へ進み、また前線が華南から南西諸島付近にのびた。この影響で、奄美から近畿にかけて雨が降った。24日は、華南からのびる前線が日本の南へ達し、低気圧が日本海を北東へ進んだ。この影響で全国的に雨が降り、四国から東海地方にかけて大雨となったところがあったほか、東海地方の一部で強風となった。25日は、はじめ東日本から北日本にかけて気圧の谷の影響を受け、関東や北海道を中心として雨が降ったほか、北海道で強風となったところがあった。また、台湾海峡付近から日本の南にかけて前線が停滞し、南西諸島で雨が降った。26日は、上空に寒気を伴う気圧の谷が本州付近を通過した。この影響で山陰から北海道にかけて雨や雪が降り、一部で雷を伴った。27日は、低気圧が日本の東で発達し、北陸や東北地方の日本海側、および北海道を中心として雨や雪が降った。北陸では雷を伴ったところがあった。また、北日本を中心として強風となったところがあった。

### はじめ高気圧に覆われ、その後低気圧の影響を受けて九州の南部で大雨（28日～30日）

28日は、日本の東の低気圧の影響を受け、東北地方の日本海側や北海道を中心に雨や雪が降り、強風となったところがあった。それ以外の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。29日は、千島近海の低気圧の影響を受け、北海道で雨や雪が降ったところがあった。それ以外の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。30日は、日本海中部の低気圧が日本の東に進み、伴う前線が九州から東北地方に

かけて通過した。また、華中の低気圧が東に進んだ。これらの影響で、全国的に雨や雪が降り、九州の南部で大雨となったところがあった。北陸では一部で雷を伴った。

## 5月

### 本州南岸を低気圧が通過し、日本の東海上で発達、本州日本海側～北日本で雨や雪（1日～3日）

1日は、前線を伴う低気圧が本州南岸から関東の東海上を発達しながら北東へ進んだ。また、秋田沖でほとんど停滞していた上空に寒気を伴った低気圧が消滅した。沖縄や関東及び本州の日本海側から北日本にかけて雨や雪となり、沖縄・奄美では一部で雷を伴った。その他の地方では概ね晴れた。2日は、低気圧が北海道の東海上からオホーツク海に北上した。西高東低の気圧配置となり、関東の一部や本州の日本海側から北日本にかけて雨や雪が降った。その他の地方では高気圧に覆われ概ね晴れた。3日は、低気圧がオホーツク海にほとんど停滞した。上空の寒気の影響を受け、北陸から北日本の日本海側を中心に雨や雪が降った。関東の一部では雨が降り雷を伴った。その他の地方では高気圧に覆われ概ね晴れた。

### 気圧の谷が通過し一部で雨が降るも高気圧に覆われ概ね晴れる（4日～9日）

4日は、上空の寒気の影響を受け、北日本や山陰の一部で雨が降った。関東の一部では雨が降り雷を伴った。その他の地方では、高気圧に覆われ概ね晴れた。5日は、上空の寒気の影響を受け、北日本の一部で雨や雪が降った。その他の地方では、高気圧に覆われて概ね晴れた。6日は、日本海の低気圧が東北地方を通過した影響で、北日本で雨や雪となった。関東の一部では雨が降り雷を伴った。その他の地方では高気圧に覆われ概ね晴れた。7日は、低気圧が前線を伴い三陸沖から北海道の東海上へ進んだ。西高東低の気圧配置となった影響で、北陸の一部や北日本では雨や雪が降った。また、北海道の一部では強風となった。東海地方の一部でも雨が降り雷を伴った。その他の地方では高気圧に覆われ概ね晴れた。8日は、本州付近に中心を持つ高気圧に覆われ、ほぼ全国的に晴れた。9日は、引き続き日本の南海上の高気圧に覆われ、ほぼ全国的に晴れた。

### 低気圧の影響を受け全国的に雨（10日～12日）

10日は、華中から九州の南海上に前線がのび、また朝鮮半島から日本海へ低気圧が進んだ。高気圧の周辺から暖かく湿った空気が流れ込み、九州から東海にかけて、雨が降った。北日本では概ね晴れた。11日は、華中から日本の南海上へのびた前線が南下し、南西諸島を通過した。また、四国付近で発生して東へ進んだ低気圧と、日本海から三陸沖へ進んだ低気圧と南からの湿った空気の影響により、ほぼ全国的に雨となった。奄美や近畿、東海、関東の一部では、大雨となったところがあった。沖縄・奄美の一部では雷を伴った。12日は、三陸沖の低気圧と関東の東海上の低気圧がそれぞれ東へ進み、これらの低気圧の影響で、関東の一部から北日本にかけて雨が降り、東北地方の一部では雷を伴った。その他の地方では高気圧に覆われ概ね晴れた。

### 高気圧に覆われる（13日～14日）

13日は、暖かく湿った空気の影響により、沖縄で雨が降り、一部で大雨となった。また、日本海中部の低気圧が東に進んだ影響で、北日本の一部で雨となった。西日本から東日本にかけては高気圧に覆われ、概ね晴れた。14日は、低気圧の影響で北海道の一部で雨が降ったほか、暖かく湿った空気の影響で沖縄地方の一部で雨が降ったが、全国的には高気圧に覆われ概ね晴れた。

### 梅雨前線が南西諸島に停滞し一部で大雨（15日～18日）

15日は、華中から九州の南海上に前線がのび、沖縄・奄美で雨が降り、沖縄の一部では大雨となった。また、日本海の低気圧が東北地方に進み、東日本から北日本にかけて雨が降った。北陸と東北地方の一部では雷を伴った。その他の地方は概ね晴れた。16日は、華中から日本の南海上にのびる前線が停滞した影響で、沖縄・奄美で雨が降り、一部で大雨となった。また、上空の寒気の影響

で、関東から北海道にかけての一部で雨が降った。関東甲信の一部では雷を伴った。その他の地方は、沿海州から日本海に移動した高気圧に覆われ概ね晴れた。17日は、引き続き、華中から日本の南海上にのびる前線が停滞し、沖縄・奄美で雨が降り、一部で雷を伴い大雨となった。本州付近は高気圧に覆われ概ね晴れた。18日は、引き続き、華中から日本の南海上にのびる前線が停滞し、沖縄・奄美で雨が降った。本州付近は関東の東海上の高気圧に覆われ概ね晴れた。

#### **気圧の谷の影響で全国的に雨（19日～20日）**

19日は、上空に寒気を伴う気圧の谷と、華中から日本の南海上にのびる前線が停滞した影響で沖縄から東北にかけて雨が降った。20日は、上空に寒気を伴う気圧の谷の影響で、東日本から北日本にかけて雨が降った。その他の地方では概ね晴れた。

#### **梅雨前線の影響で、沖縄・奄美では大雨、その他は高気圧に覆われる（21日～27日）**

21日は、華中から日本の南海上にのびる前線の影響により沖縄・奄美で、雨が降った。沿海州から宗谷海峡へ進んだ上空に寒気を伴う低気圧の影響で、北海道日本海側で雨が降った。関東の一部では、雨が降り雷を伴った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。22日は、引き続き、華中から日本の南海上にのびる前線の影響により沖縄・奄美では雨が降った。日本海北部から北海道付近へ進んだ上空に寒気を伴う低気圧の影響で北海道の一部で雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。23日は、華中から日本の南海上にのびる前線が停滞し、前線上の沖縄本島近海に低気圧が発生した。この影響で、沖縄・奄美では雨が降り、一部では雷を伴った。沖縄の一部では大雨となった。また、北海道付近の低気圧が北海道の東海上へ進んだ影響で、北海道の一部で雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。24日は、前線が沖縄の南海上に南下し、前線の影響を受けた沖縄・奄美の一部では雨が降った。その他の地域は高気圧に覆われ概ね晴れた。25日は、三陸沖に中心を持つ高気圧に覆われ全国的に概ね晴れた。26日は、三陸沖から日本の東海上に移動した高気圧に引き続き覆われ、概ね晴れた。沖縄・奄美では、高気圧周辺の暖かく湿った空気の影響で雨が降った。27日は、引き続き日本の東海上の高気圧に覆われ概ね晴れたが、華北から黄海に進んだ低気圧の影響を受け、九州の一部では雨が降った。

#### **暖かく湿った空気の影響を受けて全国的に雨（28日～31日）**

28日は、暖かく湿った空気の影響で、西日本を中心に雨が降った。九州北部や四国、中国地方の一部では大雨となった。東日本から北日本にかけては、日本の東海上の高気圧に覆われ概ね晴れた。29日は、気圧の谷の影響で、全国的に雨が降った。東海・近畿・四国地方の一部では、大雨となったところがあった。30日は、上空に寒気を伴う気圧の谷の影響で、全国的に雨が降り、東海・近畿・四国地方の一部では、大雨となったところがあった。また、華中から東シナ海に停滞していた前線が、日本の南海上までのびた。1日は、華中から日本の南海上にかけてのびた前線が九州の南海上まで北上し、九州から沖縄にかけての一部で雨が降った。また、関東の一部でも雨が降り雷を伴った。他の地域では概ね晴れた。

### **6月**

#### **沖縄本島付近に前線が停滞し、南西諸島で雨、本州付近は高気圧に覆われ概ね晴れ（1日～7日）**

1日は、華中から日本の南海上にのびる前線が停滞した。また、気圧の谷が西日本に接近した。この影響で、西日本を中心に雨が降った。東日本から北日本にかけては、千島の東海上に中心を持つ高気圧に覆われ概ね晴れた。2日は、引き続き、前線が日本の南海上に停滞した。また、九州付近で低気圧が発生した。この影響で、九州や四国、中国地方では雨が降った。東日本から東北地方にかけては、高気圧に覆われ概ね晴れた。3日は、前線は日本の南海上から沖縄本島付近まで南下し、沖縄や九州、四国地方では雨が降り、沖縄の一部では雷を伴った。中国地方から北日本にかけては、高気圧に覆われ晴れたところが多かった。4日は、前線が沖縄本島付近に停滞し、沖縄で

は雨が降り、一部で雷を伴った。西日本から北日本にかけては、高気圧に覆われ概ね晴れた。5日は、前線が沖縄本島付近に停滞し、九州の南海上に低気圧が発生した。この影響で、沖縄・奄美では雨が降り、一部では大雨となったところもあった。その他の地方では、高気圧に覆われ概ね晴れた。6日は、日本の南海上に停滞していた前線は低気圧を伴って本州南岸を東に進んだ。この影響で、沖縄や九州南部、伊豆諸島では雨が降り、沖縄・奄美の一部では雷を伴った。また、西日本から東日本の内陸部では、大気の状態が不安定となり、雨が降ったところがあった。北日本では高気圧に覆われ概ね晴れた。7日は、前線を伴った低気圧が、日本の南海上から関東の東海上へ進んだ。また、上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で、東日本の一部で雨が降り、東海地方や甲信地方、関東の一部では雷を伴った。西日本や北日本は高気圧に覆われ概ね晴れた。

#### **日本の南海上にのびる前線と台風第3号の影響で太平洋側を中心に雨（8日～13日）**

8日は、関東の東海上にある低気圧と上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で東日本から東北では雨が降った。また、華中から東シナ海に進んだ前線を伴った低気圧の影響で、沖縄・奄美と九州では雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。9日は、東シナ海に中心を持つ低気圧と日本の南海上に停滞する前線の影響で、九州や四国、近畿で雨が降り、九州の一部では大雨や強風となったところもあった。東日本から北日本では、高気圧に覆われ概ね晴れた。10日は、華中から日本の南海上にのびる前線の影響で、沖縄・奄美から四国にかけて雨が降り、九州の一部では大雨となったところもあった。また、沖縄・奄美の一部では雷を伴った。北日本では概ね晴れた。11日は、日本の南海上にのびた前線と台風第3号の影響で、九州や四国、東日本太平洋側では雨が降り、九州の一部では大雨となったところもあった。北日本では概ね晴れた。12日は、日本の南海上で台風第3号が低気圧に変わった。この低気圧と日本の南海上から関東の東海上へのびる前線の影響で、沖縄と近畿から関東を中心に雨が降った。沖縄では一部で雷を伴い、東海地方と伊豆諸島の一部では大雨となったところもあった。その他の地方は概ね晴れた。13日は、日本の南海上の前線は消滅したが、引き続き日本の南海上にほとんど停滞する低気圧の影響により、東海地方から関東甲信を中心に雨が降り、東海地方と関東の一部では大雨となったところもあった。西日本と北日本は高気圧に覆われ概ね晴れた。

#### **前線が本州付近に南下し全国的に雨（14日～15日）**

14日は、日本の南海上にほとんど停滞する低気圧の影響で、東海地方と関東の一部で雨が降った。また、東シナ海から北海道にかけて前線がのび、北日本の一部で雨が降った。15日は、対馬海峡から北海道へのびる前線が西日本付近まで南下し、その後消滅した。この前線の影響で全国的に雨が降り、東海地方と東北地方の一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美では日本の南海上の高気圧に覆われ概ね晴れた。

#### **西日本を中心に高気圧に覆われ概ね晴れ（16日～17日）**

16日は、上空に寒気を伴った低気圧が本州南岸にほとんど停滞し、東日本を中心に雨が降った。西日本は高気圧に覆われ概ね晴れた。17日は、沿海州に中心を持つ低気圧の影響で、北海道を中心に雨が降った。その他の地方は概ね晴れや曇りとなった。

#### **本州付近に停滞する前線と台風第4号の影響により広範囲で大雨（18日～22日）**

18日は、前線を伴った低気圧が、黄海から朝鮮半島へ進んだ。また、沿海州の低気圧が北海道付近に進んだ。このため、九州や本州の日本海側、北日本で雨が降り、中国地方の一部では大雨となったところもあった。19日は、華中から北陸へのびる前線が九州から関東付近まで南下し、前線上の低気圧が日本海から東北地方を通過して三陸沖に進んだ。また台風第4号が沖縄の南海上を北上し、先島諸島に接近した。この影響で、全国的に雨となり、沖縄や九州、中国地方、北陸、東海地方、甲信地方の一部では大雨、関東の一部では強風となったところもあった。20日は、引き続き前線が本州付近に停滞した。また、台風第4号は先島諸島から東シナ海を北上した。この影響で西日本から東日本で雨が降り、沖縄や九州、四国、中国地方、近畿の一部では大雨、沖縄・奄美の一部では

強風となったところもあった。21日は、前線は本州南岸に南下して引き続き停滞し、台風第4号から変わった低気圧が前線上を東に進んだ。この影響で、西日本から東日本にかけて雨が降った。22日は、前線は日本の南海上に南下し奄美で雨が降った。また、上空に寒気を伴う気圧の谷の影響で、北陸や関東で雨が降った。その他の地方では概ね晴れや曇りとなった。

#### **前線が本州付近に引き続き停滞し九州で大雨、北日本では高気圧に覆われ概ね晴れ（23日～27日）**

23日は、華中から日本の南海上に前線が停滞し、西日本を中心に雨が降り、九州の一部では大雨となったところもあった。北日本から東日本は高気圧に覆われ概ね晴れたが、関東では大気の状態が不安定となり、雨となったところもあった。24日は、前線が北上し九州から本州南岸にかけて停滞した。また、本州南岸では前線上に低気圧が発生し、東へ進んだ。この影響で、西日本から関東の一部にかけて雨が降り、九州の一部では大雨となったところもあった。北日本では高気圧に覆われ概ね晴れたが、上空の寒気の影響で所々で雨が降った。25日は、引き続き、前線が九州から本州南岸にかけて停滞した。この影響で、西日本では雨が降り、九州の一部では大雨となったところもあった。東日本から北日本にかけては、北海道の東海上に中心を持つ高気圧に覆われ概ね晴れた。26日は、前線が本州付近まで北上し、九州の西海上で発生した低気圧が前線上を関東の東海上へ進んだ。このため、西日本から東南北部にかけて雨が降り、九州の一部では雷を伴い、九州や四国、近畿、東海地方、伊豆諸島、関東の一部では大雨となったところもあった。また、九州の一部で強風となった。北日本では高気圧に覆われ概ね晴れたが、上空の寒気の影響で所々で雨が降った。27日は、本州付近にのびていた前線が本州南岸まで南下した。このため、奄美や九州では雨が降った。東日本から東北地方に、オホーツク海に中心を持つ高気圧に覆われ概ね晴れたが、大気の状態が不安定となり、所々で雨が降り、東海地方の一部では雷を伴い、大雨となったところもあった。

#### **前線が本州南岸に停滞し九州で大雨（28日～30日）**

28日は、本州南岸に停滞している前線上を、低気圧が東シナ海から本州南岸へ進んだ。この影響で、奄美や九州、四国で雨が降り、奄美の一部では大雨となったところもあった。29日は、引き続き本州南岸に前線が停滞し、九州、四国を中心に雨が降った。中国地方から北日本にかけては、高気圧に覆われ概ね晴れたが、大気の状態が不安定となり、関東や東北の所々で雨が降った。30日は、前線は九州付近まで北上し、前線上に発生した低気圧が東シナ海から九州付近に達した。このため、九州や四国、近畿の一部で雨が降り、九州の一部では雷を伴い大雨となったところもあった。中国地方から北日本にかけては、日本の東海上に中心を持つ高気圧に覆われ概ね晴れや曇りとなった。

### **7月**

#### **前線が停滞し、西日本から北日本にかけて雨（1日～7日）**

1日は、低気圧が日本の南海上を東へ進んだ。また、上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で、西日本や東日本の一部で雨が降った。北日本や本州日本海側では概ね晴れた。2日は、前線を伴う低気圧が、華北から中国東北区へ進んだ。暖かく湿った空気の影響で西日本の一部で雨が降った。また、上空の寒気の影響で、東北日本海側の一部で雨が降った。東日本では概ね晴れた。3日は、前線が朝鮮半島から日本海を通して東北地方にのび停滞した。この前線と湿った空気の影響で、西日本から北日本にかけて雨が降り、九州及び中国地方の一部では大雨となったところもあった。西日本の一部では雷を伴った。沖縄・奄美は高気圧に覆われ概ね晴れた。4日は、引き続き、前線が朝鮮半島から東北地方に停滞した。この前線と湿った空気の影響で、西日本から北日本にかけて雨が降り、西日本から東日本の一部では大雨となり、雷を伴ったところもあった。沖縄・奄美は高気圧に覆われ概ね晴れた。5日は、引き続き、前線が朝鮮半島から東北地方に停滞した。この前線と湿った空気の影響で、中国地方から北日本にかけて雨が降り、中国地方では一部で雷を伴い、東海地方、甲信地方及び東北地方の一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美は高気圧に覆われ



概ね晴れた。6日は、前線が南下し、対馬海峡から東北地方に停滞した。この前線と湿った空気の影響で、西日本から東北地方にかけて雨が降り、西日本及び東海地方の一部では雷を伴い、九州の一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美は高気圧に覆われ概ね晴れた。7日は、前線が朝鮮半島から北陸地方に停滞した。この前線と湿った空気の影響で、西日本から東北地方にかけて雨が降り、西日本から東日本の一部では雷を伴い、中国地方の一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美は高気圧に覆われ概ね晴れた。

#### **前線が東北地方に停滞し北日本で雨、西日本は概ね晴れ（8日～11日）**

8日は、湿った空気の影響で、東日本から東北地方にかけて雨が降り、東北地方の一部では大雨となったところもあった。また、沖縄の一部では、上空の寒気の影響で雷雨となった。9日は、引き続き、湿った空気の影響で、北日本を中心に雨が降り、関東の一部では雷を伴った。沖縄の一部では、上空の寒気の影響で雷雨となった。西日本から東日本にかけては高気圧に覆われ概ね晴れた。10日は、北日本を気圧の谷が通過した。また、朝鮮半島から東北地方にかけて前線がのび停滞した。この影響で、東日本から北日本にかけて雨が降り、関東の一部では雷を伴った。沖縄・奄美から東海地方にかけては高気圧に覆われ概ね晴れた。11日は、引き続き、前線が朝鮮半島から東北地方に停滞した。この影響で、東北地方を中心に雨が降り、日本海側の一部では大雨となったところもあった。また、関東の一部では一時雷雨となったところがあった。沖縄・奄美から東海地方にかけては高気圧に覆われ概ね晴れた。

#### **台風第7号の接近により先島諸島で大雨と暴風、前線が停滞し西日本から東日本にかけて雨（12日～15日）**

12日は、前線が朝鮮半島から東北地方に停滞し、秋田沖に発生した低気圧が前線上を東に進んだ。この影響で、北陸から東北地方にかけて雨が降り、東北地方の一部では大雨となったところもあった。また、台風第7号が先島諸島に接近した影響で、沖縄では雨が降り、一部で大雨や暴風となったところもあった。その他の地方では概ね晴れた。13日は、引き続き前線が朝鮮半島から東北地方に停滞した。この前線と湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、西日本から東北地方にかけて雨が降り、東海地方及び東北地方の一部では大雨となったところもあった。西日本及び東海地方の一部では雷を伴った。また、台湾付近を西北西に進んだ台風第7号の影響で先島諸島では雨が降り、一部では暴風となったところもあった。その他の地方では概ね晴れた。14日は、引き続き前線が朝鮮半島から東北地方に停滞した。この前線と湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、西日本から東北地方にかけて雨が降り、西日本及び東日本の一部では雷を伴った。沖縄・奄美と北海道では概ね晴れた。15日は、前線が北陸地方まで南下し、その後不明瞭となった。また、低気圧が東北地方から関東の東海上へ進んだ。これらと湿った空気、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、四国から東北地方にかけて雨が降り、中国地方、近畿及び東北地方の一部では大雨となったところもあった。四国及び中国地方の一部では雷を伴った。その他の地方では概ね晴れた。

#### **低気圧と湿った空気の影響で西日本から東日本にかけて雨（16日～18日）**

16日は、前線が華北から日本海にのびた。日本付近は、日本の南に中心を持つ高気圧と、オホーツク海に中心を持つ高気圧に覆われ概ね晴れたが、湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、東北地方の一部で雨が降った。17日は、朝鮮半島から日本海にのびる前線は北陸地方付近に達した後、不明瞭となった。一方、沿海州に低気圧が発生し、日本海へ進んだ。この低気圧に向かって湿った空気が流れ込んだ影響で大気の状態が不安定となり、東日本から東北地方にかけて雨が降り、東日本の一部では雷を伴った。沖縄・奄美から西日本と北海道は高気圧に覆われて概ね晴れた。18日は、日本海の低気圧が関東の東海上へ進んだ。この低気圧と湿った空気の影響で、西日本の日本海側から東北地方にかけて雨が降り、北陸、東海地方及び東北地方の一部では雷を伴い大雨となったところもあった。その他の地方では概ね晴れた。

### 高気圧に覆われ全国的に晴れ（19日～21日）

19日は、関東の東海上の低気圧の影響で、北陸と東北地方の一部で雨が降ったが、その他の地域では概ね晴れた。20日は、日本の南に中心を持つ高気圧と千島の東海上に中心を持つ高気圧に覆われ、全国的に概ね晴れた。21日は、前線を伴った低気圧が朝鮮半島から日本海に進んだが、引き続き、日本の南に中心を持つ高気圧と千島の東海上に中心を持つ高気圧に覆われ全国的に概ね晴れた。

### 前線と湿った空気の影響で、東日本から北日本を中心に雨（22日～25日）

22日は、朝鮮半島から日本海にかけて停滞した前線が、東北地方までのびた。この前線と湿った空気の影響で、中国地方から北海道にかけて雨が降り、東北地方の一部では雷を伴い大雨となったところもあった。沖縄・奄美から東海地方にかけては高気圧に覆われ概ね晴れた。23日は、前線が朝鮮半島から日本海にかけて停滞した。この前線と湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、東日本から東北地方にかけて雨が降り、関東の一部では雷を伴った。沖縄・奄美から西日本では概ね晴れた。24日は、前線上に上空に寒気を伴う低気圧が発生し沿海州を北東に進み、低気圧からのびる温暖前線が東日本に達した。この影響で、近畿から北日本にかけて雨が降り、北陸の一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美から中国地方にかけては概ね晴れた。25日は、本州付近にあった前線が次第に不明瞭となった。日本海の上空に寒気を伴う気圧の谷と湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、東日本から東北地方にかけて雨が降り、東海地方と東北地方の一部では雷を伴った。

### 前線と湿った空気の影響で、西日本から北日本にかけて雨（26日～31日）

26日は、前線が華北から黄海にかけてのびた。上空の寒気と湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、西日本から北日本にかけて雨が降り、一部では雷を伴い、九州及び東北地方の一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美では高気圧に覆われ概ね晴れた。27日は、前線が華北から朝鮮半島にかけて停滞した。引き続き、上空の寒気を伴った気圧の谷と湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、西日本の日本海側と東日本から北日本にかけて雨が降り、一部では雷を伴った。東日本から北日本にかけての一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美及び四国では概ね晴れた。28日は、華北から朝鮮半島に停滞する前線が、日本海にのびた。また、高気圧の周辺の非常に湿った空気が流れ込んだ。これらの影響で大気の状態が不安定となり、西日本から北日本にかけて雨が降り、関東の一部では雷を伴い、中国地方及び北海道の一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美では高気圧に覆われ概ね晴れた。29日は、朝鮮半島から日本海に停滞した前線が、東日本まで達した。また、日本海に低気圧が発生した。これらと湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、西日本から北日本にかけて雨が降り、九州、東海地方及び北陸の一部では雷を伴い、近畿、北陸、東海地方、甲信地方及び北海道の一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美では高気圧に覆われ概ね晴れた。30日は、前線は朝鮮半島から東日本に停滞した。また、低気圧が日本海から関東の東海上へ進んだ。これらと湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、西日本から北日本にかけて雨が降り、中国地方及び北陸の一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美では高気圧に覆われ概ね晴れた。31日は、前線は朝鮮半島から北陸地方にかけて停滞した。この前線と湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、西日本の日本海側から北日本にかけて雨が降り、近畿の一部では雷を伴った。その他の地方では概ね晴れた。

## 8月

### 暖かく湿った空気の影響で全国的に大気不安定となり雨（1日～6日）

1日は、朝鮮半島から東日本にかけてのびた前線が次第に不明瞭となった。この前線と暖かく湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、中国地方から東北地方にかけて雨が降り、中国地方や近畿、北陸の一部では大雨となったところもあった。沖縄から九州にかけては概ね晴れた。2日は、日本付近はオホーツク海から日本海にかけての高気圧と日本の南海上の高気圧の間となり、暖かく

湿った空気の影響で大気の状態が不安定となった。このため、西日本から北日本にかけての所々で雨が降った。四国や東海地方の一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美は高気圧に覆われ概ね晴れた。3日は、日本付近は沖縄の南海上と日本海、オホーツク海にそれぞれ中心を持つ高気圧に覆われ全国的に概ね晴れたが、暖かく湿った空気の影響で東海地方から東北地方にかけての一部で雨が降ったところもあった。4日は、日本付近を覆っていた高気圧は東に移動した。その後、日本付近は弱い気圧の谷となった。この気圧の谷と暖かく湿った空気の影響で、西日本から東日本にかけて雨が降り、九州の一部では雷を伴い大雨となったところもあった。沖縄・奄美は高気圧に覆われ概ね晴れた。5日は、引き続き、暖かく湿った空気と気圧の谷の影響で、九州から東北地方にかけて雨が降り、九州や中国地方、東北地方の一部では雷を伴い大雨となったところもあった。6日は、東海沖に低気圧が発生し、東へ進んだ。この低気圧と暖かく湿った空気の影響で、近畿から北日本にかけて雨が降り、関東や東北地方の一部では雷を伴い、東海地方の一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美から中国地方にかけては高気圧に覆われ概ね晴れた。

#### **北海道は雨、その他の地方は概ね晴れ（7日～8日）**

7日は、上空に寒気を伴う気圧の谷の影響により北海道で雨が降った。西日本から東北にかけては概ね晴れたが、暖かく湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、西日本や東日本の一部で雨が降った。8日は、引き続き、気圧の谷の影響で、北海道を中心に雨が降った。その他の地方では概ね晴れたが、西日本から東日本の所々で雨が降った。

#### **北日本は暖かく湿った空気の影響で大雨、西日本から東日本にかけては高気圧に覆われ概ね晴れ（9日～10日）**

9日は、北日本では暖かく湿った空気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雨が降った。北海道の一部や東北北部では大雨となった。沖縄から関東にかけては概ね晴れた。10日は、北海道付近に中心を持つ低気圧を含む気圧の谷の影響で、北海道では雨が降った。その他の地方では高気圧に覆われ概ね晴れた。

#### **九州から東北地方にかけては高気圧に覆われ概ね晴れ。北海道は寒気の影響で雨（11日～16日）**

11日は、上空に寒気を伴う気圧の谷の影響で北日本では雨が降り、北海道の一部では大雨となったところもあった。その他の地方では高気圧に覆われ概ね晴れたが、関東では日中の昇温により雷雨となった。12日は、引き続き、気圧の谷の影響で北海道では雨が降った。その他の地方では概ね晴れたが、関東では日中の昇温により雷雨となった。13日から14日にかけては、気圧の谷の影響で北海道では雨が降った。また、南からの暖かく湿った空気の影響で沖縄では雨が降った。その他の地方では高気圧に覆われ概ね晴れた。15日は、暖かく湿った空気の影響で沖縄では雨が降った。また、上空に寒気を伴う気圧の谷の影響で、北海道では雨が降った。その他の地方では、概ね晴れたが、大気の状態が不安定となり、甲信地方の一部では雷を伴い大雨となったところもあった。16日は、気圧の谷の影響で、東北北部から北海道にかけて雨が降った。また、日本の南海上の熱帯低気圧の影響で、沖縄・奄美では雨が降った。その他の地方では概ね晴れた。

#### **沖縄は台風第12号の影響で雨、九州から東北地方にかけては高気圧に覆われ概ね晴れ。北海道は寒気の影響で雨（17日～22日）**

17日は、低気圧が沿海州からサハリンの西海上へ進み、その低気圧からのびる前線が北海道を通過した。この低気圧や前線の影響で、北海道では雨が降った。また、日本の南海上から沖縄本島付近に進んだ熱帯低気圧の影響で、沖縄・奄美では雨が降り、奄美の一部では大雨となったところもあった。その他の地方では概ね晴れた。18日は、サハリン付近からオホーツク海へ進んだ低気圧からのびる前線の影響で北海道では雨が降り、一部では大雨となったところもあった。また、沖縄の南海上の熱帯低気圧から変わった台風第12号と東シナ海の熱帯低気圧の影響により、沖縄・奄美では雨が降った。その他の地方は概ね晴れた。19日は、前線が日本海から北海道の東海上にのび停

滞した。この前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、北日本では雨が降った。また、沖縄の南海上にある台風第12号の影響により、沖縄・奄美では雨が降った。西日本から東日本にかけては高気圧に覆われ概ね晴れた。20日は、前線が北海道から東北地方、北陸地方へ南下し、この前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ。また、日本海に発生した上空に寒気を伴う低気圧がオホーツク海へ進んだ。これらの影響で、東日本から北日本にかけて雨が降り、雷を伴った。北陸の一部では大雨となったところもあった。また、沖縄の南海上を台風第12号が北上した影響で、沖縄・奄美では雨が降った。その他の地方は概ね晴れた。21日は、前線が東北地方から三陸沖に進み消滅した。この前線の影響で、北陸や関東を中心に雨が降った。関東の一部では雷を伴い、大雨となったところもあった。また、台風第12号は沖縄の南海上から東シナ海へ進み、沖縄・奄美では雨が降り、強風となったところもあった。先島諸島の一部では大雨となったところもあった。22日は、東シナ海にあった台風第12号は華南へ上陸した。台風の影響で沖縄では雨が降り、一部では強風となったところもあった。日本付近は概ね晴れたが、暖かく湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、西日本から東日本にかけてを中心に雨の降ったところもあった。

### **前線と暖かく湿った空気の影響で、大気が不安定となり、西日本から東日本にかけて大雨、北海道は上空の寒気の影響で雨（23日～26日）**

23日は、前線が朝鮮半島から東北地方にかけてのび停滞した。この前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大気の状態が不安定となり、全国的に雨となった。九州や東海地方、北陸、甲信地方の一部では雷を伴い、大雨となったところもあった。また、上空に寒気を伴う低気圧が中国東北区から日本海北部に進んだ。この影響で北日本では雨となり、北海道の一部では大雨となったところもあった。24日は、朝鮮半島から東北地方にのびていた前線が東日本まで南下した。また、日本海北部の低気圧はほとんど停滞した。これらと暖かく湿った空気の影響により、全国的に雨が降り、九州や中国地方、北陸の一部では大雨となったところもあった。また、九州や北海道の一部では雷を伴った。25日は、朝鮮半島から東日本にのびていた前線が南下し、九州北部から東日本太平洋側にかけて停滞した。この前線と暖かく湿った空気の影響で、西日本から東日本にかけて雨が降り、九州や中国地方、近畿の一部では大雨となったところもあった。また、日本海北部の低気圧は釧路沖に進んだ。この影響で、北日本で雨が降り、一部では雷を伴ったところもあった。26日は、前線が南下し、九州南部から本州南岸にかけて停滞した。この前線上に低気圧が発生し、東シナ海から東海沖へ進んだ。これらの影響により、西日本から東日本にかけて雨が降った。また、釧路沖の低気圧は北海道の東海上に進んだ。この影響で北海道では雨が降った。沖縄・奄美は概ね晴れた。

### **上空の寒気の影響で、東日本から北日本にかけて雨（27日～29日）**

27日は、前線は日本の南海上に南下し、前線上の低気圧は東海沖から関東の東海上に進んだ。この影響で、東日本から東北南部にかけて雨が降った。また、上空に寒気を伴った気圧の谷が北日本を通過した。この影響で、東北日本海側から北海道にかけて雨が降り、北海道の一部では大雨となったところもあった。沖縄から西日本にかけては概ね晴れた。28日は、気圧の谷の影響で北日本を中心に雨が降り、一部で雷を伴ったところもあった。また、沖縄の南海上を台風第15号が北上した。この影響で、沖縄では雨が降った。西日本から東日本にかけては概ね晴れた。29日は、台風第15号は先島諸島の西海上から東シナ海を北上した。この台風と暖かく湿った空気の影響で、九州では雨が降り、沖縄の一部では暴風となったところもあった。また、前線を伴った低気圧が黄海から日本海に進んだ。この影響で、東北北部から北海道にかけて雨が降った。四国から東北南部にかけては概ね晴れた。

### **前線と暖かく湿った空気の影響で大気が不安定となり、西日本から北日本にかけて大雨（30日～31日）**

30日は、低気圧が日本海から北海道の東海上に進み、この低気圧から東北地方を通過して華中へのびる前線上の日本海に低気圧が発生した。また、台風第15号は東シナ海で熱帯低気圧に変わり、その後消滅した。これらの影響で、九州から東海地方にかけてと、北陸から北海道にかけて雨が降り、

九州北部や中国地方、北陸の一部では大雨となったところもあった。九州の一部では雷を伴った。沖縄や関東では概ね晴れた。31日は、低気圧が日本海を東に進み、伴う前線が東北地方と西日本へのびた。この影響で、九州から東海地方にかけてと北陸から北海道にかけてを中心に雨が降り、一部で雷を伴った。九州や東北北部の一部では大雨となったところもあった。沖縄と関東では概ね晴れた。

## 9月

### 前線と台風第17号の影響で全国的に雨（1日～5日）

1日は、低気圧が日本海から三陸沖に進み、前線が東シナ海から東日本にかけてのびた。これらの影響で、西日本から北日本にかけて雨となり、一部では雷を伴い、九州や四国の一部では大雨となったところもあった。また、熱帯低気圧が東シナ海を北東に進んだ影響で、先島諸島では雨が降った。2日は、東シナ海から東日本にかけてのびていた前線が、東北地方まで北上した。また、東シナ海で台風第17号が発生し、北東に進んだ。これらの影響で全国的に雨となり、沖縄や九州、近畿、北陸の一部では大雨となった。3日は、台風第17号が引き続き東シナ海を北東に進んだ。前線は、九州から東北地方にかけて停滞した。これらの影響で全国的に雨となり、九州や四国、中国地方、北陸の一部では大雨となり、雷を伴ったところもあった。また、九州の一部では暴風となったところもあった。4日は、台風第17号が北東に進み、03時頃に鹿児島県指宿市付近に上陸し、その後、09時に四国の南西部で温帯低気圧に変わった。日本付近に停滞していた前線は日本の南海上から本州付近を通して北海道にかけてのび、上空の寒気を伴う低気圧がその前線上の日本海に発生した。これらの影響で西日本から北日本にかけて雨が降り、一部では雷を伴い、西日本や東海地方、甲信地方の一部では大雨となったところもあった。また、九州では強風となり、一部では暴風となったところもあった。5日は、日本海の低気圧がオホーツク海へ進み、低気圧に伴う前線が北日本を通過した。また、本州南岸の低気圧は東北東へ進んで消滅した。これらの影響で東日本から北日本を中心に雨が降り、東海地方や関東の一部では大雨となったところもあった。また、関東や北日本の一部では雷を伴ったところもあった。北海道の一部では強風となったところもあった。

### 前線の影響で、西日本から北日本にかけて雨（6日～8日）

6日は、オホーツク海の低気圧が北東へ進み、日本付近は高気圧に覆われ、全国的に概ね晴れた。7日は、前線が東シナ海から東日本にかけてのびた。この影響で、九州北部から東北地方にかけて雨が降った。また、北海道では大気の状態が不安定となり雨が降った。沖縄から九州南部地方にかけては概ね晴れた。8日は、東シナ海から三陸沖にのびていた前線が本州南岸に南下し、この前線上の三陸沖に低気圧が発生して東へ進んだ。また、気圧の谷が北日本を通過した。これらの影響で、西日本から北日本にかけて雨が降った。

### 高気圧に覆われ全国的に晴れ。伊豆諸島や関東では前線の影響で曇りや雨（9日～11日）

9日は、三陸沖の低気圧が千島の東海上へ進み、低気圧からのびる前線が本州南岸に停滞した。この影響で、九州や伊豆諸島では雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。10日は、前線が本州南岸から関東の東海上へ進んだ。この影響で、東海地方や伊豆諸島では雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。11日は、関東の東海上に低気圧が発生した。この影響で、関東では雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。

### 気圧の谷や低気圧の影響で北海道は雨。西日本から東日本にかけては概ね晴れ（12日～14日）

12日は、気圧の谷の影響で北日本では雨が降った。また、湿った空気の影響で、本州日本海側では雨となった。その他の地方では概ね晴れた。13日は、日本付近は高気圧に覆われ概ね晴れたが、関東から東北地方にかけては大気の状態が不安定となり、雨となったところがあった。14日は、日本海北部に低気圧が発生し千島近海へ進んだ。この影響で北海道では雨が降った。また、台風第18

号が日本の南を北上し、この影響で本州太平洋側の一部で雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。

#### **台風第 18 号と台風から変わった低気圧の影響で西日本から北日本にかけて大雨や暴風（15 日～16 日）**

15 日は、台風第 18 号が発達しながら日本の南を北上し、前線が日本海から北海道の東海上にかけてのびた。これらの影響で、四国から北日本にかけて雨が降り、近畿の広い範囲と、四国から東北地方にかけての一部では大雨となったところがあり、北海道では雷を伴ったところもあった。また、九州や東海地方の一部では強風となったところもあった。沖縄から九州にかけては、概ね晴れた。16 日は、台風第 18 号が 08 時前に愛知県豊橋市付近に上陸した後、北東に進み、21 時に北海道の南東の海上で温帯低気圧に変わった。この低気圧から本州南岸と北海道の東海上に前線がのびた。これらの影響で、近畿から北海道の広い範囲で大雨となった。また、九州から北海道にかけて強風となり、近畿から北海道にかけての一部では暴風となったところもあった。沖縄から九州にかけては、概ね晴れた。

#### **西日本から北日本にかけては概ね晴れ、沖縄は台風第 19 号や湿った空気の影響で雨（17 日～22 日）**

17 日は、低気圧が発達しながら千島近海を北東に進んだ。日本付近は高気圧に覆われ全国的に概ね晴れた。18 日は、上空の寒気を伴う気圧の谷が通過した影響で、北海道の一部で雨が降った。また、湿った空気の影響で沖縄では雷雨となったところがあった。その他の地方は引き続き高気圧に覆われ概ね晴れた。19 日は、沖縄では湿った空気の影響で雨が降ったところがあったが、その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。20 日は、台風第 19 号が沖縄の南海上を北西に進んだ影響で、沖縄では雨が降った。また、前線を伴う低気圧が中国東北区からオホーツク海へ進んだ。この影響で、北海道では雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。21 日は、台風第 19 号が沖縄の南海上を西北西に進んだ。この台風と湿った空気の影響で、沖縄から九州南部地方にかけて雨が降った。また、オホーツク海の低気圧に伴う前線が北海道を通り日本海へのびた。この前線の影響で、東北地方の一部で雨が降った。22 日は、沖縄から九州にかけては湿った空気の影響で雨が降ったところがあった。その他の地方では高気圧に覆われ概ね晴れたが、東日本の一部では湿った空気の影響で雨が降ったところもあった。

#### **台風第 20 号や前線の影響で関東では雨、前線の影響で北日本や本州日本海側で雨（23 日～26 日）**

23 日は、台風第 20 号が小笠原近海を北上した。この影響で、小笠原諸島では大雨となった。その他の地方では高気圧に覆われ概ね晴れたが、東日本の一部では湿った空気の影響で雨が降ったところもあった。24 日は、オホーツク海の低気圧に伴う前線が北海道を通過して日本海にのびた影響で、北海道では雨が降った。また、台風第 20 号が小笠原近海を北上し、台風の北側の日本の南海上から日本の東海上にかけて前線がのびた。これらの影響により、伊豆諸島や小笠原諸島では強風となったところもあった。また、湿った空気の影響で、関東では雨が降った。その他の地方では概ね晴れた。25 日は、日本海からオホーツク海にのびる前線上に低気圧が発生し、北海道付近を東に進んだ。この影響で、本州日本海側から北海道にかけて雨が降った。また、台風第 20 号が日本の南海上を北上し、前線が台風の北側の関東から関東の東海上にかけてのびた。この影響で、東日本太平洋側を中心に雨が降った。沖縄から西日本太平洋側にかけては概ね晴れた。26 日は、台風第 20 号が関東の東海上を北東に進んだ。これに伴って、前線も北東に進んだ。この影響で、関東を中心に雨が降り、一部では暴風となったところもあった。また、上空の寒気を伴う気圧の谷の影響で、本州日本海側では雨が降った。沖縄から西日本太平洋側にかけては、高気圧に覆われ概ね晴れた。

### 西日本は前線の影響で雨、東日本から北日本にかけては晴れ（27日～30日）

27日は、日本付近は高気圧に覆われ全国的に概ね晴れた。28日は、前線が華中から対馬海峡にかけてのびた。この前線に向かって高気圧の縁辺の湿った空気が流れ込んだ影響で、南西諸島から中国地方にかけて雨が降り、四国の一部では大雨となったところもあった。近畿から北日本にかけては概ね晴れた。29日は、前線が華中から朝鮮半島を通り、日本海にのびた。この前線に向かって高気圧の縁辺の湿った空気が流れ込んだ影響で、南西諸島から中国地方にかけて雨が降った。その他の地方では概ね晴れた。30日は、オホーツク海の低気圧からのびる前線がサハリン付近を通過した影響で、北海道では雨が降った。また、東シナ海から日本海にのびる前線が消滅した。その後、日本海に上空に寒気を伴う低気圧が発生した。これらの影響で、九州から中国地方にかけて雨が降った。

## 10月

### 気圧の谷と台風第22号の影響で東日本や北日本で雨、西日本は高気圧に覆われ晴れ（1日～3日）

1日は、台風第22号が日本の東海上を北上した。この台風周辺から流れ込む暖かく湿った空気と気圧の谷の影響で、東日本太平洋側から北日本にかけて雨が降った。その他の地方は概ね晴れた。2日は、台風第22号が関東の東海上を北上した影響で、関東から北海道の太平洋側で雨が降った。その他の地方は概ね晴れた。3日は、台風第22号が三陸沖で温帯低気圧に変わり、北東へ進んだ。また、上空に寒気を伴う低気圧がオホーツク海で発達しながらほとんど停滞し、この低気圧からのびる前線が北海道を通過した。これらと気圧の谷の影響で、西日本日本海側と、東日本から北日本では曇りや雨となった。西日本太平洋側は概ね晴れた。

### 台風第23号と湿った空気の影響で沖縄から東日本にかけて雨、北海道は晴れ（4日～6日）

4日は、台風第23号が沖縄の南海上を北西に進んだ。この影響で、沖縄・奄美では雨が降り、沖縄では大雨や強風となったところもあった。西日本から東日本の太平洋側は湿った空気の影響で曇りや雨となったが、本州日本海側と北日本は高気圧に覆われ概ね晴れた。5日は、台風第23号が沖縄の南海上から宮古島近海を通過して東シナ海へ進んだ。この台風と湿った空気の影響で、沖縄から西日本にかけてと、関東甲信を中心に雨が降り、沖縄から九州南部地方にかけてと四国の一部では大雨となったところもあった。また、沖縄・奄美では強風となり、一部では暴風となったところもあった。北海道は高気圧に覆われ概ね晴れた。6日は、台風第23号が東シナ海を西北西に進んだ。この影響で沖縄では雨が降り、一部では大雨となったところもあった。沖縄・奄美では強風となり、一部では暴風となったところもあった。また、湿った空気の影響で、西日本から東日本の太平洋側を中心に雨となった。北海道は高気圧に覆われ概ね晴れた。

### 台風第24号や前線、湿った空気の影響で全国的に曇りや雨（7日～9日）

7日は、台風第24号が日本の南海上から与論島付近を通過して東シナ海へ進んだ。この台風と湿った空気の影響で沖縄から四国にかけて雨が降り、沖縄・奄美や四国の一部では大雨となったところもあった。また、沖縄・奄美の一部では暴風となったところもあった。北日本では、気圧の谷や湿った空気の影響で所々で雨が降った。8日は、台風第24号が九州の西海上を北上し、その後進路を北東に変え21時頃に長崎県対馬を通過した。また、前線が対馬海峡から東北地方に停滞した。これらの影響で、九州から東海地方にかけてや東北北部で雨が降り、九州や四国、東海地方の一部では大雨となったところもあった。九州の一部では暴風となったところもあった。9日は、台風第24号が日本海で温帯低気圧に変わり、この低気圧に伴う前線が、西日本と東北地方にのびた後、同海域で消滅した。また、低気圧が釧路沖に発生し、伴う前線が東北地方にのびた。これらの影響で全国的に雨や曇りとなり、中国地方や北陸の一部では暴風となったところもあった。

### **湿った空気や前線を伴う低気圧の影響により、西日本から北日本にかけて雨（10日～14日）**

10日は、上空に寒気を伴う気圧の谷が接近した影響で、九州では雨が降った。四国から北海道にかけては高気圧に覆われたが、北海道の東海上を東に進む低気圧に伴う前線や、湿った空気の影響で所々で雨が降った。11日は、上空に寒気を伴う低気圧が日本海に発生して北東に進み、伴う前線が北日本と西日本にそれぞれのびた。この影響で西日本から北日本にかけて雨となり、四国と北海道の一部では大雨となったところもあった。九州や中国地方、北海道の一部では雷を伴ったところもあった。12日は、低気圧が日本海北部からオホーツク海に進み、伴う前線が東日本から北日本を通過した。この影響で北陸から北海道にかけて雨が降り、北海道の一部では雷を伴ったところもあった。西日本は高気圧に覆われ概ね晴れた。13日は、上空の寒気の影響で北陸から北日本日本海側では雨が降ったが、その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。14日は、低気圧が沿海州からサハリンの西海上に進み、伴う前線が日本海にのびた。この影響で北海道の一部で雨が降ったが、その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。

### **台風第26号と台風から変わった低気圧の影響で西日本から北日本にかけて大雨や暴風（15日～17日）**

15日は、台風第26号が日本の南海上を北上した。また、前線が東海沖から関東の東海上にかけてのびた。これらの影響で、沖縄から東北地方にかけて雨が降り、近畿や東海地方、関東の一部では大雨となったところもあった。沖縄や九州の一部では強風となったところもあった。また、サハリン付近の低気圧がオホーツク海に進み、伴う前線が北日本を通過した。この影響で北海道では雨が降った。16日は、台風第26号が本州南岸から伊豆諸島付近を通って北東に進み、三陸沖で温帯低気圧となって北海道の東海上に達した。この低気圧に伴う前線が関東の東海上にのびた。これらと寒気の影響で九州から北海道にかけて雨や雪となり、関東の広い範囲と中国地方から東北地方にかけての一部では大雨となった。また、全国的に強風となり、九州や近畿、東日本から北日本にかけての一部では暴風となったところもあった。17日は、低気圧が千島近海を北東に進んだ。寒気の影響で、北陸から北海道にかけて雨が降ったが、その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。

### **湿った空気と低気圧の影響で全国的に曇りや雨（18日～22日）**

18日は、日本付近は高気圧に覆われたが、湿った空気の影響で、西日本太平洋側を中心に雨が降った。東日本から北日本にかけては概ね晴れた。19日は、湿った空気と弱い気圧の谷が通過した影響で、西日本や東日本太平洋側では雨が降った。北日本は引き続き高気圧に覆われて概ね晴れた。20日は、本州南岸に低気圧が発生し、関東の東海上へ進んだ。また、低気圧に伴う前線が本州南岸へのびた。これらと湿った空気の影響で西日本から北日本にかけて雨となり、東海地方や関東、東北地方の一部では大雨となったところもあった。伊豆諸島の一部では暴風となったところもあった。21日は、低気圧が三陸沖から北海道の東海上へ進み、伴う前線が関東の東海上にのびた。この影響で北日本では雨が降った。また、東日本太平洋側は湿った空気の影響で、本州日本海側は寒気の影響で、所々で雨が降った。22日は、台風第27号が日本の南海上を北西に進んだ。この影響で沖縄では曇りや雨となった。また、東日本から東北にかけての太平洋側は湿った空気の影響で、本州日本海側は寒気の影響でそれぞれ雨が降った。

### **台風第27号や前線、気圧の谷の影響で全国的に雨（23日～26日）**

23日は、台風第27号が日本の南海上を北西に進んだ。また、九州の南海上から日本の東海上にかけて前線がのび、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ。これらの影響で沖縄から北陸にかけて雨が降り、沖縄や九州、四国の一部では大雨となったところもあった。沖縄の一部では暴風となったところもあった。また、湿った空気の影響で東北太平洋側では雨が降った。24日は、台風第27号が沖縄の南海上をゆっくりと北上し、前線が九州から関東の東海上にのびた。また、上空に寒気を伴う低気圧が中国東北区から日本海中部に進んだ。これらと気圧の谷の影響で全国的に雨が降り、沖縄から中国地方にかけては大雨となったところもあった。沖縄の一部では暴風となったところもあった。25日は、台風第27号が日本の南海上を北東に進み、前線が北上し本州南岸から三陸沖



にかけてのびた。また、低気圧が日本海中部から日本海北部へ進んだ。これらと気圧の谷の影響で全国的に雨となり、四国の広い範囲や近畿から甲信地方にかけての一部、北海道の一部では大雨となったところもあった。沖縄の一部では暴風、九州や北海道の一部では強風となったところもあった。26日は、台風第27号が日本の南海上から関東の東海上へ進み、温帯低気圧となった。この低気圧に伴う前線が本州南岸から関東の東海上へ進んだ。また、気圧の谷が北日本を通過した。これらの影響で、四国から北海道にかけて雨が降り、東海地方と関東の一部では大雨となったところもあった。関東の一部では暴風、伊豆諸島の一部では強風となったところもあった。

#### **寒気の影響で北陸から北海道にかけて雨、その他の地方は晴れ（27日～31日）**

27日は、西高東低の冬型の気圧配置となり、寒気の影響で北陸から北海道日本海側では雨が降り、北海道の一部では強風となったところもあった。その他の地方は概ね晴れた。28日は、寒気の影響が残り、北海道日本海側では雨が降った。また、湿った空気の影響で沖縄では雨が降ったところがあった。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。29日は、気圧の谷の影響で、近畿から東日本にかけてと北海道で雨が降った。また、沖縄では湿った空気の影響で雨が降ったところがあった。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。30日は、引き続き気圧の谷の影響で東日本から北日本にかけて雨が降り、北陸の一部では雷を伴ったところもあった。沖縄から西日本にかけては、高気圧に覆われ概ね晴れた。31日は、上空の寒気の影響で、北日本日本海側を中心に雨が降った。また、湿った空気の影響で沖縄では雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。

### **11月**

#### **気圧の谷と前線の影響で雨（1日～4日）**

1日は、湿った空気の影響で沖縄・奄美では雨が降り、沖縄では一部で大雨となったところもあった。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。2日は、前線が華南から九州の南海上にのびた。この影響で沖縄から四国にかけて雨が降った。また、湿った空気の影響で関東では雨が降った。その他の地方は概ね晴れた。3日は、弱い気圧の谷が北日本を通過した影響で、北日本では雨が降った。また、九州の南海上にのびる前線と、本州南岸に発生した前線の影響で沖縄から東日本を中心に雨となり、九州の一部では大雨となったところもあった。4日は、九州南部地方から日本の東海上に前線がのび、前線上の関東の東海上で低気圧が発生し、日本の東海上に進んだ。これらと気圧の谷の影響で、九州から東北地方にかけて雨が降った。その後、次第に冬型の気圧配置（以下冬型と略す。）となり、本州日本海側では雨が降り、北陸と東北地方の一部では雷を伴ったところもあった。

#### **寒気や低気圧の影響で本州日本海側は雨や雪、北日本は暴風や強風（5日～8日）**

5日は、冬型は次第に緩み、はじめ本州日本海側の一部で雨が降ったところがあったが、次第に全国的に高気圧に覆われ概ね晴れた。6日は、引き続き高気圧に覆われ概ね晴れたが、気圧の谷の影響で九州北部と北海道の一部で雨が降り、雷を伴ったところもあった。7日は、沖縄本島付近から関東の南海上と東日本から北海道の東海上にそれぞれ前線が発生した。これらと沿海州から日本海北部に進んだ寒気を伴う低気圧の影響で、全国的に雨となり、一部では雷を伴ったところがあった。北陸や北日本の一部では暴風や強風となったところもあった。8日は、低気圧が千島近海を北東に進み、伴う前線が日本の東海上を東に進んだ。この低気圧と寒気の影響で本州日本海側と北海道では雨や雪が降り、北海道の一部では暴風や強風となったところもあった。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。

#### **発達した低気圧の影響で全国的に雨や雪、九州と北日本で暴風や強風（9日～10日）**

9日は、黄海で低気圧が発生し、朝鮮半島へと進み、伴う前線が日本海中部へのびた。この影響で、西日本は曇りや雨となった。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れたが、湿った空気や気圧の谷の影響で、関東や北海道の一部では雨が降ったところもあった。10日は、日本海の低気圧が発

達しながらオホーツク海へ進み、伴う前線が日本付近を通過した。この影響で全国的に雨や雪となり、九州の一部では大雨となり雷を伴ったところもあった。また、九州と北日本の一部では暴風や強風となったところもあった。

#### **冬型の気圧配置となり本州日本海側と北海道で雨や雪（11日～13日）**

11日は、本州南岸から千島の東海上にのびた前線が日本の東海上に進み、前線上の三陸沖に発生した低気圧も北東に進んだ。日本付近は冬型となり、西日本の日本海側と東日本から北日本にかけて雨や雪が降った。また、九州や北陸、北海道の一部では強風となったところもあった。12日から13日にかけては、日本付近は冬型が続き、山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪となった。沖縄は湿った空気の影響で雨が降った。その他の地方は概ね晴れた。

#### **気圧の谷と低気圧の影響で西日本を中心に雨（14日～17日）**

14日は、日本付近は高気圧に覆われ概ね晴れたが、その後、気圧の谷や湿った空気の影響で、西日本を中心に所々で雨が降った。15日は、日本付近を気圧の谷が通過した影響で全国的に雨や曇りとなった。16日は、気圧の谷は日本の東海上に進み、関東の東海上の低気圧は、前線を伴い、発達しながら北東に進んだ。湿った空気の影響で沖縄では雨が降ったが、西日本から北日本にかけては概ね晴れた。17日は、寒気を伴う低気圧が日本海に進み、伴う前線が西日本と北日本へのびた。この影響で西日本や北陸を中心に所々で雨が降り、北陸の一部では雷を伴ったところもあった。また、北海道の東海上の低気圧の影響で北海道の一部で雨が降った。その他の地方は概ね晴れた。

#### **冬型の気圧配置となり、山陰から北日本にかけての日本海側では雨（18日～24日）**

18日は、低気圧が沿海州付近でほとんど停滞した。また、三陸沖で低気圧が発生した。これらの低気圧や寒気の影響で西日本や北陸、北日本で雨が降り、西日本や北陸の一部では雷を伴ったところもあった。その他の地方は概ね晴れた。19日は、沿海州の低気圧は消滅し、北海道の東海上の低気圧は北上して千島近海に進んだ。これらの低気圧と寒気の影響で、西日本や北陸、北日本で雨が降り、北陸と北海道の一部では雷を伴ったところもあった。その他の地方は概ね晴れた。20日は、千島近海の低気圧は発達しながらオホーツク海へ北上した。日本付近は冬型となり、西日本の所々と東日本から北日本にかけての日本海側で雨が降り、北陸の一部では大雨となり雷を伴ったところもあった。その他の地方は概ね晴れた。21日は、引き続き冬型となり、北陸から北日本にかけては雨が降り、一部で雷を伴ったところもあった。その他の地方は概ね晴れた。22日は、北日本を中心に引き続き冬型となり、山陰から北海道にかけての日本海側で雨が降り、北陸の一部では雷を伴ったところもあった。西日本は次第に高気圧に覆われ概ね晴れた。23日は、冬型は次第に緩み、本州付近は高気圧に覆われた。北陸から北海道にかけての日本海側は曇りや雨となり、北海道の一部では強風となったところもあったが、その他の地方は概ね晴れた。24日は、弱い気圧の谷の影響で北陸から東北地方にかけての日本海側で雨が降った。また、上空に寒気を伴う低気圧が華中から黄海に進み、伴う前線が九州付近へのびた。この影響で、九州北部の一部で雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。

#### **低気圧の影響で全国的に雨や雪、強風、四国や東海地方では大雨（25日～26日）**

25日は、低気圧が発達しながら朝鮮半島から沿海州に進んだ。この低気圧に伴う前線が西日本を通過し、東日本から北日本に達した。この影響で全国的に雨となり、四国や東海地方の一部では大雨となり、沖縄・奄美の一部では雷を伴ったところもあった。また、沖縄から北陸にかけてと北海道の一部では強風となったところがあった。26日は、沿海州の発達した低気圧がサハリンの西海上に進み、伴う前線が日本の東海上に進んだ。この影響で東日本から北日本にかけての太平洋側を中心に雨が降った。その後冬型となり、北陸から北海道にかけての日本海側では雨や雪が降り、一部では強風となったところもあった。

## 低気圧と冬型の気圧配置の影響で西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雨や雪（27日～30日）

27日は、はじめ本州太平洋側を中心に高気圧に覆われたが、その後上空に寒気を伴う低気圧が日本海に発生し、北東に進んだ影響で、西日本から北日本にかけて雨や雪が降り、一部では雷を伴ったところもあった。また、北陸や北海道の一部では暴風や強風となったところがあった。28日は、釧路沖の低気圧がオホーツク海に進み、日本付近は冬型となった。また、北海道の東海上に発生した低気圧から関東の東海上へ前線がのびた。これらの影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雨や雪が降り、北陸の一部では雷を伴ったところもあった。また、沖縄・奄美と北海道の一部では強風となったところもあった。29日は、冬型が続き、西日本から北日本にかけての日本海側では雨や雪が降り、北陸の一部では雷を伴ったところもあった。また、三陸沖に発生した低気圧が釧路沖に進んだ影響で、東北太平洋側では雨が降った。その他の地方は概ね晴れた。30日は、冬型は西から次第に緩み、沖縄から西日本にかけては高気圧に覆われ概ね晴れた。東日本から北日本にかけて雨や雪が降り、東北地方の一部では雷を伴ったところもあった。

## 12月

### 冬型の気圧配置や低気圧の影響で北陸から北海道日本海側にかけて雨、そのほかは概ね晴れ（1日～4日）

1日は、上空の寒気を伴う弱い気圧の谷が通過した影響で、西日本から東海地方にかけての所々で雨が降り、近畿の一部では雷を伴ったところもあった。北日本では冬型の気圧配置（以下冬型と略す。）となり、北陸から北日本にかけての日本海側では雨や雪が降って、北陸の一部では雷を伴ったところもあった。2日は、北日本では冬型の気圧配置となり、北陸から北日本にかけての日本海側では雨や雪が降った。また、上空の気圧の谷の影響で、九州の一部では雨が降った。その他の地方では概ね晴れた。3日は、日本海に発生した低気圧の影響で北陸の一部で雨や雪が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。4日は、日本海の低気圧が東に進んだ後消滅し、東海沖に発生した上空に寒気を伴う低気圧が伊豆諸島付近に進んだ。この影響で、西日本から東日本にかけての日本海側と関東の一部で雨が降った。また、沿海州の低気圧の影響で北海道日本海側では雪や雨が降った。その他の地方では概ね晴れた。

### 冬型の気圧配置となり日本海側は雨や雪、太平洋側は晴れ（5日～7日）

5日は、気圧の谷の影響で、北陸から北日本にかけて雨が降った。西日本から東日本の太平洋側にかけては高気圧に覆われ概ね晴れた。6日は、気圧の谷が北日本を通過し、日本付近は次第に冬型となった。山陰から北海道にかけての日本海側を中心に雨や雪が降り、北陸の一部では雷を伴ったところもあった。その他の地方では概ね晴れた。7日は、北日本を中心に引き続き冬型となり、山陰から北海道にかけての日本海側を中心に雨や雪が降ったが、西から次第に高気圧に覆われ、西日本太平洋側を中心に概ね晴れた。

### 発達した低気圧の影響で全国的に雨や雪、一部では暴風や強風（8日～11日）

8日は、冬型は次第に緩み、日本付近は西から高気圧に覆われた。北陸から北海道にかけての日本海側では雪や雨が降ったが、その他の地方では概ね晴れた。9日は、日本付近は、はじめ高気圧に覆われたが、黄海から日本海へ進んだ低気圧と東シナ海から九州付近へ進んだ低気圧の影響で、沖縄から近畿にかけて雨が降り、四国の一部では雷を伴ったところもあった。沖縄から九州にかけての一部では暴風や強風となったところもあった。また、沿海州から日本海に進んで消滅した低気圧の影響で、北海道日本海側では雪が降った。東日本から北日本にかけては概ね晴れた。10日は、日本海中部と近畿付近の低気圧が日本海と本州南岸を発達しながら北東に進み、釧路沖で一体化した。この影響で全国的に雨や雪が降り、一部では雷を伴い、北海道の一部では大雨となったところもあった。西日本や北陸、北海道では暴風や強風となったところもあった。11日は、北海道付近の低気圧がさらに発達しながらサハリン付近へ進んだ。また、上空に寒気を伴う低気圧が朝鮮半島から

津軽海峡に進んだ。この影響で、九州や山陰から北日本にかけて雨や雪が降り、一部では雷を伴ったところもあった。四国や北陸、北海道の一部では強風となった。

#### **発達した低気圧の影響と冬型の気圧配置で日本海側を中心に雨や雪、一部では暴風や強風(12日～15日)**

12日は、低気圧が釧路沖からオホーツク海に進み、日本付近は冬型となった。このため、山陰から北海道にかけての日本海側では雨や雪が降り、北陸の一部では雷を伴ったところもあった。西日本は次第に高気圧に覆われ概ね晴れた。四国の一部では強風となったところもあった。13日は、寒気を伴う低気圧が発達しながら日本海中部からオホーツク海に進み、伴う前線が本州を通過した。この影響で沖縄から西日本にかけてと北陸から北日本にかけては雨や雪が降り、一部で雷を伴い、東日本から北日本の一部では暴風や強風となったところもあった。東海地方や関東では概ね晴れた。14日は、低気圧がオホーツク海にほとんど停滞し、日本付近は冬型となった。この影響で山陰から北海道にかけての日本海側で雪や雨が降り、北陸の一部では雷を伴ったところもあった。伊豆諸島の一部では暴風、北海道の一部では強風となったところもあった。その他の地方では概ね晴れた。15日は、日本付近は引き続き冬型となり、山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降り、北海道の一部では暴風や強風となったところもあった。沖縄では湿った空気の影響で雨が降った。その他の地方では概ね晴れた。

#### **前線と発達した低気圧の影響で全国的に雨や雪、一部では暴風や強風(16日～20日)**

16日は、東日本から北日本では引き続き冬型となり、北陸から北日本にかけての日本海側では雨や雪が降った。南シナ海から沖縄本島近海にのびた前線の影響で、沖縄から九州南部にかけて雨が降り、沖縄の一部では大雨となったところもあった。17日は、前線上の沖縄本島近海に低気圧が発生し、九州の南海上に進んだ。この影響で沖縄から四国にかけて雨が降り、奄美の一部では大雨となったところもあった。北日本では引き続き冬型となり、北陸から東北地方の日本海側と、北海道オホーツク側では雨や雪が降った。18日は、低気圧が九州南部から本州南岸に進んだ影響で、沖縄から関東にかけて雨が降り、伊豆諸島の一部では暴風となったところもあった。北日本では弱い冬型となり、北海道の一部では雪が降ったが、その他の地方では概ね晴れた。19日は、本州南岸の低気圧が関東の東海上に進み、本州南岸と日本海中部にそれぞれ低気圧が発生した。これらの影響で、九州から東北地方にかけて雨が降った。北日本では冬型が次第に緩み、北海道の一部で雪が降った。20日は、関東の南海上の低気圧が発達しながら三陸沖に進み、日本海中部の低気圧はほとんど停滞した。これらの影響で、九州南部から東北地方にかけてと、北海道オホーツク側では雨や雪が降り、一部では雷を伴い、東北地方の一部では大雨となったところもあった。西日本から東日本にかけての一部では、暴風や強風となったところもあった。

#### **冬型の気圧配置となり日本海側では雨や雪、その他の地方は概ね晴れ(21日～24日)**

21日は、三陸沖の低気圧が東に進んで日本付近は冬型となり、九州から東北地方にかけての日本海側を中心に雨や雪が降り、一部では雷を伴ったところもあった。九州や北陸の一部では強風となったところもあった。その他の地方は概ね晴れた。22日は、はじめ冬型が続いたが、西から次第に緩んだ。九州から北海道にかけての日本海側では雨や雪が降り、太平洋側では概ね晴れた。23日は、北日本では引き続き冬型となり、北陸から北海道にかけての日本海側では雨や雪が降った。また、弱い気圧の谷の影響で、中国地方を中心に雨が降った。その他の地方は概ね晴れた。24日は、日本海北部の低気圧が消滅した。日本付近は次第に冬型が強まり、山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降った。その他の地方は概ね晴れた。

#### **発達した低気圧の影響で全国的に雨や雪(25日～27日)**

25日は、台湾付近から本州の南海上にかけて前線がのびた影響で、沖縄では雨が降った。本州付近は冬型が次第に弱まり、北日本日本海側では一部で雪や雨が降ったが、その他の地方では次第に高気圧に覆われ概ね晴れた。26日は、日本海中部の低気圧が日本海北部へ進んだ。九州の

南海上に発生した低気圧が本州南岸に進み、前線上に発生した低気圧が日本の南海上を東に進んだ。これらの影響で、沖縄から東日本にかけてと、北日本日本海側で雨や雪が降り、九州の一部では強風となったところもあった。27日は、日本海北部の低気圧が日高沖に進み、三陸沖に発生した低気圧と本州南岸の低気圧がそれぞれ発達しながら千島近海と三陸沖に進んだ。これらと上空の寒気の影響で四国から北海道にかけて雪や雨が降り、四国や中国地方の一部では雷を伴ったところもあった。沖縄から九州にかけてと北日本の一部では、強風となったところもあった。

#### **冬型の気圧配置となり西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雨や雪、北海道では強風（28日～31日）**

28日は、千島近海で低気圧がさらに発達しながら一体化し、ほとんど停滞した。日本付近は冬型となり、山陰から北海道にかけての日本海側を中心に雪や雨が降った。伊豆諸島の一部では暴風、北海道の一部では強風となったところもあった。29日は、冬型が続き、山陰から北海道にかけての日本海側では雪や雨が降り、北陸の一部では雷を伴ったところもあった。北海道の一部では強風となったところもあった。その他の地方は概ね晴れた。30日は、北日本を中心に冬型が続き、山陰から北海道にかけての日本海側では雨や雪が降り、北陸の一部では雷を伴った。北海道の一部では強風となったところもあった。西からは次第に高気圧に覆われ、太平洋側を中心に概ね晴れた。31日は、引き続き冬型となり、北陸から北海道にかけての日本海側では雨や雪が降って、一部では雷を伴ったところもあった。西日本から東日本太平洋側にかけては高気圧に覆われ概ね晴れた。